

平成 29 年度 公立大学協会

— 事業報告書 —

平成 30 年 5 月 28 日

一般社団法人公立大学協会

目次

1	重点事業報告	5
	重点事業 1 関係省庁、議員連盟との連携.....	6
	重点事業 2 公立大学の将来構想に関する議論について.....	7
	重点事業 3 公立大学改革支援・評価研究センターの活動.....	8
	重点事業 4 職員育成（セミナー、WS 等）事業の実施	9
	重点事業 5 大学運営に関する協議会の実施.....	10
	重点事業 6 学生ネットワークの支援.....	12
2	実施事業一覧（日付順）	13
3	実施事業等の結果	19
1	諸会議開催経過	20
	〔1〕 定時総会、学長会議.....	20
	〔2〕 大学運営に関する協議会.....	21
	〔3〕 理事会	22
	〔4〕 地区協議会.....	22
	〔5〕 部会	24
	〔6〕 運営会議	29
	〔7〕 規程の整備等に関する検討会議.....	30
2	運営会議の対応事項.....	31
	〔1〕 公立大学協会に対する要望書の受理.....	31
	〔2〕 意見要望	31
3	第 1 委員会	32
	〔1〕 開催経過	32
	〔2〕 協議会等	32
	〔3〕 作業部会	33
	〔4〕 第 1 委員会所掌関連事業（冊子発行等）	33
4	第 2 委員会	35
	〔1〕 開催経過	35
	〔2〕 協議会等	35
5	第 3 委員会	37
	〔1〕 開催経過	37
	〔2〕 協議会等	37
	〔3〕 公立大学実態調査関係.....	37
	〔4〕 公立大学共通テキスト関係.....	38

6	セミナー等	40
7	情報提供・広報	43
8	公立大学改革支援・評価研究センター.....	44
	[1] 諸会議開催経過.....	44
	[2] 意見募集	45
	[3] 大学運営教職員研修への講師派遣.....	45
	[4] 大学評価ワークショップの実施.....	46
	[5] 公立大学改革支援・評価研究センターメールマガジンの配信.....	47
9	各種調査・照会	48
	[1] 協会から発信した照会.....	48
	[2] メーリングリストを活用した照会.....	48
4	意見表明・要望活動等	51
5	名簿等	85
1	平成 29 年度公立大学一覧.....	86
2	平成 29 年度役員.....	88
3	第 1 委員会	88
4	第 2 委員会	88
5	第 3 委員会	88
6	公立大学の学生交流に関するワーキンググループ.....	88
7	公立大学改革支援・評価研究センター 研究スタッフ.....	88
8	公立大学職員研修協議会企画支援者.....	88
9	公立大学職員基礎知識ガイドブック（第 1 版）編集チーム.....	89
10	部会構成大学一覧.....	90
11	政府審議会等への参画.....	92

1 重点事業報告

重点事業 1 関係省庁、議員連盟との連携

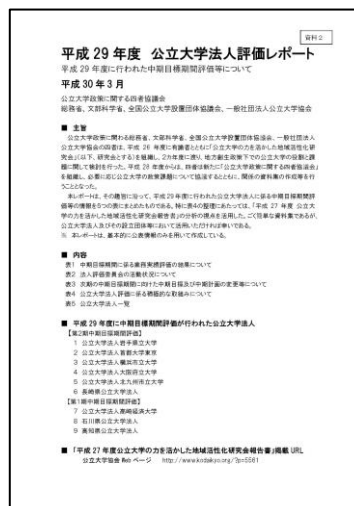
公立大学協会は、公立大学政策に関わる総務省、文部科学省、全国公立大学設置団体協議会、とともに「公立大学政策に関する四者協議会」を構成し連携して事業を実施した。

そのほか、国公立大学振興議員連盟に対し、公立大学の取組、自治体による公立大学の活用について説明するとともに、地域の知の拠点である公立大学への支援を訴えるなどにより、プレゼンスの向上をはかる活動を展開した。

公立大学政策に関する四者協議会

公立大学政策に関する四者協議会では、平成 29 年度に全国市町村国際文化研修所 (JIAM) において公立大学設置自治体担当者及び公立大学職員を対象に行われた研修「魅力ある公立大学づくり～設置自治体と公立大学の連携のために～」に企画協力及び講師派遣を行った。本協会からは中田晃事務局長が講師を務め、魅力ある公立大学のあり方について演習を行った。

また、年度末には、平成 29 年度に行われた 9 の公立大学法人に係る中期目標期間評価等の情報について、「公立大学法人評価レポート」として公表資料に基づき取りまとめ、総務省及び文部科学省、各設置団体及び各公立大学に発出したほか、協会 WEB サイトに掲載した。



【掲載 URL】

<http://www.kodaikyo.org/wp/wp-content/uploads/2018/03/h29yonsha.pdf>

国公立大学振興議員連盟

平成 28 年度に新設された国公立振興議員連盟は、平成 29 年度には 3 回開催された。

4 月 27 日、国公立大学振興議員連盟第 9 回総会が開催され、本協会からは「地方の元気をつくる公立大学に求められる支援」を訴えた（出席議員 45 名／代理 40 名）。

本協会からは、奥野武俊専務理事が、平成 28 年度に公立大学の在り方検討会議が取りまとめた地域貢献の分析プログラムの枠組み「LEAD」に沿って、公立大学の取組を紹介した。

8 月 9 日には第 10 回総会が、11 月 15 日には、第 11 回総会が開催され、それぞれ会の最後には、平成 30 年度予算についての決議が採択された。

第 10 回終了後には、田村憲久公立大学特別委員長、郡健二郎会長らがうえの賢一郎財務副大臣を訪問し、決議文を手交した。



前列右から郡会長、瀬戸公立大学特別委員会事務局長(当時)、梶田東京大学教授、田村公立大学特別委員会委員長、うえの財務副大臣、山極国立大学協会会長

重点事業２ 公立大学の将来構想に関する議論について

公立大学協会では、報告書「時代を LEAD する公立大学」(H29.5) に示した方向性に沿って、公立大学の将来構想に向けての議論を進めてきた。平成 29 年度は、地区協議会、学長会議等の機会に会員校の意見を集約するとともに、「LEAD」において論点となった地域貢献、自治体財政、地方自治の課題について有識者からの示唆を受け、第 1 委員会において意見交換を行ってきた。

議論の背景

平成 29 年 5 月に取りまとめた『時代を LEAD する公立大学 公立大学の将来構想に向けての議論の方向性と可能性』(H29.5) では、公立大学の地域貢献の類型化を試みた。

他方で、国立大学協会では「高等教育における国立大学の将来像(中間まとめ)」(H29.6) がまとめられ、私立大学に関しては国の「私立大学等の振興に関する検討会議」による「議論のまとめ」(H29.5) がなされるなど、先行した動きが活発化していた。

議論の経過

平成 29 年度には、『LEAD』を踏まえ、各公立大学長に対し、公立大学の将来構想に向けての議論に関する照会を 7 月に実施し、その結果を基に、地区協議会において意見交換を行った。また、並行して、各大学から寄せられた地域貢献の事例を資料集「公立大学の地域貢献機能」として取りまとめる作業を進めた。

『LEAD』及び照会結果には、大学の地域貢献、設置自治体の財政政策、地方自治等が課題として示されたことから、第 3 回から第 5 回の 3 回にわたり、これらをテーマとして講師を招き報告を受け、意見交換を行なった。

各回で取り扱うテーマは異なったものの、自治体行政への対応、地域における産学官連携、公立大学の改革の方向性など、公立大学が対峙する課題への共通項が見られた。

また、資料集「公立大学の地域貢献機能」については、全会員校からの地域貢献事例及び事例分析を取りまとめ、平成 30 年 1 月に発行に至った。

公立大学の将来構想に関する議論に対し示唆を受けた会議の開催実績(第1委員会及び第2回学長会議)

日時	講演タイトル及び講師
第3回 11/24(金)	「時代の要請に応える大学のあり方とは～大学は誰のためのものか?～」 船木 成記 氏(長野県参与、尼崎市顧問、博報堂ディレクター)
第4回 12/8(金)	「公立大学法人運営交付金と自治体の財政事情について」 稲垣 隆司 岐阜薬科大学長(元愛知県副知事)
第5回 1/12(金)	「公立大学経営のこれからと地方創生・地方自治」 辻 琢也 氏(一橋大学理事・副学長(企画・評価、人事、情報化担当))
第2回 学長会議 1/25(木)	「社会に支持され続ける公立大学を目指して―「自由で豊かな発想」が大学を強くする―」 公立大学法人首都大学東京 吉武博通 理事/筑波大学名誉教授



各回で報告を受けた有識者からの一言。

- 第3回第1委員会:船木長野県参与(左上)「学生時代に本気で接する大人に出会うことがとても大切」
- 第4回第1委員会:稲垣学長(右上)「予算要求のためには事業のスクラップアンドビルドが必要。一方で予算要求能力の向上のためのSDが必要」
- 第5回第1委員会:辻副学長(左下)「公立大学特有の事情を踏まえた評価指標、ランキングによるポジティブな評価が必要だ」
- 第2回学長会議:吉武理事(右下)「固定観念に囚われる心が改革を妨げているのではないか。我々自身が自由に考えたらどうか」

重点事業3 公立大学改革支援・評価研究センターの活動

平成28年度に改称した公立大学改革支援・評価研究センター（以下、センターとする）は、会員校の大学改革の取組み及び質保証活動等を積極的に支援する活動を強化すると共に、新たな認証評価機関の設立に向けた公立大学の評価に関する調査研究にも引き続き取り組んだ。以下に、今年度のセンターの活動概要を報告する。

新たな認証評価機関の設立に向けて

センターにおけるこれまでの公立大学の評価に関する調査研究の成果を踏まえ、新たな認証評価機関の設立に向けて、引き続き検討・調整を行った。平成29年11月から12月にかけて新たな大学機関別認証評価の「実施大綱」（案）及び「大学評価基準」（案）について協会Webサイト上で意見募集を行い、認証評価機関としての申請に向けた準備を進めた。

平成30年1月25日に開催された平成29年度臨時総会において、センターの独立団体化が可決され、平成30年3月16日に文部科学大臣に対し認証評価機関としての申請を行った。同27日に文部科学大臣から中央教育審議会に諮問が行われ、同日の大学分科会に諮られた。今後、大学分科会の下に設けられた認証評価機関の認証に関する審査会において専門的な調査審議が行われることとなっている。



「認証評価の理念・基準・組織」
（新たな認証評価機関に関するパンフレット）

大学評価ワークショップ

外部評価として公立大学の改革を支援する取組みである「大学評価ワークショップ」を名寄市立大学で実施した。評価チームはセンター委員らにより構成した。

名寄市立大学からは、自己点検・評価の体制・機能の深化・改善を図るべく、評価を要望する事項として、① 内部質保証、② 教育課程・学修成果、③ 大学運営・財務が挙げられた。

センターではこれを受け、事前の書面による調査とワークショップにより、ピアレビュー形式で評価を行った。



（実施概要）

日時：3月2日（金）10:00～17:00

会場：名寄市立大学

参加者：

名寄市立大学 48名

評価チーム 5名（五十音順・役職は当時）

浅田尚紀 センター長（兵庫県立大学副学長）

奥野武俊 代表理事（前大阪府立大学学長）

佐々木民夫 副センター長（岩手県立大学名誉教授）

柴田洋三郎 専門委員（福岡県立大学学長）

中田晃 専門委員（公立大学協会事務局長）

大学運営教職員研修

実施2年目となる今年度は29件の研修等へ講師の派遣を行い、延べ41公立大学、約2400名に対して講演等を行った。

質保証に関する情報提供

公立大学の質保証及び高等教育政策に関する情報提供を行う「公立大学改革支援・評価研究センター メールマガジン」を今年度は9通配信した。

重点事業４ 職員育成（セミナー、WS等）事業の実施

大学経営をめぐる課題の高度化・複雑化やそれに伴う教職協働に対応できる職員の育成を目的とした各種セミナーを実施した。今年度は新たな試みとして、公立大学職員の実務や自己研鑽に資するべく、会員校職員の協力のもと、「公立大学職員基礎知識ガイドブック」を作成し、会員校へ提供した。

①公立大学に関する基礎研修

公立大学に初めて勤務する職員を主な対象として、公立大学の基礎知識を学ぶ研修会を東京・大阪の２か所で開催した。総参加者数は218名であった。なお、本研修は、公立大学の設置自治体及び、公立短期大学からも参加者を得た。

開催地	参加者
東京 5/12 (金)	104名 (31大学81名、16自治体21名、2短大2名)
大阪 5/15 (火)	114名 (30大学99名、10自治体15名)

②公立大学職員セミナー

公立大学職員セミナーは、大学職務経験が比較的短い職員を対象として、政策理解・大学探究・学びのワークの３セッションのプログラムで開催した。公立大学に関する政策を学び、ワークショップを通じて所属大学への理解を深める機会となった。52大学105名が参加。



「学びのワーク」では事前課題をもとにしたワークショップ実施。

③公立大学法人中堅職員研修

公立大学の中堅職員が総合的に協議・研鑽を深める場として、企画・運営から関わる「企画支援者」を各大学から募り、参加者が主体的に作る研修として開催した。５種類の業務分野別分科会のほか、スキルアップ研修が行われ、参加者の積極的な議論が行われた。48大学86名が参加。



グループ協議結果を発表する公立大学職員。

④その他

○公立大学法人会計セミナー

収入・支出取引、固定資産の会計処理等に関して公認会計士による講義が行われ、法人会計担当職員がスキルアップに取り組んだ。48大学・2法人・1地方公共団体、88名が参加。

○教務事務セミナー

首都大学東京と本協会の共催形式で平成29年度は2回開催。第1回は「教務事務の基本的な考え方」、第2回は「教職再課程認定申請」と「学生支援」に関して受講者が理解を深めた。

○公立大学職員勉強会

公立大学協会及び文部科学省へ研修出向している公立大学職員が研修で得た成果を発表し、所属大学を離れて研修することの意義を参加者が共有した。

○公立大学職員基礎知識ガイドブックの作成・発行

公立大学の勤務経験が3年目までの職員をメインターゲットとし、大学を理解し業務において役立てることができるよう、基礎知識をまとめたガイドブックが発行された。

重点事業 5 大学運営に関する協議会の実施

副学長等の学長を支えるマネジメント層が公立大学における政策・教学・経営の課題全般について協議を行う「副学長等協議会（全体会）」、事務局長等の事務運営責任者が事務局運営・設置自治体との連携等を協議する「公立大学事務局長等連絡協議会」のほか、各部門の運営責任者が課題別に国による政策情報の提供、会員校からの取り組み事例報告を受け、相互の意見交換等を行う「課題別分科会」を開催した。

①副学長等協議会「全体会」

（7月18日（火） 東京グランドホテル）

公立大学では、学長のマネジメントを補佐する体制充実の必要性が高まっている。当協議会では「公立大学の在り方に関する検討会議」の報告、公立大学マネジメントに関する講演のほか、「公立大学のマネジメントの課題と副学長等の役割」についてパネルディスカッションを実施した。56 大学 62 名（副学長 36 名、その他 26 名）が参加。

（プログラム）10:30～12:30

- 「時代を LEAD する公立大学」（検討会議報告）について
奥野武俊 公立大学協会専務理事
- 講演「地域と社会に支持される大学であり続けるために」
吉武博通 公立大学法人首都大学東京理事
- パネルディスカッション
「公立大学のマネジメントの課題と副学長等の役割」
パネリスト：公立大学法人首都大学東京 吉武博通 理事
広島市立大学 青木信之 学長
京都府立大学 小沢修司 副学長
神戸市外国語大学 山口治彦 副学長
進 行：公立大学協会 奥野武俊 専務理事

②公立大学事務局長等連絡協議会

（11月8日（水） 東京グランドホテル）

各公立大学の事務局長等が公立大学の諸課題について、必要な協議を行う場として開催。公立大学職員育成に関する講演のほか、公立大学協会事業説明、全体協議等を行った。また、協議会開始前に地方独立行政法人法改正等に関する課題勉強会を実施した。77 大学 83 名（事務局長 61 名、その他 22 名）が参加。

（プログラム）14:20～16:50

- 公立大学協会事業説明
公立大学協会 中田晃 事務局長
- 全体協議 進行：名古屋市立大学 三宅勝 事務局長
- 講演「職員が拓く公立大学の未来」
講師：公立大学法人首都大学東京 吉武博通 理事



名古屋市長 三宅勝 事務局長 首都大学東京 吉武博通 理事



③副学長等協議会「国際化分科会」

（6月7日（水） 東京グランドホテル）

急激に進むグローバル化に対応するために、公立大学の国際化に関する情報共有、経験交流の場として開催。行政説明、事例発表のほか、グループ協議により留学生の派遣・受入等に関する情報共有を行った。33 大学 41 名（副学長 9 名、その他 32 名）が参加。

（プログラム）13:30～16:30

- 行政説明「大学の国際化推進の現状とこれからについて」
講師：文部科学省高等教育企画課国際企画室
岩淵秀樹 室長
- 事例発表
新潟県立大学 福嶋秋子 副学長
大阪府立大学 柳嘉夫 国際・社会連携推進本部
副本部長
- グループ協議



文部科学省 岩淵室長



グループ協議の様子

④副学長等協議会「研究促進分科会」

（7月3日（月） 東京グランドホテル）

公立大学の研究力の強化を目的として、研究担当の副学長等を対象に、文部科学省からの行政説明のほか、研究推進体制の整備や URA の設置などの事例発表、グループ協議を実施。47 大学 65 名（副学長 20 名、その他 45 名）が参加。

（プログラム）13:30～16:30

- 文部科学省講演
「科学研究費助成事業の動向について」
「文部科学省における産学連携の取組について」
- 事例報告 岩手県立大学 齋藤俊明 副学長
名古屋市立大学 今泉祐治 副学長
- グループ協議



岩手県立大学 齋藤副学長



グループ協議の様子

⑤副学長等協議会「教育改革分科会」

(7月18日(火) 東京グランドホテル)

公立大学ではゼミナール活動等による少人数教育や卒論指導、地域をフィールドとした教育活動等により、学生を育成してきた。本分科会では、高等教育改革と公立大学の取組に関する講演や事例発表のほか、今後の教育の方向性に共有する機会となった。57大学75名(副学長38名、その他37名)が参加。

(プログラム)14:00～16:30

- 趣旨説明「高等教育改革の方向性と公立大学取組み」
講師:清水一彦 山梨県立大学学長
- 講演「大学教育におけるゼミ活動の意義」
講師:矢野修一 高崎経済大学教授
- 事例発表 県立広島大学 馬本勉 学長補佐
滋賀県立大学 倉茂好匡 副学長
- 全体協議「公立大学の教育が向かう方向性」



山梨県立大学 清水学長



全体協議の様子

⑥副学長等協議会「地域連携分科会」

(9月4日(月) I-site なんば)

公立大学の地域連携活動は、地域志向の科目を導入するなど、教育・研究との統合による社会実践へとウィングを広げるようになった。連携内容が多岐に亘るようになったことに伴い、課題も多様化、複雑化が見られるようになった。本分科会では、自治体首長の立場を経験した立場からの講演及び事例報告等により、マネジメントの視点から地域連携をとらえた際の課題について共有する機会となった。46大学52名(副学長19名、その他33名)が参加。

(プログラム)13:30～16:30

- 講演「公立大学の地域連携実践について」
福知山公立大学 富野暉一郎 副学長
- パネルディスカッション「公立大学がめざす地域連携とは」
福知山公立大学 富野暉一郎 副学長
公立大学法人公立はこだて未来大学 松原仁 副理事長
高知県立大学 清原泰治 学長特別補佐
進行:公立大学協会 奥野武俊 専務理事



福知山公立大学 富野副学長(左)



高知県立大学 清原学長補佐
公立はこだて未来大学 松原副理事長(右)

⑦副学長等協議会「入学者選抜分科会」

(11月13日(月) 東京グランドホテル)

文部科学省より高大接続改革の実施方針等が策定・公表されたことを受けて、文部科学省大学入試室および大学入試センターから最新情報の提供を受け、大学でどのように改革に取り組むかについて、講演・全体協議により共有を行った。64大学86名(副学長24名、その他62名)が参加。

(プログラム)13:30～16:30

- 講演「大学入学者選抜改革の動向について」
文部科学省高等教育局大学振興課
山田泰造 大学入試室長
- 説明「平成29年度11月に実施する大学入学共通テスト導入に向けた試行調査(プレテスト)の趣旨について」
独立行政法人大学入試センター 大杉住子 審議役
- 講演「入学者選抜改革を進めるために～大学における対応～」 講師:首都大学東京 川上浩良 学長補佐
- 全体協議

⑧副学長等協議会「財務分科会」

(11月20日(月) 東京グランドホテル)

各公立大学では設置自治体との折衝を行いながら、業務運営のための財源の確保に取り組んできた。当分科会では、財務分析に関する公認会計士の講演により、各大学が適切に財政状況を把握する方策を共有するとともに、地方交付税の課題に関する理解を深めた。また、全体協議により財務に関する諸課題を協議した。45大学53名(副学長3名、事務局長14名、その他36名)が参加。

(プログラム)13:30～16:30

- 講演「公立大学法人の財務に関する分析」
講師:有限責任監査法人トーマツ
シニアマネージャー 栗井浩史 氏(公認会計士)
- 講演「公立大学に関する地方交付税の課題」
講師:公立大学協会 中田晃 事務局長
- 全体協議 進行:第3委員会 鬼頭宏 委員長



トーマツ 栗井シニアマネージャー



第3委員会 鬼頭委員長

重点事業6 学生ネットワークの支援

平成 24 年度の学長会議に集った学生が中心となって結成された「公立大学学生ネットワーク」による公立大学学生大会が、平成 29 年度は「Discover Ourselves ～地域と出逢い、私と出逢う～」をテーマとして、第 1 回学長会議（大阪市立大学）と並行開催された。学生ネットワーク支援の取組みとして、当日の様子を報告する。

全国公立大学学生大会 LINKtopos と 学長会議合同セッション

平成 29 年度の学生大会は、大阪府立少年自然の家（貝塚市）及び大阪市立大学杉本キャンパス（大阪市）において、3 日間にわたり開催された。3 日目のプログラムは、学長会議と並行開催され、学長と学生が直接交流する機会となった。

学長・学生合同プログラムでは、ポスターセッションとランチ交流会が行われた。学生の地域活動等のポスター発表について、学生と学長が間近で意見交換し、教員、職員、学生の協働による地域活動のあり方について理解を深める機会となった。

その後、会場を移し、鷺田清一京都市立芸術大学長による特別講演のほか、LINKtopos 代表の前田謙さん（北九州市立大学文学部 4 年）が Linktopos2017 の報告を行い、自らの LINKtopos に賭ける思いを公立大学長らに訴えた。

（平成 29 年度全国公立大学学生大会 LINKtopos の概要）

○日程：10/7（土）～9（月）

○場所：1 日目 大阪府立少年自然の家（貝塚市）

2～3 日目 大阪市立大学杉本キャンパス（大阪市）

○テーマ：Discover Ourselves～地域と出逢い、私と出逢う～

○参加者：35 大学 141 名の公立大学の学生、教職員等

○主なプログラム：

1 日目：「私たちって、いつも何やってるんだっけ！？」

3つの分科会にて、各大学・団体によるプレゼン

2 日目：「私たちが、出来ることって何だろう！？」

地域課題解決型ワークショップ

（大阪市職員による話題提供とワーク）

3 日目：「私たちは、どこへ歩いていくべきなんだろう！？」

ダイアログ、学生・学長合同セッション及びランチ交流会

（地区ブロックごとの意見交換、ポスターセッション及び

学長との交流、シンポジウム）



ポスターセッションの様子



公立大学学生ネットワーク代表
前田謙さん（北九州市立大学）

公立大学の学生交流に関するワーキンググループ

公立大学の学生間の交流を促進するため、第 1 委員会のもとに設置されたワーキンググループでは、公立大学学生大会支援に関する活動を行った（平成 29 年度は 2 回開催）。

10 月開催の第 2 回会議においては、公立大学協会として会員校が「国内留学」に積極的に参加できるための方策の検討を行った。

このほか、7 月に LINKtopos2017 開催にあたっての打合せ会議を大阪市立大学にて行ったほか、2 月に LINKtopos2018 開催にあたっての打合せ会議を行った。

開催実績

	日時	主な議題
第 1 回	8 月 28 日（月）	LINKtopos2017（平成 29 年度公立大学学生大会）について 公立大学の学生交流に関連する事項について（意見交換）
第 2 回	10 月 8 日（日）	LINKtopos2017（平成 29 年度公立大学学生大会）について 公立大学の「国内留学」について

委員名簿

	所属・役職	氏名
主 査	高知県立大学学長特別補佐 地域教育研究センター長	清原 泰治
副主査	名古屋市立大学副学長	伊藤 恭彦
委 員	札幌医科大学 医療人育成センター長	相馬 仁
〃	首都大学東京 学長補佐（学生担当）	永井 徹
〃	岐阜薬科大学 副学長	足立 哲夫
〃	滋賀県立大学理事 COC＋推進室長	田端 克行
〃	大阪市立大学 学長補佐 地域連携 センター 所 長	宮野 道雄
〃	下関市立大学 経済学部長	高橋 和幸
〃	熊本県立大学 総合管理学部教授	吉村 信明
〃	公立大学協会 事務局長	中田 晃

2 実施事業一覧（日付順）

実施事業一覧（日付順）

平成 29 年

- 4/1 外部 公立大学法人長野大学設立記念式典・長野大学開学式（奥野専務理事記念講演）
- 4/3 外部 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議（第 4 回）
- 4/6～13 第 1 回規程の整備等に関する検討会議（持ち帰り会議）
- 4/11 外部 大学分科会（第 135 回）
- 4/13 第 1 回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議
- 4/14 奈良県立大学「大学運営教職員研修」（浅田センター長講演）
- 4/18 外部 国公立大学振興議員連盟 公立大学特別委員会打ち合わせ会
- 4/18 外部 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議（第 5 回）
- 4/24 外部 平成 29 年度第 1 回就職問題懇談会
- 4/26 新見公立大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）
- 4/27 第 1 回理事会
- 4/27 外部 国公立大学振興議員連盟 第 9 回総会
- 4/27 外部 大学における工学系教育の在り方に関する検討委員会（第 3 回）
- 4/28 外部 大学基準協会大学評価実務説明会
- 4/28 外部 看護学教育モデル・コア・カリキュラム策定ワーキンググループ（第 3 回）
- 5/12 大学改革支援研究会（東京）
- 5/12 公立大学に関する基礎研修（東京）
- 5/15 大学改革支援研究会（大阪）
- 5/15 公立大学に関する基礎研修（大阪）
- 5/15 外部 私立大学等の振興に関する検討会議（第 15 回）
- 5/22 要望書収受「『公正な入学者選抜』の実施について」
- 5/22 外部 大学入学希望者学力評価テスト（仮称）検討・準備グループ
- 5/22 外部 理工系人材育成に関する産学官円卓会議（第 10 回）
- 5/23 新任学長懇談会
- 5/23 新任事務局長等懇談会
- 5/23 平成 29 年度定時総会
- 5/23 第 2 回理事会
- 5/24 発送 「公立大学 2017」
- 5/24 外部 大学における工学系教育の在り方に関する検討委員会（第 4 回）
- 5/26 第 1 回公立大学共通テキスト編集チーム会議
- 5/29 外部 将来構想部会（第 1 回）
- 6/1 入学者選抜に関する研究会
- 6/1 外部 大学入学者選抜方法の改善に関する協議（第 1 回）
- 6/1 外部 大学ポートレート運営会議に係る実務者協議会（第 13 回）
- 6/2 第 1 回教務事務セミナー（首都大学東京との共催）
- 6/7 副学長等協議会「国際化分科会」
- 6/9 外部 第 49 回公立大学協会図書館協議会総会
- 6/12 公立大学協会担当者研修会及び公立大学実態調査表作成説明会
- 6/14 第 1 回運営会議
- 6/15 外部 大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会（第 3 回）
- 6/19 外部 UMAP 日本国内委員会ワーキンググループ（第 1 回）
- 6/21 三重県立看護大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）
- 6/21 米国教育協議会（ACE）Brad Farnsworth 副会長との意見交換
- 6/27 第 3 回理事会 第 1 回第 1 委員会・第 2 委員会・第 3 委員会合同会議
- 6/27 第 1 回第 1 委員会
- 6/27 第 1 回第 2 委員会
- 6/27 第 1 回第 3 委員会
- 6/28 外部 将来構想部会（第 2 回）
- 6/29 京都府立大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）
- 6/30 高知県立大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）
- 6/30 発送 「時代を LEAD する公立大学」
- 7/3 副学長等協議会「研究促進分科会」
- 7/5 外部 英語四技能試験成績提供システム勉強会
- 7/7 医科歯科部会〔部会長校：奈良県立医科大学〕（奥野専務理事講演）
- 7/10～12 公立大学職員セミナー
- 7/11 外部 UMAP 国際事務局運営委員会（第 1 回）
- 7/12 外部 大学入学者選抜方法の改善に関する協議（第 2 回）
- 7/14 公立大学の学生交流に関するワーキンググループ打ち合わせ会議（第 1 回）
- 7/18 副学長等協議会（全体会）
- 7/18 副学長等協議会「教育改革分科会」
- 7/18 外部 全国公立大学設置団体協議会総会（岐阜県）
- 7/20 要望書収受「専門高校生徒の進学機会の拡大等に関する要望書」
- 7/20 要望書収受「産業教育の振興に関する要望書（専門高校の充実に関する要望書）」
- 7/21 外部 UMAP 日本国内委員会ワーキンググループ会議（第 1 回）
- 7/26 香川県立保健医療大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）
- 7/28 外部 将来構想部会（第 3 回）

7/28 **外部** 将来構想部会制度・教育改革ワーキンググループ（第1回）

7/31～8/2 **外部** 全国市町村国際文化研修所（JIAM）研修

8/7 埼玉県立大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

8/7 **外部** 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議（第8回）

8/8 公立大学改革支援評価研究センター 認証評価に関する協議①

8/9 **外部** 国公立大学振興議員連盟第10回総会

8/9 **外部** 将来構想部会制度・教育改革ワーキンググループ（第2回）

8/10 茨城県立医療大学「大学運営教職員研修」（奥野専務理事講演）

8/18 第2回第1委員会

8/22 第2回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

8/23 **外部** 大学分科会（第137回）・将来構想部会（第4回）合同会議

8/23 **外部** 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議（第9回）

8/25 関東・甲信越地区協議会（議長校：首都大学東京）

8/28 第1回公立大学の学生交流に関するワーキンググループ

8/29 **外部** 将来構想部会制度・教育改革ワーキンググループ（第3回）

8/30 東海・北陸地区協議会（議長校：岐阜薬科大学）

8/31 兵庫県立大学、神戸市看護大学、神戸市外国語大学（合同）「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

9/1 富山県立大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

9/4 副学長等協議会「地域連携分科会」

9/4 要望書収受「平成30年度国家予算及び施策に関する要望書」

9/5 北海道・東北地区協議会（議長校：札幌医科大学）

9/7～8 看護・保健医療部会総会等〔部会長校：大分県立看護科学大学〕

9/8 生活科学・環境学系部会〔部会長校：兵庫県立大学、副部会長校：高知県立大学〕

9/11 長野大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

9/11～13 公立大学法人会計セミナー

9/12 九州・沖縄地区協議会（議長校：熊本県立大学）

9/13 新潟県立看護大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

9/14 長崎県立大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

9/14 **外部** 大学における看護系人材養成の在り方に関

する検討会（第4回）

9/15 近畿地区協議会（議長校：滋賀県立大学）

9/15 商・経・経営部会〔部会長校：兵庫県立大学〕

9/19～20 公立大学中堅職員研修会

9/19 **外部** 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議（第10回）

9/20 **外部** 将来構想部会（第5回）

9/21 外国語学・国際関係系部会〔部会長校：長崎県立大学〕

9/22 **外部** 将来構想部会制度・教育改革ワーキンググループ（第4回）

9/22 **外部** 大学ポータルレート運営会議（第7回）

9/25 新潟県立大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

9/27 山形県立米沢栄養大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

9/28 中国・四国地区協議会（議長校：下関市立大学）

9/30 社会福祉学系部会〔部会長校：神奈川県立保健福祉大学〕

10/2 要望書収受「家庭に関する学科等卒業者の進学機会の拡大等についての要望書」

10/4 **外部** 将来構想部会（第6回）

10/5 **外部** 秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学、秋田公立美術大学「県内4大学連携事業」（中田事務局長講演）

10/5 **外部** 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議（第11回）

10/6 情報部会〔部会長校：秋田県立大学、開催校：首都大学東京〕

10/6 **外部** 国公立大学団体国際交流担当委員長協議会（第19回）

10/8 第2回公立大学の学生交流に関するワーキンググループ

10/9 第2回運営会議

10/9～10 第1回公立大学学長会議

10/10 第4回理事会

10/17 第3回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

10/17 **外部** 中央教育審議会教育振興基本計画部会（関係団体ヒアリング）

10/18 福山市立大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

10/19 前橋工科大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

10/19 工学部会〔部会長校：前橋工科大学〕

10/23 芸術部会〔部会長校：金沢美術工芸大学〕

※台風により中止

10/25 名寄市立大学「大学運営教職員研修」（中田事務局長講演）

10/25 **外部** 大学分科会（第138回）・将来構想部会（第

7回) 合同会議

10/26 奈良県立医科大学「大学運営教職員研修」(浅田センター長講演)

10/27 理学部会〔部会長校：兵庫県立大学〕

10/27 公立大学改革支援・評価研究センター 認証評価に関する協議②(メール会議)

10/30 外部 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議(第12回)

10/31 札幌医科大学「大学運営教職員研修」(中田事務局長講演)

11/2 人文系部会〔部会長校：山口県立大学、副部会長校：高知県立大学〕

11/6 外部 UMAP 日本国内委員会ワーキンググループ 会議(第2回)

11/8 公立大学事務局長等連絡協議会

11/8 外部 将来構想部会(第8回)

11/10 農学部会〔部会長校：福井県立大学〕

11/13 副学長等協議会「入学者選抜分科会」

11/14～21 第2委員会(メール会議)

11/14 県立広島大学「大学運営教職員研修」(中田事務局長講演)

11/15 外部 国公立大学振興議員連盟 第11回総会

11/17 外部 将来構想部会制度・教育改革ワーキンググループ(第7回)

11/20 副学長等協議会「財務分科会」

11/21 公立大学改革支援・評価研究センター 認証評価に関する協議③

11/21 外部 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議(第13回)

11/22 第2回教務事務セミナー(首都大学東京との共催)

11/24 第3回第1委員会

11/24～12/7 大学機関別認証評価の「実施大綱(案)」及び「大学評価基準(案)」に関する意見募集の実施

11/27 外部 平成29年度大学ポートレートステークホルダー・ボード

11/27～28 外部 公立大学法人等運営事務研究会

11/29 外部 将来構想部会(第9回)

11/29 外部 UMAP 日本国内委員会(第2回)

12/1 沖縄県立芸術大学「大学運営教職員研修」(中田事務局長講演)

12/6 第2回第3委員会

12/6 外部 将来構想部会制度・教育改革ワーキンググループ(第8回)

12/8 第4回第1委員会

12/8 公立大学改革支援・評価研究センター 認証評価に関する協議④(メール会議)

12/8 外部 第3回「防災推進国民会議」

12/8 外部 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議(第14回)

12/11 薬学部会〔部会長校：静岡県立大学〕

12/13 外部 自民党教育再生実行本部・高等教育改革部会(ヒアリング)

12/15 発送 「平成29年度公立大学実態調査表」

12/15 外部 大学分科会(第139回)・将来構想部会(第10回) 合同会議

12/18 埼玉県立大学「大学運営教職員研修」(奥野専務理事講演)

12/20 敦賀市立看護大学「大学運営教職員研修」(中田事務局長講演)

12/21 神戸市外国語大学「大学運営教職員研修」(中田事務局長講演)

12/26 第3回運営会議

12/26 外部 将来構想部会(第11回)

12/27 神奈川県立保健福祉大学「大学運営教職員研修」(柴田副会長講演)

12/28 公立大学改革支援・評価研究センター 認証評価に関する協議⑤

平成30年

1/4～10 第5回理事会(書面審議)

1/11 外部 大学ポートレート運営会議に係る実務者協議会(第14回)

1/12 第5回第1委員会

1/17 第3回第3委員会

1/17 沖縄県立看護大学「大学運営教職員研修」(浅田センター長講演)

1/19 第4回運営会議

1/19 第2回規程の整備等に関する検討会議

1/22 公立大学改革支援・評価研究センター 認証評価に関する協議⑥

1/23 第4回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

1/24 外部 将来構想部会(第12回)

1/25 第6回理事会

1/25 第2回公立大学学長会議

1/26 第5回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

1/31 外部 将来構想部会制度・教育改革ワーキンググループ(第9回)

1/31 外部 大学ポートレート運営会議(第8回)

1/31 外部 就職採用情報交換連絡会議(第1回)

2/2 外部 UMAP 国際事務局運営委員会(第3回)

2/6 第6回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

2/8 内閣府及び文部科学省に対する要望提出

2/8 発送 「公立大学の地域貢献機能」

2/8 発送 「公立大学職員基礎知識ガイドブック(第1版)」

2/13 外部 将来構想部会制度・教育改革ワーキンググループ(第10回)

- 2/15 名古屋市立大学「大学運営教職員研修」(浅田セン
ター長講演)
- 2/16 第7回公立大学改革支援・評価研究センタースタ
ッフ会議
- 2/16 外部 全国公立大学設置団体協議会職員研修会
- 2/19 外部 公立大学障害学生支援担当者検討会(福岡)
- 2/21 第3回規程の整備等に関する検討会議
- 2/21 第8回公立大学改革支援・評価研究センタースタ
ッフ会議
- 2/21 外部 将来構想部会(第13回)
- 2/21 外部 理工系人材育成に係る大学協議体
- 2/23 外部 理工系人材育成に係る大学協議体(勉強会)
- 2/26 外部 UMAP 日本国内委員会ワーキンググループ
会議(第3回)
- 2/27 外部 将来構想部会制度・教育改革ワーキンググル
ープ(第11回)
- 2/28 公立大学の学生交流に関するワーキンググループ
打ち合わせ会議(第2回)
- 3/1 外部 公立大学障害学生支援担当者検討会(東京)
- 3/2 大学評価ワークショップ(名寄市立大学)
- 3/2 外部 UMAP 日本国内委員会(第3回)
- 3/2 外部 将来構想部会(第14回)
- 3/6 香川県立保健医療大学「大学運営教職員研修」(郡
会長講演)
- 3/6 第9回公立大学改革支援・評価研究センタースタ
ッフ会議
- 3/6~9 第7回理事会(書面審議)
- 3/6 外部 グローバル人材育成コミュニティ協議会運
営幹事会(第6回)
- 3/8 外部 国立大学協会通常総会(第4回)
- 3/9 第10回公立大学改革支援・評価研究センタースタ
ッフ会議
- 3/14 第1回公立大学職員勉強会(研修報告会)
- 3/26 外部 将来構想部会制度・教育改革ワーキンググル
ープ(第12回)
- 3/26 外部 就職問題懇談会(第3回)
- 3/27 発送 公立大学便覧
- 3/27 外部 「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」
検討・準備グループ(第12回)
- 3/27 外部 大学分科会(第140回)・将来構想部会(第
14回)合同会議
- 3/29 外部 産学連携による科学技術人材育成に関する
大学協議体と産業界による意見交換(第1回)
- 3/30 外部 大学入学者選抜方法の改善に関する協議(第
3回)

| | |---| | 3 | |---| 実施事業等の結果

1 諸会議開催経過

[1] 定時総会、学長会議

平成 29 年度 新任学長懇談会

5 月 23 日（火）10：30～12：00

場所 学士会館 2 階 203 号室

参加 16 名

1 開会挨拶

一般社団法人公立大学協会

清原正義 会長（島根県立大学長）

2 話題提供

「公立大学には 4 人の母がいる」

一般社団法人公立大学協会

郡健二郎 副会長（名古屋市立大学長）

3 懇談

平成 29 年度 新任事務局長等懇談会

5 月 23 日（火）10：30～12：00

場所 学士会館 3 階 320 号室

参加 38 名

1 開会挨拶

一般社団法人公立大学協会

奥野武俊 専務理事（前大阪府立大学長）

2 情報提供

「公立大学の現状と課題」

一般社団法人公立大学協会

中田晃 事務局長

「公立大学改革のための公立大学改革支援・評価研究センターの機能と事業」

公立大学改革支援・評価研究センター

浅田尚紀 センター長

（兵庫県立大学副学長／前広島市立大学長）

3 懇談（質疑）

平成 29 年度 定時総会

5 月 23 日（火）13：30～17：00

場所 学士会館 2 階 210 号室

参加 88 大学 162 名

1 挨拶

一般社団法人公立大学協会 清原正義 会長

文部科学省 常盤豊 高等教育局長

総務省自治財政局 溝口洋 財務調査課長

全国公立大学設置団体協議会 古田肇 会長（岐阜県知事）

（代理：三田村俊文 東京事務所長）

2 講演「地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議について」

まち・ひと・しごと創生本部 松尾泰樹 事務局次長
（文科省大臣官房審議官）

講演「公立大学を巡る高等教育政策について」

文部科学省高等教育局 角田喜彦 大学振興課長

3 新任学長・事務局長紹介

4 議案審議

議案第 1 号 新会員入会について

議案第 2 号 平成 28 年度事業報告及び決算について

議案第 3 号 定款の改正について（公立大学長以外の役員の報酬）

議案第 4 号 会費規程の改正について（会費の一部免除）

議案第 5 号 平成 29 年度事業計画及び収支予算について

議案第 6 号 役員の選任について

◇関係団体等からの情報提供

平成 29 年度 第 1 回公立大学学長会議

10 月 9 日（月・祝）11：30～17：30

10 日（火）10：00～12：00

場所 大阪市立大学杉本キャンパス学術情報総合センター（9 日）

天王寺都ホテル（10 日）

参加 86 大学 5 法人 93 名

1 日目 9 日（月・祝）11：30～17：30

○ LINKtopos 2017（第 5 回全国公立大学学生大会）ポスターセッション

（1 階 カフェテリア、文化交流室、エントランスホール）

学生・学長ランチ交流会／地域活動等のポスター発表

○ 学長会議 開会挨拶（10 階 大会議室）

公立大学協会 郡健二郎 会長（名古屋市立大学長）

大阪市立大学 宮野道雄 学長補佐

○ セッション 1 地域で活躍する公立大学生（学長・学生合同セッション）

進行：鬼頭宏 副会長（静岡県立大学長）

1 特別講演「地域に向き合って学ぶ公立大学生が羽ばたくために」

講師：鷲田清一 京都市立芸術大学長

2 LINKtopos 2017 報告

公立大学学生ネットワーク代表 前田謙さん（北九州市立大学文学部 4 年）

3 ディスカッション

○ セッション 2 公立大学の教育に求められる姿

進行：荒川哲男 副会長（大阪市立大学長）

1 講演「これからの時代に求められるリベラルアーツ～『個』の確立のための教育の充実に向けて」

講師：鈴木典比古 国際教養大学長

2 講演「高等教育の将来構想と公立大学」

講師：文部科学省 義本博司 高等教育局長

3 ディスカッション

○ 情報交換会（17：30～19：00 1 階 カフェテリア）

・公立大学改革支援・評価研究センターの団体化について

2日目 10日(火) 9:00~11:00

○ セッション3 公立大学の政策課題

進行：柴田洋三郎 副会長(福岡県立大学長)

- 1 講演「公立大学を取り巻く政策状況と課題」
講師：文部科学省 三浦和幸 大学振興課長
- 2 質疑・ディスカッション

○ 全体協議 公立大学協会の今後の活動の方向性

進行：郡健二郎 会長

- 1 協議議題1「公立大学の将来構想に向けての議論について」
- 2 協議議題2「新たな認証評価の構想について」

第2回公立大学学長会議

平成30年1月25日(木) 13:30~17:00

場所 学士会館 210号室

参加 83大学7法人105名

- 1 開会挨拶
公立大学協会 郡健二郎 会長(名古屋市立大学長)

- 2 挨拶
文部科学省 義本博司 高等教育局長
総務省自治財政局 山越伸子 財務調査課長

3 公立大学を巡る政策説明

- (1)「地方創生に係る大学関係施策の最近の動向について」
説明：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部
松尾泰樹 事務局次長(文部科学省大臣官房審議官)

- (2)「公立大学を巡る高等教育施策について」
説明：文部科学省高等教育局
三浦和幸 大学振興課長

- (3)「今後の高等教育の将来像の提示に向けた論点整理」
説明：文部科学省高等教育局
堀野品三 高等教育企画課企画官(併)高等教育企画課高等教育政策室長

- (4)「学生支援について」
説明：文部科学省高等教育局
井上諭一 学生・留学生課長

- (5)「文部科学省における産学連携の取組について」
説明者：文部科学省産業連携・地域支援課
村瀬剛太 大学技術移転推進室長

4 全体会議

- (1) 講演「社会に支持され続ける公立大学を目指してー「自由で豊かな発想」が大学を強くするー」
講師：公立大学法人首都大学東京 吉武博通 理事
／筑波大学名誉教授

- (2) 協会事業説明
・公立大学の将来構想について
・新たな認証評価機関について

5 臨時総会

○ 情報交換会 17:20~

〔2〕大学運営に関する協議会

副学長等協議会(全体会)

7月18日(火) 10:30~12:30

場所 東京グランドホテル3階 桜

参加 56大学68名

- 1 開会挨拶・趣旨説明
郡健二郎 公立大学協会会長(名古屋市立大学長)
- 2 「時代を LEAD する公立大学」(公立大学の在り方に関する検討会議報告書)について
奥野武俊 公立大学協会専務理事
- 3 講演「地域と社会に支持される大学であり続けるために」
吉武博通 公立大学法人首都大学東京理事
／筑波大学名誉教授
- 4 パネルディスカッション「公立大学のマネジメントの課題と副学長等の役割」

パネリスト:

吉武博通 公立大学法人首都大学東京理事
／筑波大学名誉教授

青木信之 広島市立大学長

小沢修司 京都府立大学副学長

山口治彦 神戸市外国語大学副学長

進行：奥野武俊 公立大学協会専務理事

5 総括

奥野武俊 公立大学協会専務理事

ランチ交流会

7月18日(火) 12:30~14:00

場所 東京グランドホテル3階 蘭

公立大学事務局長等連絡協議会

11月8日(水) 14:20~16:50

(希望者のみ・課題勉強会 13:00~14:00)

場所：東京グランドホテル3階 桜

参加 78大学2法人88名(講師・説明者等を除く)

○課題勉強会(希望者のみ) 13:00~14:00

テーマ：地方独立行政法人法の改正への対応

講師：(公立大学法人評価)公立大学協会 中田晃 事務局長
(役員賠償責任)共立インシュアランス・ブローカーズ株式会社
企業営業本部公務営業室 宮守康夫 室長

○協議会 14:20~16:50

1 開会挨拶

名古屋市立大学 三宅勝 事務局長

2 公立大学協会事業説明

説明者：公立大学協会 中田晃 事務局長

3 全体協議

進行：名古屋市立大学 三宅勝 事務局長

4 講演「職員が拓く公立大学の未来」

講師：公立大学法人首都大学東京 吉武博通 理事

(6) その他

- ・地域政策系部会の設置について
- ・規程の整備等に関する検討会議の設置について
- ・事務局職員の採用について

[3] 理事会

第1回理事会

4月27日（木）13：30～15：30

場所 日本消防会館（ニッショーホール）5階 大会議室

- 1 会務報告（平成28年度第5回理事会以降）
- 2 平成28年度事業報告及び決算について
 - ・公立大学の在り方に関する検討会議について
 - ・公立大学改革支援・評価研究センターについて
- 3 規程の整備について
- 4 平成29年度公立大学協会事業計画（案）及び予算（案）について
- 5 その他
 - ・国公立大学振興議員連盟について
 - ・平成29年度定時総会について

第2回理事会

5月23日（火）16：20～16：30

場所 学士会館 2階 210号室

- 1 役員等の選定、委嘱等について

第3回理事会 第1回第1委員会・第2委員会・第3委員会 合同会議

6月27日（火）14：00～15：30

場所 メルパルク東京 4階 白鳥

- 1 文部科学省との協議
 - (1) 行政説明（高等教育の将来構想に関する検討ほか）
文部科学省高等教育局 角田喜彦 大学振興課長
 - (2) 協会事業説明（公立大学の在り方に関する検討会議
報告書概要について）
 - (3) 協議
- 2 議題
 - (1) 会務報告
 - (2) 常置委員会の担当事項及び委員について
 - (3) 新たな認証評価の構想について
 - (4) 今後の活動の展開について（地区協議会、学長会議、
副学長等協議会等）
 - (5) 政策課題等への対応について（要望事項等）

第4回理事会

10月10日（火）11：15～12：00

場所 天王寺都ホテル 5階 二上の間

- 1 会務報告（地区協議会等）
- 2 公立大学の将来構想の議論の進め方について
- 3 新たな認証評価の構想について
- 4 会長の職務を代行する副会長の順序について
- 5 その他

第5回理事会（書面審議）

平成30年1月4日（木）～10日（水）

- 1 臨時総会への議案の提出について

第6回理事会

1月25日（木）11：00～12：15

場所 学士会館 203号室

- 1 会務報告
- 2 公立大学の将来構想の議論について（報告）
- 3 新たな認証評価機関の組織について
- 4 規程の整備について
- 5 その他
 - ・高等教育無償化に関する要望について
 - ・第2回公立大学学長会議について

第7回理事会（書面審議）

3月6日（火）～9日（金）

- 1 一般社団法人公立大学協会非常勤職員就業規則の改正について
- 2 一般社団法人公立大学協会常勤職員給与規則の改正について

[4] 地区協議会

北海道・東北地区

9月5日（火）13：30～16：40

議長校 札幌医科大学

場所 札幌医科大学 基礎医学研究棟 5 階 共通会議室
参加 15 大学 1 地方公共団体、39 名（文部科学省除く）、
郡健二郎会長、奥野武俊専務理事、中田晃事務局長

1 開会

2 挨拶

公立大学協会北海道・東北地区協議会議長

札幌医科大学理事長・学長 塚本泰司

公立大学協会会長（名古屋市立大学理事長・学長）

郡健二郎

文部科学省高等教育局大学振興課課長補佐

小野耕志

3 議事等

(1) 公立大学の将来構想に関する懇談

①「時代を **LEAD** する公立大学」－公立大学の在り方
に関する検討会議報告

② 公立大学の将来構想に関する照会結果について

③ 地域連携に関する事例発表

(2) 理事会からの提案議題

① 新たな認証評価の構想への取組みについて

② 新たな認証評価の構想及び評価基準について

(3) 北海道・東北地区提案議題

① 各大学の奨学金制度について

② 多様な財源の確保に向けた取組みについて

③ 情報セキュリティ対策について

④ メンタルヘルスに問題のある学生に対する支援について

(4) 議長校提案議題

公立大学協会北海道・東北地区協議会議長校の選出
方法（案）について

4 閉会

○ 情報交換会 17：15～

関東・甲信越地区

8 月 25 日（金）14：00～17：00

議長校 首都大学東京

場所 首都大学東京南大沢キャンパス 国際交流会館 大会議室

参加：17 大学 6 地方公共団体 42 名（文部科学省除く）、

鬼頭宏副会長、奥野武俊専務理事、中田晃事務局長

1 関東・甲信越地区協議会議長あいさつ

首都大学東京 学長 上野淳

2 公立大学協会副会長あいさつ

静岡県立大学 学長 鬼頭宏

3 文部科学省あいさつ

高等教育局大学振興課 課長補佐 小野耕志

4 公立大学の将来構想に関する懇談

・「時代を **LEAD** する公立大学」－公立大学の在り方
に関する検討会議 報告

公立大学協会 専務理事 奥野武俊

・公立大学の将来構想に関する照会結果について

公立大学協会 事務局長 中田晃

・公立大学の将来構想に関して意見交換

5 理事会提案議題

・新たな認証評価の構想への取組みについて

公立大学協会 センター担当理事 奥野武俊

・新たな認証評価の構想及び評価基準について

公立大学協会 事務局長 中田晃

・質疑及び意見交換

6 地区会員校提案議題

・障害者差別解消法施行後の障がい学生受入対応について

首都大学東京 管理部長 富澤賢一

・質疑及び意見交換

○ 情報交換会 17：20～19：00

東海・北陸地区

8 月 30 日（水）14：00～16：45

議長校 岐阜薬科大学

場所 岐阜キャッスルイン 2 階

コンベンションホール（末広の間）

参加 15 大学 4 地方公共団体、39 名、

奥野武俊専務理事、浅田尚紀センター長、中田晃事務局長

1 開会

2 議長挨拶

公立大学協会東海・北陸地区協議会議長

稲垣隆司 岐阜薬科大学 学長

3 公立大学協会挨拶

公立大学協会会長

郡健二郎 名古屋市立大学 理事長・学長

4 議題

(1) 公立大学の将来構想に関する懇談

①「時代を **LEAD** する公立大学」－公立大学の在り方
に関する検討会議 報告

②公立大学の将来構想に関する照会結果について

(2) 理事会からの提案議題

①新たな認証評価の構想について

ア. 新たな認証評価の構想への取組みについて

イ. 新たな認証評価の構想及び評価基準について

(3) 地区協議会会員校提案議題

①プロパー職員の採用について【富山県立大学提案】

②学生の地元定着について【富山県立大学提案】

③公立大学として地域社会に貢献するための体制づくり
や取組状況について【福井県立大学提案】

④平成 32 年度に実施される入試制度改革への対応

【名古屋市立大学提案】

ア. 共通テストの記述式問題の段階別採点表示の活用
方法について

イ. 推薦入試における学力の 3 要素の内の「主体性・
多様性・協働性」の評価方法

ウ. 民間英語試験のオプションについて

5 閉会

○ 情報交換会 17:00～19:00

近畿地区

9月15日(金) 14:00～17:00

議長校 滋賀県立大学

場所 滋賀県立大学 AO 棟 3 階 教授会室

参加 12 大学 9 地方公共団体 37 名、(文部科学省除く)

奥野武俊 専務理事、浅田尚紀センター長

開会

1 議長挨拶

滋賀県立大学 理事長 廣川能嗣

2 公立大学協会ご挨拶

公立大学協会 副会長 荒川哲男(大阪市立大学長)

3 文部科学省講演

高等教育局大学振興課課長補佐 小野耕志

・公立大学を取り巻く高等教育施策の動向について

4 公立大学協会理事会報告

・公立大学の将来構想に関する懇談

・理事会からの提案議題(新たな認証評価の構想について)

5 地区協議会会員校等からの提案議題

・入試改革について(京都府立大学)

・高大接続システム改革における各大学の対応状況について(大阪府立大学)

・情報発信の現状とブランディング強化の取り組みについて(大阪市立大学)

閉会

○ 情報交換会 17:00～18:00

中国・四国地区

9月28日(木) 13:30～16:50

議長校 下関市立大学

場所 下関市立大学 本館Ⅱ棟 5F 大会議室

参加 15 大学 1 法人 7 地方公共団体 52 名、
柴田洋三郎副会長、奥野武俊専務理事、浅野尚紀センター長、
中田晃事務局長

1 開会あいさつ

(1) 中国・四国地区協議会長 川波洋一(下関市立大学長)

(2) 公立大学協会副会長 柴田洋三郎(福岡県立大学長)

2 公立大学の将来構想に関する懇談

(1)「時代を LEAD する公立大学の在り方に関する検討会議
報告」

(2) 公立大学の将来構想に関する照会結果について

(3) 質疑及び意見交換

3 理事会からの提案議題

(1) 新たな認証評価の構想について

(2) 新たな認証評価の構想及び評価基準について

(3) 質疑及び意見交換

4 中国・四国地区協議会会員校からの提案議題

(1) 議題1「設置自治体と大学との連携について」

※提案議題2及び提案議題3を総合的に議論

提案大学:岡山県立大学・山口県立大学

(2) 議題2「学生支援について」

※提案議題1及び提案議題4を総合的に議論

提案大学:公立鳥取環境大学

山陽小野田市立山口東京理科大学

5 その他連絡事項及び閉会

○ 情報交換会 18:00～

九州・沖縄地区

9月12日(火) 14:00～17:00

議長校 熊本県立大学

場所 ホテル熊本テルサ 3F たい樹

参加 12 大学 4 地方公共団体 28 名、

奥野武俊専務理事、中田晃事務局長

1 九州・沖縄地区協議会議長挨拶

熊本県立大学長 半藤英明

2 公立大学協会副会長挨拶

福岡県立大学長 柴田洋三郎

3 来賓挨拶

熊本県総務部総務私学局長 古森美津代

4 公立大学の将来構想に関する懇談

(1)「時代を LEAD する公立大学ー公立大学の在り方に関する
検討会議 報告」

公立大学協会 奥野武俊 専務理事

(2) 公立大学の将来構想に関する照会結果について

公立大学協会 中田晃 事務局長

(3) 公立大学の将来構想に関する懇談

5 公立大学協会理事会からの提案議題

(1) 新たな認証評価の構想について

6 九州・沖縄地区協議会の会員校からの提案議題

(1) 県内就職率向上及び就職支援全般について

(2) 大学入試改革の取り組み状況について

○情報交換会 17:00～

[5] 部会

医科歯科部会 [部会長校:奈良県立医科大学]

7月7日(金) 13:30～17:30

場所 橿原ロイヤルホテル 2 階 天雲

○全国公立医科歯科大学事務局長会議

参加 9 大学 10 名、中田晃事務局長(文部科学省除く)

- 1 開会
- 2 幹事校・議長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 議事
 - (1)承合事項
 - ①チーム医療を実現するための教育内容・方法及び実施体制について
 - ②IR (Institutional Research) への対応状況について
 - ③教職員の働き方改革について
 - ④各都道府県内の各地域に卒業生を定着させるための大学の取り組み状況について
 - ⑤人材育成体制の構築状況について
 - (2)その他

5 閉会

○全国公立医科歯科大学長・事務局長会議

参加 9 大学 18 名、奥野武俊専務理事、中田晃事務局長

- 1 開会
 - 2 幹事校・議長挨拶
 - 3 来賓紹介
 - 4 自己紹介
 - 5 講演「医学・歯学教育の現状と課題」

講師 文部科学省高等教育局医学教育課
森孝之 課長
 - 6 報告 「公立大学の現状と課題」

公立大学協会 奥野武俊 専務理事
 - 7 議事
 - (1) 国の予算及び施策に対する要望活動について
 - (2) 平成 30 年度幹事校について
 - (3) 承合事項
 - ①非専門分野の教育について
 - ②国家試験対策等について
 - ③医学教育担当部門の体制について
 - ④高い専門性が必要な人材ポストについて
 - ⑤地域枠募集定員について
 - ⑥入試について
 - (4) その他
 - 8 閉会
- 意見交換会 17:30～19:00

薬学部会〔部会長校：名古屋市立大学〕

12 月 11 日（月）

場所 静岡県立大学 はばたき棟 3 階 特別会議室

参加 3 大学 10 名、中田晃事務局長

- 1 開会
- 2 学長挨拶
- 3 学部長挨拶
- 4 出席者紹介
- 5 講演 公立大学協会「公立大学の課題と将来構想」

6 議事

- (1) 和歌山県立医科大学の薬学部設置（名古屋市立大学）
- (2) 国立・私立大学との連携のあり方、方針（名古屋市立大学）
- (3) 4 年制学科のあり方、研究者養成（名古屋市立大学）
- (4) 受験生の「学力の 3 要素」の評価法（岐阜薬科大学）
- (5) 本部会幹事校の順番（岐阜薬科大学）
- (6) その他

次回当番大学（岐阜薬科大学）

7 閉会

看護・保健医療部会〔部会長校：大分県立看護科学大学〕

9 月 7 日（木）～9 月 8 日（金）

<1 日目 講演会等：9 月 7 日（木）14:00～17:10>

場所 大分県立看護科学大学 講義棟 2 階 21 講義室

参加 42 大学 57 名、柴田洋三郎副会長、中田晃事務局長

- 1 開会
- 2 挨拶 看護・保健医療部会長 村嶋幸代
- 3 講演会

基調講演・問題提起

公立大学協会副会長・福岡県立大学理事長・学長
柴田洋三郎

テーマ：「公立大学の役割について思うことー看護保健医療分野に焦点を当てて」

講演Ⅰ

公立大学協会事務局長 中田晃

テーマ：「公立大学協会の役割について」

講演Ⅱ

文部科学省高等教育局医学教育課看護教育専門官
斉藤しのぶ

テーマ：「大学における看護学教育の動向と公立大学への期待」

講演Ⅲ

埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科長
原和彦

テーマ：「リハビリテーションの新しい動きについて」
- 4 閉会

○情報交換会 18:30～

<2 日目 分科会：9 月 8 日（金）9:00～10:40>

参加 43 大学 58 名

- 1 共通テーマ：公立大学が地域に貢献している状況を、どのように可視化し、主張していくか
- ・第 1 分科会
 - (1) テーマ：地元定着と県（市町村）内の看護（保健・医療）水準の向上
 - (2) 話題提供者：上泉和子（青森県立保健大学学長）

遠藤恵子（山形県立保健医療大学看護学
科長）

(3) 司会・進行：村嶋幸代

・第2分科会

- (1) テーマ：災害への対応、とりわけ発災直後の初動対応
- (2) 話題提供者：藤田佐和（高知県立大学学長特別補佐・
看護学研究科長）

(3) 司会・進行：影山隆之

・第3分科会

- (1) テーマ：高大接続改革への対応
- (2) 話題提供者：林一美（石川県立看護大学教授）
大平肇子（三重県立看護大学学生部長）

(3) 司会・進行：藤内美保

2 その他

<2日目 部会総会：9月8日（金）11：00～12：00>

参加 43大学 57名

1 開会

2 議事

- (1) 分科会報告
- (2) 平成28年度事業実績及び平成29年度計画
- (3) 次期部会長選出に係る推薦委員の決定について
- (4) その他

3 閉会

人文系部会〔部会長校：山口県立大学、副部会長校：高知県
立大学〕

11月2日（木）14：00～17：00

場所 山口県立大学

参加 18大学 39名、中田晃事務局長

1 開会挨拶

部会長校 山口県立大学 学長 長坂祐二

2 情報提供

公立大学協会 事務局長 中田晃

3 議事

- (1) 平成28年度活動状況報告について
- (2) 平成29年度研究テーマについて
「学部として地域の文化施設等との連携強化を目指す
ための方策と、それを実施するにあたって考慮に入れ
るべき課題・問題点などについて」に関するアンケート
調査結果について
- (3) その他照会事項について
 - ・教職課程再課程認定申請の状況について
 - ・学生募集の広報活動について
 - ・教務関係事項の意思決定プロセスについて
 - ・GPAの活用について
- (4) 平成30年度調査課題について
〈参考〉過去5年の調査課題テーマ

平成24年度：「全学共通教育」

平成25年度：「グローバル人材養成」

平成26年度：「大学のガバナンス改革」

平成27年度：「公立大学の人文系学部の現状を踏ま
えた将来改革に関する具体的な取り組み」

平成28年度：「人文系学部の地域貢献活動について」
「3つのポリシーの改訂について」

4 その他

5 閉会

商・経・経営部会〔部会長校：兵庫県立大学〕

9月15日（金）13：00～16：30

場所 兵庫県立大学 神戸商科キャンパス本部棟2階 大会
議室

参加 13大学 15名、中田晃事務局長

1 開会

2 挨拶 理事兼副学長 高坂誠

3 講演 一般社団法人公立大学協会 事務局長 中田晃

4 座長選出

5 出席者自己紹介

6 協議

・照会事項

・その他

7 次期当番校及び当番校の順番の確認について

8 閉会

○ 情報交換会 17：00～18：00

社会福祉学系部会〔部会長校：神奈川県立保健福祉大学〕

9月30日（土）13：00～17：00

場所 神奈川県立保健福祉大学 教育研究棟 A406・A409

参加 15大学 36名

プログラム1 公立大学協会社会福祉学系部会・ヒューマン
サービス研究会 共催シンポジウム

演会（第8回ニューマンサービス研究会と共催）

大会テーマ：「セルフヘルプの現在」

司会：神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部社会福祉学科
教授 臼井正樹

1 趣旨説明

臼井正樹（神奈川県立保健福祉大学）

2 セルフヘルプグループによるリレートーク
各グループの報告

3 講演

「セルフヘルプグループを考える」堀越由紀子（東海
大学）

プログラム2 社会福祉学系部会連絡会

- 1 開会 挨拶
- 2 出席者自己紹介
- 3 議事
 - (1) 協議事項
 - 協議Ⅰ 社会福祉系学部・学科の定員確保のための取り組みの状況
 - 協議Ⅱ 地域共生社会の実現に求められるソーシャルワーク機能を果たす社会福祉士養成のあり方
 - 協議Ⅲ 社会福祉士養成に関連した演習科目（例：相談援助演習など）や実習科目（例：社会福祉実習など）における障がい学生の対応について
 - (2) 承合事項
 - 承合 1 入試について（状況と泰作など）
 - 承合 2 高度専門職養成についての取り組み
 - 承合 3 公認心理士のプログラムへ検討
 - 承合 4 教育職員免許法改正に伴う再課程認定についての取り組み状況
 - 承合 5 社会福祉士国家試験受験料改訂について
 - 承合 6 社会福祉士試験の支援体制／中期計画における国家試験（社会福祉士・精神保健福祉士）の合格率の目標値
 - 承合 7 実習時期・期間の設定方法および実習施設の開拓方法について
 - 承合 8 「実習施設との十分な連携」の実情について
 - 承合 9 実習指導者（＝社会福祉士）の「資質向上」と大学の役割について
 - 承合 10 指定されている社会福祉実習以外のフィールド教育プログラム（実習）について
 - 承合 11 実習費について
 - 承合 12 学生が実習を行うための履修条件について
 - 承合 13 社会福祉を志向しない、関心の低い学生へのアプローチについて
 - 承合 14 職能団体との関係について
 - 承合 15 就職支援について
 - 承合 16 英語教育について
 - 承合 17 一時的移動困難学生への支援の実態
 - 承合 18 教員間の教育負担のアンバランスについて
 - 承合 19 研究活動における倫理審査について
 - (3) その他
- 4 次年度幹事校ご挨拶
- 5 閉会

理学部会〔部会長校：兵庫県立大学〕

10月27日（金）13：30～16：30

場所 姫路・西はりま地場産業センター（602 会議室）

参加 6 大学 18 名、中田晃事務局長

- 1 開会
- 2 当番大学挨拶

- 3 議長選出
- 4 出席者自己紹介・大学院状況報告
- 5 報告事項
 - (1) 平成 28 年度公立大学協会理学部会議事概要
 - (2) 平成 29 年度国立大学法人 23 大学理学部長会議
 - (3) 平成 29 年度第 35 回国立大学法人理学部長会議
- 6 協議事項
 - (1) 名古屋市立大学の公立大学協会理学部会加入について
 - (2) URA などの研究支援体制の現状
 - (3) 研究倫理に關しての取り組み
 - (4) 研究機器の共用化への取り組み
 - (5) 全国大学共同利用機関法人との連携
 - (6) 学士課程の成績の送付について
 - (7) 理学部・理学研究科としての、国際化の取り組みについて
 - (8) 博士後期課程学生への経済的支援
 - (9) 外部資金による研究員、研究補助員の雇用について
 - (10) SNS に関する情報モラル教育等の実施状況について※①
 - (11) 大学入学者選抜改革の検討状況について※②
- ※① 国立大理学部長会議議題
- ※② 国立大理学部長会議 24 大学議題
- 7 講演「公立大学の課題と将来構想」
公立大学協会 中田事務局長
- 8 平成 30 年度幹事校（部会長および副部会長）について
- 9 次回（平成 29 年度）の開催日程について【案：平成 30 年 10 月 26 日（金）】
- 10 その他

工学部会〔部会長校：前橋工科大学〕

10月19日（木）14：30～

場所 前橋テルサ 9 階 つつじの間

参加 15 大学 37 名、中田晃事務局長

- 1 開会
- 2 開催校挨拶
- 3 参加校自己紹介
- 4 議事
 - (1) 公立大学協会「公立大学の課題と将来構想」
 - (2) 審議事項
 - ア 平成 29 年度公立大学協会工学部会の活動（案）について
 - イ 平成 28 年度公立大学協会工学部会収支決算（案）について
 - (3) 協議事項
 - ア 教員の業績評価方法とその結果の昇任等への反映について
 - イ 第 3 年次編入学試験の状況について
 - ウ 共同利用機器の運営について
 - エ 入試改革に対する対応について
- 5 その他

- (1) 次回開催校について
- (2) その他伝達事項

6 閉会

農学部会〔部会長校：福井県立大学〕

11月10日（金）10：00～

場所 福井県立大学 永平寺キャンパス 多目的ホール

参加 8大学 22名

- 1 開会
- 2 あいさつ 福井県立大学 進士 学長
- 3 議長選出
- 4 出席者自己紹介
- 5 公立大学協会事務局長講演「公立大学の課題と将来構想」
- 6 議事

【協議事項】

- (1) 公立大学における地域貢献の具体策な研究・教育成果の実例について
- (2) 教養教育と専門教育の連動性等について

【その他】

次期部会長校(当番校)および副部会長校の選出について

7 閉会

～学内見学後に福井県立恐竜博物館視察～

芸術部会〔部会長校：金沢美術工芸大学〕※台風により中止

10月23日（月）14：00～16：00

場所 ANA ホリデイ・イン金沢スカイ 10階 「白山」

参加 11大学 11名、中田晃事務局長

- 1 挨拶 金沢美術工芸大学 学長 前田昌彦（幹事校）
- 2 議長選出
- 3 議題
 - (1) 大学法人の基金
 - (2) 芸術・文化領域における地域貢献の取組の方向性について
 - (3) 1 高大接続における各大学の取り組みと入試改革に向けての課題について
 - (3) 2 2018年問題における芸術系大学の学部学科教育の在り方について
 - (4) 「高大接続改革」芸術系大学での取組み状況について
 - (5) 今日のデザイン教育における、マネジメントに関する教育の必要性について
- 4 来年度開催大学について
- 5 公立大学の課題と将来構想（公立大学協会 中田晃事務局長）
- 6 その他

情報部会

〔部会長校：秋田県立大学、開催校：首都大学東京〕

10月6日（金）14：00～17：30

場所 東京国際フォーラム ホール D5

参加 25大学 51名、中田晃事務局長

- 1 開会
- 2 開催校挨拶 首都大学東京 学長 上野淳
- 3 大学紹介
- 4 情報提供 公立大学協会 事務局長 中田晃
- 5 議長選出
- 6 議事

(1) 各校からの議題について

<情報ネットワーク>

- ・学内ネットワークのセキュリティ設計について
- ・全学的なクラウド系サービスの導入状況について
- ・サーバ類の仮想化及びクラウドサービス（IaaS等）の活用について
- ・無線LANの整備状況について
- ・無線LANの学外者利用について
- ・非常勤講師等のインターネット環境の利用について

<PC環境>

- ・教育用コンピュータ室の整備状況について
- ・学生への貸し出しPCの状況、新入生等の学生への個人PCの購入指示・斡旋の状況
- ・全学生の個人購入ノートパソコン必携化の導入状況について
- ・持参パソコンへのOSアップデート適用について
- ・有償ソフトの利用管理について

<情報システム>

- ・事務管理システムの導入状況について
- ・大学で使用する業務システムについて
- ・グループウェア等の導入について
- ・卒業生のメールアカウント継続利用について
- ・電子ジャーナルの閲覧について
- ・Web出願の導入について
- ・学生向けの情報発信方法について
- ・各種システムのユーザIDとパスワードに関する問合せについて

<情報セキュリティ>

- ・セキュリティコストについて
- ・URLフィルタリングについて
- ・ウイルス対策ソフトについて
- ・情報セキュリティポリシーに対する定期的な監査について
- ・CSIRTの設置・運用状況について
- ・学生への情報セキュリティ教育について
- ・情報セキュリティーについて
- ・サーバ室の学内設置状況、入退室管理の方法について

<その他>

- ・情報システム担当職員の体制・引き継ぎ・研修について

- ・情報システム・ネットワークの運用等に係る組織・人員体制について
- ・ICT 環境改善取組に関する優先順位の付け方について
- ・ウェブアクセシビリティ対応について

(2) その他

7 閉会

生活科学・環境学系部会

〔部会長校：兵庫県立大学、副部会長校：高知県立大学〕

9月8日（金）13：30～17：00

場所 高知県立大学 永国寺キャンパス教育研究棟3階 役員会議室

参加 15 大学 29 名、中田晃事務局長

- 1 開会
 - 2 挨拶
 - 3 議長選出
 - 4 公立大学協会生活科学・環境学系部会要領の改正について
 - 5 講演 公立大学協会事務局長 中田晃
「公立大学の課題と将来構想」
 - 6 議題審議
 - 7 その他（連絡事項等）
 - 8 閉会
- 情報交換会 17：30～

外国語学・国際関係系部会〔部会長校：長崎県立大学〕

9月21日（木）14:00～16:45

場所 長崎県立大学 シーボルト校本部棟2階 特別会議室

参加 7 大学 20 名、中田晃事務局長

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 情報提供
(一般社団法人公立大学協会 事務局長 中田晃)
- 5 議長選出
- 6 議題
 - (1) 各学部での広報活動について（群馬県立女子大学）
- 7 承合事項
 - (1) 交換留学先や提携留学先の開拓方法について（群馬県立女子大学）
 - (2) 本学から海外留学する学生への対応について（群馬県立女子大学）
 - (3) 学生の英語運用能力の到達度に関する数値目標の有無および目標達成のための工夫（山梨県立大学）
 - (4) 任期付き教員の任用状況等について（静岡県立大学）
 - (5) 留学生用の宿舎について（愛知県立大学）
 - (6) 2020 年の新入試制度移行への対応について（神戸市外

国語大学)

- (7) 語学科目における CLIL 及び COIL の利用について（山口県立大学）
- (8) 「英語で開講する科目」における留学生と日本人学生の語学力の差やディスカッションの違いの対応について（山口県立大学）
- (9) 新入試制度における公的資格を用いた英語能力判定導入後の入試の在り方について（北九州市立大学）
- (10) 海外インターンシップの単位化について（北九州市立大学）
- (11) 高校での英語のアクティブ・ラーニング本格導入後の外国語学部における英語教育の在り方について（北九州市立大学）
- (12) 外部の外国語試験利用にかかる外国語運用能力の向上について（長崎県立大学）
- (13) 英語による専門科目開講の取り組みについて（長崎県立大学）

8 その他

9 次回部会長校あいさつ

10 閉会

○ 意見交換会 18：00～19：30

〔6〕運営会議

第1回運営会議

6月14日（水）10：00～12：30

場所 名古屋マリオットアソシアホテル 17階 楓

- 1 役員報酬について
- 2 公立大学改革支援・評価研究センターの活動について
- 3 常置委員会について
- 4 国公立大学振興議員連盟について
- 5 規程の整備等に関する検討会議の設置について
- 6 諸会議の開催について
 - ・第3回理事会（6/27（火））
 - ・平成29年度地区協議会
 - ・平成29年度第1回学長会議（10/9～10）
 - ・平成29年度副学長等協議会
- 7 その他
 - ・高大接続システム改革に関する意見書について
 - ・地域政策系部会の設立について
 - ・事務局職員の採用について

第2回運営会議

10月9日（月・祝）11：00～12：30

場所 大阪市立大学杉本キャンパス学術情報総合センター 10階 会議室 10B

- 1 平成29年度第1回学長会議について

- 2 公立大学の将来構想の議論の進め方について
- 3 新たな認証評価の構想について

第3回運営会議

12月26日（火）15：00～17：00

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 新たな認証評価機関の設立について
- 2 公立大学の将来構想に関する議論について
- 3 公立大学協会事務局の組織強化について
- 4 その他

第4回運営会議

平成30年1月19日（金）10：00～12：00

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 新たな認証評価機関の組織整備について
- 2 公立大学の将来構想に関する議論について
- 3 公立大学協会事務局の組織強化について
（規程の整備等に関する検討会議への付託事項）
- 4 平成30年度の協会事業について
- 5 その他
 - ・高等教育の無償化に関する要望について
 - ・第6回理事会、第2回学長会議について

〔7〕規程の整備等に関する検討会議

第1回規程の整備等に関する検討会議（持ち回り会議）

4月6日（木）～4月13日（木）

- 1 規程の整備等に関する検討会議の設置について
- 2 定款の改正について
- 3 報酬等に関する申し合わせの廃止及び謝金等に関する細則の設置
- 4 普通会費の免除に関する規程等の整備について
- 5 規程等の整備に関する今後の予定について

第2回規程の整備等に関する検討会議

平成30年1月19日（金）13：00～15：00

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 規程の整備等に関する検討会議の設置について
 - 2 公立大学協会事務局の組織強化について
 - 3 事務局職員の処遇について
 - 4 規程等の整備に関する今後の検討について
-

第3回規程の整備等に関する検討会議

平成30年2月21日（木）11：30～13：00

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 平成29年度第2回規程の整備等に関する検討会議（1/19開催）議事概要について
- 2 規則の改正について
 - ・一般社団法人公立大学協会常勤職員就業規則（改正案）
 - ・一般社団法人公立大学協会常勤職員給与規則（改正案）
 - ・一般社団法人公立大学協会非常勤職員就業規則（改正案）
- 3 規程等の整備に関する今後の予定について

2 運営会議の対応事項

一般社団法人 公立大学協会

〔1〕公立大学協会に対する要望書の受理

7月20日（木）

要望書收受

「専門高校生徒の進学機会の拡大等に関する要望書」

「産業教育の振興に関する要望書（専門高校の充実に関する
要望書）」

提出団体 公益財団法人産業教育振興中央会

全国産業教育振興会連絡協議会

全国農業高等学校長協会

公益社団法人全国工業高等学校長協会

全国商業高等学校長協会

全国水産高等学校長協会

全国高等学校長協会家庭部会

全国看護高等学校長協会

全国専門学科「情報科」高等学校長会

全国福祉高等学校長会

全国総合学科高等学校長協会

平成30年2月8日（木）

「高等教育無償化に関する要望」を提出

一般社団法人 公立大学協会

会長 郡 健二郎（名古屋市立大学長）

10月2日（月）

要望書收受

「家庭に関する学科等卒業者の進学機会の拡大等についての
要望書」

提出団体 全国高等学校長協会家庭部会

同 進路調査研究委員会

〔2〕意見要望

6月14日（水）

「高大接続改革の進捗状況に関する意見」を提出

一般社団法人 公立大学協会

7月28日（金）

中央教育審議会大学分科会第3回将来構想部会

「公立大学の諸課題とその将来構想に向けての議論」に関する
意見を発表

一般社団法人 公立大学協会

専務理事 奥野武俊

10月17日（火）

「第3期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経
過について」に関する意見を提出

3 第1委員会

〔1〕開催経過

第1回第1委員会

6月27日（火）15：45～17：00

場所 メルパルク東京4階 白鳥

- 1 第1委員会の検討課題及び委員の担当事項について
- 2 公立大学の将来構想に関する検討の進め方について（意見交換）
- 3 検討課題に関する会員校への照会及び資料作成について
- 4 地区協議会の開催について（公立大学の将来構想に関する懇談）
- 5 公立大学の学生交流に関するワーキンググループの設置について

第2回第1委員会

8月18日（金）13：30～16：00

場所 日本消防会館（ニッショーホール）5階 大会議室

- 1 大学共同利用機関法人の役割について
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
小森彰夫 機構長
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
藤井良一 機構長
津田敏隆 理事
大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構
山内正則 機構長
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
山本昌博 事務局長
- 2 地方大学の振興に関する政策について
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
根橋広樹 参事官補佐
- 3 公立大学の将来構想に向けての議論について
- 4 その他
○ 地区協議会について
○ 新たな認証評価に関する検討状況について
○ その他

第3回第1委員会

11月24日（金）10：00～12：00

場所 日本消防会館（ニッショーホール）5階 大会議室

- 1 これまでの議論の経緯（報告）
- 2 有識者からのヒアリング
船木成記 長野県参与（尼崎市顧問、株式会社 博報堂ディレクター）
- 3 今後の議論の進め方について

第4回第1委員会

12月8日（金）10：00～12：00

場所 日本消防会館（ニッショーホール）5階 大会議室

- 1 国の政策動向について
文部科学省 三浦和幸 大学振興課長
- 2 委員からのヒアリング
稲垣隆司 副委員長（岐阜薬科大学長、元愛知県副知事）
- 3 今後の議論の進め方について

第5回第1委員会

平成30年1月12日（金）10：00～12：00

場所 日本消防会館（ニッショーホール）1階 第一会議室

- 1 これまでの議論等の経緯（報告）
○ 第4回第1委員会（12/8）議事の概要について
○ 高等教育に関する国の政策動向について
- 2 有識者からのヒアリング
講師：辻琢也 一橋大学理事・副学長（企画・評価、人事、情報化担当）
- 3 今後の議論の進め方について

〔2〕協議会等

副学長等協議会「研究促進分科会」

7月3日（月）13：30～16：30

場所 東京グランドホテル3階 桜

参加 47大学65名

- 1 挨拶・趣旨説明
公立大学協会 奥野武俊 専務理事
- 2 文部科学省講演
・科学研究費助成事業の動向について
文部科学省学術研究助成課
石田雄三 企画室長
・文部科学省における産学連携の取組について
文部科学省産業連携・地域支援課
村瀬剛太 大学技術移転推進室長
- 3 事例報告
・岩手県立大学における研究促進のための取組
岩手県立大学 齋藤俊明 副学長
・名古屋市立大学 URA 組織の導入について
名古屋市立大学 今泉祐治 副学長
- 4 グループ協議
A：地域の企業・自治体との連携の取組み・課題について
B：科研費をはじめとした外部資金獲得の取組み・課題について
C：（特許などの）知的財産に関する取組み・課題について

D：学内の研究を促進する支援組織（URAなどの専門職含む）の整備について

5 まとめ（協議内容の総括）

副学長等協議会「地域連携分科会」

9月4日（月）13：30～16：30

場所 I-site なんば

参加 46大学 52名

1 開会挨拶

公立大学協会 奥野武俊 専務理事（前大阪府立大学長）

2 講演「公立大学の地域連携実践について」

福知山公立大学 富野暉一郎 副学長

3 パネルディスカッション「公立大学がめざす地域連携とは」

登壇者：

福知山公立大学

富野暉一郎 副学長

公立大学法人公立はこだて未来大学

松原仁 副理事長

高知県立大学

清原泰治 学長特別補佐・地域教育研究センター長

進行：公立大学協会 奥野武俊 専務理事

〔3〕作業部会

公立大学の学生交流に関するワーキンググループ打ち合わせ
会議（第1回）

7月14日（金）13：30～15：30

場所 大阪市立大学学生サポートセンター2階 会議室1

1 平成29年度第1回公立大学学長会議について（公立大学協会事務局）

2 LINKtopos2017 企画案について（公立大学学生ネットワーク）

3 その他

第1回公立大学の学生交流に関するワーキンググループ

8月28日（月）13：30～15：30

場所 公立大学協会事務局 会議室

1 LINKtopos2017（平成29年度全国公立大学学生大会）について

2 公立大学の学生交流に関するワーキンググループの活動について

3 その他

第2回公立大学の学生交流に関するワーキンググループ

10月8日（日）16：00～17：30

場所 大阪市立大学杉本キャンパス 学術総合情報センター
10F 会議室 B

1 LINKtopos2017（平成29年度全国公立大学学生大会）について

2 公立大学の「国内留学」について

3 その他

公立大学の学生交流に関するワーキンググループ打ち合わせ
会議（第2回）

2月28日（水）15：30～17：30

場所 公立大学協会事務局 会議室

1 LINKtopos2017 について

2 LINKtopos2018 について

3 その他

〔4〕第1委員会所掌関連事業（冊子発行等）

「時代をLEADする公立大学 公立大学の将来構想に向けて
の議論の方向性と可能性」発行（平成29年5月）

目次

はじめに

第1章 公立大学の概要と課題

1 公立大学の概要

(1) 公立大学の設置政策

(2) 公立大学の教育

2 公立大学の課題に関する検討の枠組み

(1) 公立大学の共通課題の検討の枠組み

(2) 分野別課題の検討の枠組み

第2章 公立大学の共通課題の整理・分析

1 共通課題の整理

(1) 政策課題

(2) 教学課題

(3) 経営（質保証）課題

2 課題の分析

(1) 国の高等教育政策の課題

(2) 設置自治体の公立大学政策の課題

(3) 公立大学のマネジメントの課題

第3章 公立大学の分野別課題の整理・分析

1 分野別課題の整理

(1) 看護系学部（青森県立保健大学、大分県立看護科学大学）

(2) 情報系学部（公立はこだて未来大学）

(3) 芸術系学部（金沢美術工芸大学）

(4) 地域政策系学部（高崎経済大学）

2 課題の分析

- (1) 地域貢献の機能と必要となる連携
- (2) 地域貢献における教員・学生の課題

第4章 今後の議論の方向性と可能性

- 1 「地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議」から得られる方向性
 - (1) 地方自治体への伴走
 - (2) 公立大学生の交流の推進
- 2 「私立大学等の振興に関する検討会議」から得られる方向性
 - (1) 公立大学設置政策への支援
 - (2) 公立大学マネジメントへの支援
- 3 今後の議論の可能性（高等教育の将来構想を念頭に）
 - (1) 公立大学設置政策に関する何らかの体系の構築
 - (2) 公立大学の支援機能の構築

おわりに

公立大学に関するデータ集

公立大学の在り方に関する検討会議 委員名簿／開催実績

「公立大学の地域貢献機能 地域貢献プログラムの”LEAD”による事例分析」発行（平成30年1月）

はじめに

- 1 公立大学の学生交流を通じた地域貢献
 - (1) 学生ネットワークと全国公立大学学生大会（LINKtopos）
 - (2) 学長会議との連携
- 2 公立大学の地域貢献プログラム事例
 - (1) L・E・A・Dによる機能分析
 - (2) 分析事例集

4 第2委員会

〔1〕開催経過

第1回第2委員会

6月27日（火）15：45～17：00

場所 メルパルク東京2階 樺

- 1 公立大学の入学者選抜についての平成31年度実施要領・実施細目について
- 2 第2委員会の担当課題及び委員の担当事項について
- 3 入学者選抜改革に関する今後の検討の進め方について
- 4 教育改革に関する今後の検討の進め方について

第2回第2委員会（メール会議）

11月14日（火）～21日（火）

- 1 高大接続改革「英語の4技能評価」に関する検討について

〔2〕協議会等

入学者選抜に関する研究会

6月1日（木）10：00～11：40

場所 日本消防会館（ニッショーホール）5階 大会議室

参加 61大学102名

次第：

開会挨拶

- 1 説明「大学入学者選抜改革の主な取組等について」
説明者：文部科学省 大学振興課 山田泰造 大学入試室長
- 2 講演「入学者選抜の改革に対する考え方について」
講師：柴田 洋三郎 公立大学協会 副会長・第2委員会委員長（福岡県立大学学長）
文部科学省 大学入学者選抜方法の改善に関する協議 委員
元（独）大学入試センター 試験・研究統括官（副所長）

- 3 質疑・意見交換

閉会

副学長等協議会「国際化分科会」

6月7日（水）13：30～16：30

場所 東京グランドホテル3階 桜

参加 33大学41名

- 1 挨拶・趣旨説明
- 2 行政説明「大学の国際化推進の現状とこれからについて」
講師：文部科学省高等教育企画課 岩淵秀樹 国際企画室長
- 3 事例発表

①発表者：新潟県立大学 福嶋秩子 副学長

②発表者：大阪府立大学 柳嘉夫 国際・社会連携推進本部副本部長・理事長室長

4 グループ協議

【グループ協議のテーマ】

- A.留学生の派遣・受入れの組織体制
- B.留学生の増加に向けた取組み
- C.危機管理（リスクマネジメント）
- D.国際化に対応するためのカリキュラム

副学長等協議会「教育改革分科会」

7月18日（火）14：00～16：30

場所 東京グランドホテル3階「桜」

参加 57大学69名

- 1 開会挨拶
柴田洋三郎 第2委員会委員長（福岡県立大学学長）
- 2 趣旨説明 「高等教育改革の方向性と公立大学の取組み」
講師：清水一彦 山梨県立大学学長
- 3 講演 「大学教育におけるゼミ活動の意義」
講師：矢野修一 高崎経済大学教授
- 4 事例発表
 - 県立広島大学 アクティブ・ラーナー育成の課題
発表者：馬本勉 県立広島大学学長補佐
 - 滋賀県立大学 初年次導入教育としてのディベート
発表者：倉茂好匡 滋賀県立大学副学長
- 5 全体協議 「公立大学の教育が向かう方向性」
登壇者：矢野修一 高崎経済大学経済学部教授
馬本勉 県立広島大学学長補佐
倉茂好匡 滋賀県立大学副学長
進行：清水一彦 山梨県立大学学長

副学長等協議会「入学者選抜分科会」

11月13日（月）13：30～16：30

場所 東京グランドホテル3階 桜

参加 64大学86名

- 1 開会挨拶 柴田洋三郎 第2委員会委員長（福岡県立大学学長）
- 2 講演
「大学入学者選抜改革の動向について」
講師：文部科学省高等教育局大学振興課 山田泰造 大学入試室長
- 3 説明
「平成29年度11月に実施する大学入学共通テスト導入に向けた試行調査（プレテスト）の趣旨について」
講師：独立行政法人大学入試センター 大杉住子 審議役

4 講演

「入学者選抜改革を進めるために～大学における対応～」

講師：首都大学東京 川上浩良 学長補佐

5 全体協議

進行：柴田洋三郎 委員長

コメンテーター：首都大学東京 川上浩良 学長補佐

5 第3委員会

[1] 開催経過

第1回第3委員会

6月27日(火) 15:45~17:00

場所 メルパルク東京2階 桐

- 1 第3委員会の担当課題及び委員の担当事項の案について
- 2 副学長等協議会(全体会)について

第2回第3委員会

12月6日(水) 13:00~15:00

場所 東京グランドホテル3階 菊の間

- 1 第3委員会の取組課題について
- 2 認証評価を実施する組織の整備について
- 3 その他

第3回第3委員会

平成30年1月17日(水) 10:00~12:00

場所 スマート会議室

- 1 第2回第3委員会(12/6)議事概要について
- 2 認証評価を実施する組織の整備について
- 3 公立大学教職員等に対する研修事業について
- 4 公立大学共通テキストの作成について
- 5 その他
 - 大学運営教職員研修(平成28~29年度)の実績について
 - 平成29年度副学長等協議会 課題別分科会・事務局長等連絡協議会振り返りについて
 - 平成30年度の主要事業(案)について

[2] 協議会等

副学長等協議会「財務分科会」

11月20日(月) 13:30~16:30

場所 東京グランドホテル3階 桜

参加 45大学1法人54名

- 1 開会挨拶
公立大学協会 第3委員会 鬼頭宏 委員長(静岡県立大学長)
- 2 講演
「公立大学法人の財務に関する分析」
講師: 有限責任監査法人トーマツ
シニアマネージャー 栗井浩史 氏(公認会計士)
- 3 講演

「公立大学に関する地方交付税の課題」

講師: 公立大学協会 中田晃 事務局長

4 全体協議

進行: 鬼頭宏 委員長

協議事項:

1. 財務分析について
(提案大学: 会津大学、奈良県立医科大学)
2. 施設・設備について(提案大学: 前橋工科大学)
3. 共同調達について(提案大学: 県立広島大学)
4. 自主財源の獲得及び経費削減について
(提案大学: 京都府立医科大学、福知山公立大学)

[3] 公立大学実態調査関係

公立大学協会担当者研修会及び公立大学実態調査表作成説明会

6月12日(月) 13:30~16:30

場所 日本消防会館(ニッショーホール)5階 大会議室

参加 56大学61名

<公立大学協会担当者研修会(13:30~15:00)>

- 1 開会挨拶
一般社団法人公立大学協会 中田晃 事務局長
- 2 公立大学を取り巻く高等教育施策について
文部科学省大学振興課 南千和子 公立大学係長
- 3 公立大学協会の現状と公立大学協会の事業について
一般社団法人公立大学協会 中田晃 事務局長

<公立大学実態調査表作成説明会(15:15~16:30)>

- 1 開会挨拶
一般社団法人公立大学協会 中田晃 事務局長
- 2 公立大学実態調査と公立大学に関する情報の公表・活用
一般社団法人公立大学協会 事務局
- 3 公立大学実態調査表の作成について
一般社団法人公立大学協会 事務局

「公立大学実態調査表」発送

12月15日(金)

目次

・大学編

組織(学生・教員・職員数等調)、大学経費調、図書数調、科学研究費助成事業等調、入学志願者・入学者数等調、卒業生の就職状況調、施設関係調、施設(寄宿舎等)調、その他

・大学附属病院編

概要、病床数及び患者数調、病院収入調、物件費調、臨時費調、校地・建物の現況調、附属病院教職員数調、臨床研修医等調

・教育質保証編

専任教員数調、校地・校舎等調、退学者数調(学士課程のみ)

- ・公立大学法人編
- 法人事務局等所属の役員・職員数、財務諸表

- 1 公立大学共通テキスト編集チームの設置について
- 2 公立大学共通テキストの内容について

「公立大学便覧」発行（平成 30 年 3 月）

目次

- 1 公立大学の概要
- 2 公立大学一覧
- 3 公立大学設置学部一覧
- 4 公立大学大学院研究科一覧
- 5 (1) 年表・公立大学の設置動向
(2) 公立大学設置の推移
(3) 公立大学法人一覧
(4) 公立大学一覧（都道府県別）
(5) 公立大学一覧（設置種別）
- 6 教員 1 人当りの学生数
- 7 公立大学の経費規模
(1) 大学経費の総額
(2) 大学経費と設置団体財政規模との比較
(3) 大学予算額と設置団体教育費総額との比較
- 8 公立大学の経常費
(1) 経常費の総額
(2) 経常費に占める人件費の割合（大学関係）
(3) 経常費に占める人件費の割合（附属病院関係を含む）
(4) 学生 1 人当りの経常費（大学関係）
(5) 学生 1 人当りの経常費（附属病院関係を含む）
(6) 学部・研究科別学生 1 人当りの経常費
(7) 物件費（大学関係）
(8) 学生 1 人当りの学生経費
- 9 大学別臨時費
- 10 公立大学の財源
(1) 大学経常費に占める一般財源都道府県市負担額の割合
(2) 学生 1 人当りの大学収入額
(3) 学生 1 人当り経常費に占める大学収入額の割合

基礎データ

全国の公立大学の所在地

「公立大学便覧」発送

平成 30 年 3 月 27 日（火）

〔4〕公立大学共通テキスト関係

第 1 回公立大学共通テキスト編集チーム会議

5 月 26 日（金）15：00～17：00

場所 公立大学協会事務局 会議室

「公立大学職員基礎知識ガイドブック（第 1 版）」発行（平成 30 年 1 月）

目次

はじめに

本書の使い方

第 1 部 公立大学を取り巻く制度を理解する

第 1 章 高等教育制度と根拠法令

- 1 高等教育制度の輪郭
- 2 大学を取り巻く法令
- 3 大学の設置と評価

第 2 章 高等教育政策

- 1 高等教育政策と文部科学省
- 2 中央教育審議会
- 3 諮問と答申
- 4 補助事業

第 3 章 公立大学の概要

- 1 公立大学の状況
- 2 公立大学の経緯
- 3 公立大学の運営
- 4 公立大学の事務組織

第 4 章 公立大学法人制度

- 1 公立大学法人制度
- 2 公立大学法人の評価制度
- 3 公立大学法人会計制度
- 4 国立大学法人との比較

第 2 部 大学の業務を理解する

第 5 章 各部門に共通する業務

- 1 服務制度
- 2 文書事務・法規事務
- 3 契約業務
- 4 雇用・謝金・派遣・委託

第 6 章 管理部門の業務

- 1 人事・給与
- 2 財務・会計制度
- 3 情報システム
- 4 大学（法人）運営

第 7 章 連携・渉外部門の業務

- 1 大学が行う連携事業と対象
- 2 同窓会・後援会
- 3 大学が行う情報発信
- 4 外部からの苦情への対応

第 8 章 入試・就職支援部門の業務

- 1 大学入学者選抜（入試）制度の概要
- 2 高大連携と高大接続
- 3 キャリア（就職・進学）支援

第9章 学生支援部門の業務

- 1 学生
- 2 外国人留学生
- 3 障害学生
- 4 教務
- 5 学生生活支援

第10章 教育・研究支援部門の業務

- 1 教育支援業務
- 2 研究支援業務
- 3 図書館業務

第11章 大学病院部門の業務

- 1 大学病院を制度から知る
- 2 大学病院の役割と機能
- 3 大学病院の運営・経営

第3部 担当業務を改善する

第12章 担当業務を改善する

- 1 課題の可視化
- 2 改善するための環境整備
- 3 改善を継続し、継承する

事項索引

おわりに

公立大学職員基礎知識ガイドブック（第1版）作成メンバー

6 セミナー等

大学改革支援研究会（東京）

5月12日（金）10：30～12：00

場所 東京グランドホテル3階 桜

参加 32大学66名

1 挨拶・趣旨説明

公立大学協会 奥野武俊 専務理事

2 講演「SDの義務化等 大学改革の動向について」

講師：文部科学省大学振興課 林剛史 課長補佐

3 説明「公立大学改革のための公立大学改革支援・評価研究センターの機能と事業」

講師：浅田尚紀 公立大学改革支援・評価研究センター長
中田晃 事務局長

公立大学に関する基礎研修（東京）

5月12日（金）13：00～17：00

場所 東京グランドホテル3階 桜

参加 49団体（大学31／短期大学2／自治体16）
104名（大学81／短期大学2／自治体21）

1 趣旨説明

公立大学協会 奥野武俊 専務理事

2 講演「公立大学長から公立大学職員への期待～大学の特 色ある取組みを踏まえて～」

講師：山梨県立大学 清水一彦 学長

3 講義「公立大学と大学改革の見取り図を描く」

講師：浅田尚紀 公立大学改革支援・評価研究センター長
中田晃 事務局長

大学改革支援研究会（大阪）

5月15日（月）10：30～12：00

場所 I-site なんば2階 C2,C3室

参加 27大学80名

1 趣旨説明

2 講演「SDの義務化等 大学改革の動向について」

講師：文部科学省大学振興課 林剛史 課長補佐

3 説明「公立大学改革のための公立大学改革支援・評価研究センターの機能と事業」

講師：浅田尚紀 公立大学改革支援・評価研究センター長
中田晃 事務局長

公立大学に関する基礎研修（大阪）

5月15日（月）13：00～17：00

場所 I-site なんば2階 C2,C3室

参加 40団体（大学30／設置団体10）

114名（大学99／設置団体15）

1 趣旨説明

2 講義「公立大学と大学改革の見取り図を描く」

講師：浅田尚紀 公立大学改革支援・評価研究センター長
中田晃 事務局長

3 講演「公立大学長から公立大学職員への期待～大学の特 色ある取組みを踏まえて～」

講師：岐阜薬科大学 稲垣隆司 学長

第1回 教務事務セミナー（首都大学東京との共催）

6月2日（金）15：00～17：00

場所 首都大学東京南大沢キャンパス 6号館4階402教室

参加 38団体（大学37／機関1）、48名（大学47／機関1）

1 教務課長講話

2 履修の手引き（履修要項）を正しく理解するための基礎 知識【講義】

- ・単位制度とは何か
- ・CAP制とGPAの目的と効果
- ・修業年限と在学年限の違い
- ・休学と退学の留意事項

3 履修の手引き（履修要項）の書き方を比べてみよう【情 報交換】

- ・成績問い合わせ
- ・休講の扱い
- ・公欠の扱い
- ・試験時不正行為

公立大学職員セミナー

7月10日（月）～7月12日（水）

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加 51大学104名

<1日目 10日（月）10：30～19：00>

1 学びのワーク① オリエンテーション

説明：公立大学協会 中田晃 事務局長

2 政策理解① 文部科学省政策と公立大学

講師：文部科学省高等教育局大学振興課
小野耕志 課長補佐（併）公立大学専門官

3 政策理解② 設置自治体政策と公立大学

講師：岐阜薬科大学 稲垣隆司 学長（元愛知県副知事）

4 政策理解③ 公立大学の組織と運営

講師：公立大学改革支援・評価研究センター
浅田尚紀 センター長

（兵庫県立大学副学長／前広島市立大学学長）

5 学びのワーク② 政策理解の整理

講師・ファシリテータ：
公立大学協会 中田晃 事務局長

6 情報交換会

<2日目 11日(火) 9:00~17:00>

1 大学探究① 大学とはなにか

講師：公立大学協会 奥野武俊 専務理事

2 大学探究② 公立大学とはなにか

講師：公立大学協会 中田晃 事務局長

3 大学探究③ 私の大学の特色はなにか

講師：公立大学協会 奥野武俊 専務理事

公立大学協会 中田晃 事務局長

4 学びのワーク③ 職員の学びの方法論

講師・ファシリテータ：

公立大学協会 奥野武俊 専務理事

公立大学協会 中田晃 事務局長

5 自主活動

<3日目 12日(水) 9:00~12:00>

1 学びのワーク④ 成果発表

講師・ファシリテータ：

公立大学協会 奥野武俊 専務理事

公立大学協会 中田晃 事務局長

2 セミナーの振り返り

—————

公立大学法人会計セミナー

9月11日(月)~9月13日(水)

場所 I-site なんば

<1日目 11日(月) 13:00~17:00>

第1講 公立大学法人会計の考え方

講師：手島貴弘(公認会計士)

第2講 支出取引の会計処理

講師：手島貴弘(公認会計士)

<2日目 12日(火) 9:00~17:00>

第3講 固定資産の基礎

講師：金志煥(公認会計士)

第4講 収入取引の会計処理

講師：金志煥(公認会計士)

第5講 グループ別総合演習

<3日目 13日(水) 9:00~16:30>

第6講 固定資産の実践

講師：金志煥(公認会計士)

第7講 諸税金の処理

講師：手島貴弘(公認会計士)

第8講 医事会計について(希望者のみ)

講師：手島貴弘(公認会計士)

—————

公立大学中堅職員研修会

9月19日(火)~9月20日(水)

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加 48大学 86名

<1日目 19日(火) 13:00~17:15>

1. 全体会Ⅰ

(1) 挨拶・趣旨説明

公立大学協会 中田晃 事務局長

(2) 基調講演「公立大学の役割と中堅職員に求められる人材」

山梨県立大学 清水一彦 学長

(3) 分科会に向けて「組織と課題を客観視する」

首都大学東京 日野キャンパス管理部

宮林常崇 庶務係長

2. 業務分野別分科会

A) 入試・広報等分科会(2018年問題を間近に控えて)

B) 教務・学生支援等分科会(多様な学生を支援する)

C) 評価・質保証等分科会(評価の意義を再考する)

D) 財務・会計等分科会(説明責任を果たす)

E) 組織運営に関する分科会(公立大学に求められる協働)

○ 情報交換会 17:30~

<2日目 20日(水) 10:00~15:30>

3. 全体会Ⅱ

(1) 講演「職員に求められる役割を再考する」

首都大学東京日野キャンパス管理部

宮林常崇 庶務係長

(2) グループワーク

(3) 今後に向けて 公立大学協会 中田晃 事務局長

4. スキルアップ研修(任意参加)

セッション① 「未来への投資について(引継ぎを考える)」

セッション② 「フォロワーシップの観点から考えるチームの力を発揮できる組織づくり」

セッション③ 「大学職員の専門性とは?~教職協働を切り口に~」

セッション④ 「公立大学職員としての地域連携の「め」(目/芽)を育む」

セッション⑤ 「大学間の相互理解を深めるために(プレゼンテーションを通して)」

—————

第2回 教務事務セミナー(首都大学東京との共催)

11月22日(水) 14:00~17:00

場所 ホテルメルパルク東京 3階 百合

参加 23団体(大学22/機関1)、36名(大学35/機関1)

1 講演:「教育職員免許法・同施行規則の改正及び再課程認定について」

文部科学省初等中等教育局教職員課教員免許企画室

長谷浩之 室長

2 質疑応答

- 3 講演：「障がい学生支援に必要な基礎知識」
首都大学東京 横山正見 特任研究員
 - 4 質疑応答
 - 5 報告：「新入生スターターズガイドの取組みについて」
大阪府立大学 教育推進本部 教育推進課 教務グループ
森本雅裕
 - 6 質疑応答
 - 7 グループワーク：「教務事務から学生支援を考える（情報
交換）」
(進行) 首都大学東京管理部教務課 高橋寛
-

第1回公立大学職員勉強会

3月14日(水) 18:00～19:15

場所：スマート会議室（公立大学協会 事務局入居ビル 1F）

出席者数：6大学1法人17名

テーマ：研修成果とその活用について

発表者（発表順）：

公立大学協会 事務局（名桜大学） 新城匡之

文部科学省 高等教育企画課高等教育政策室

（首都大学東京） 小野瀬浩輝

文部科学省 大学振興課公立大学係

（高知工科大学） 武市将平

文部科学省 医学教育課医療技術係・薬学教育係

（和歌山県立医科大学） 上野俊作

（敬称略）

7 情報提供・広報

[1] 情報提供

「公立大学 2017」

発送 平成 29 年 5 月 24 日（水）

基本情報（所在地、交通、TEL、FAX、設置者、開学年、学生定員、教員数、職員数）、学部名、学長名・専門分野、HISTORY&MISSION、PROFILE、TOPICS を大学ごとに掲載

医学部

薬学部

経済学部

人文社会学部

芸術工学部

看護学部

システム国際科学研究科

所在地

交通

TEL

設置者

開学年

学生定員

教員数

職員数

〒467-8601 名古屋市港区瑞穂町字川邊1

市営地下鉄桜通線桜1駅下車すぐ

052-853-8005 FAX 052-841-6201

公立大学法人名古屋市立大学(名古屋市)

1950年 (法人設立年2006年)

4,295名 教員数 514名 職員数 163名

名古屋

市立大学

Nagoya City University







学長 堀 健二郎
KOJI Kenjiro
名古屋科学
経済 2014.4 ~ 2018.3

すべての市民が誇りに思う、愛着の持てる大学をめざす

HISTORY & MISSION

名古屋市立大学は、医学、薬学、経済学、人文社会学、芸術工学、看護学、システム自然科学の6学部7研究科からなります。『すべての市民が誇りに思う、愛着の持てる大学をめざす』を使命として、2014年の開学記念日に大学宣言を制定し、それをもとに「15年後に世界をリードする大学をめざす」となると52項目からなる「名市大未来プラン」を策定し、その実現に向けて大学づくりに努めています。一介年の開学65周年記念の式典・事業の成功を願え、70周年、100周年に向けて頑張っています。

PROFILE

●世界に発信する先端的研究の推進

●健康と福祉の向上に資する診療と教育研究

●次世代育成支援、社会福祉の整備発展への貢献

TOPICS

本学では、研究科の枠を超えた学際的な4つの学部やコースを新設しています。1つ目は、経済学研究科と医学部による「医療経済マネジメントコース」で、3年制にまたがるコースはわが国で初めてであり、医療経済や病院経営を担う人材を育成します。2つ目は、人間文化研究科と医学・看護学による「臨床心理コース」で、附属病院に併設した「医療心理センター」と一体になり活動しています。3つ目は、医学と芸術工学による医療機器のデザインを担う「臨床医療デザイン学分野」で、附属病院の「医療デザイン研究センター」を活用して実践的な教育・研究を行うことが特色です。さらに来年度は、「総合生命理工学部（仮称）」の新設を予定しています。

専攻地外には医学系学部が少ないため、公立の総合大学として地産社会に貢献してまいります。

43

8 公立大学改革支援・評価研究センター

(平成 30 年 1 月 25 日より独立団体化)

[1] 諸会議開催経過

第 1 回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

4 月 13 日 (木) 13 : 30 ~ 16 : 30

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 平成 28 年度のセンター事業の報告について
- 2 新たな認証評価のあり方に関する構想について
- 3 「新たな認証評価の機能と実現性についての研究」について
- 4 平成 29 年度のセンター事業について

認証評価に関する協議①

8 月 8 日 (火) 13 : 00 ~ 15 : 30

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 新たな認証評価の内容について

※ スタッフ会議以外の検討のうち、認証評価の基準や実施方法について集中的な議論を行ったものを、「認証評価に関する協議」として示す。以下同様。

第 2 回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

8 月 22 日 (火) 13 : 30 ~ 16 : 30

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 新たな認証評価の構想について
- 2 その他

第 3 回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

10 月 17 日 (火) 15 : 00 ~ 18 : 00

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 新たな認証評価の構想に関する意見募集の内容について
- 2 法令適合点検シートについて

認証評価に関する協議② (メール会議)

10 月 27 日 (金)

- 1 新たな認証評価の内容について

認証評価に関する協議③

11 月 21 日 (火) 9 : 30 ~ 12 : 00

場所 公立大学協会事務局 会議室

1 新たな認証評価の内容について

認証評価に関する協議④ (メール会議)

12 月 8 日 (金)

- 1 意見募集の結果について

認証評価に関する協議⑤

12 月 28 日 (木) 14 : 30 ~ 16 : 30

場所 兵庫県立大学神戸商科キャンパス 理教室

- 1 新たな認証評価の内容について

認証評価に関する協議⑥

平成 30 年 1 月 22 日 (月) 13 : 00 ~ 14 : 30

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 新たな認証評価の内容について

第 4 回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

1 月 23 日 (火) 13 : 30 ~ 16 : 30

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 認証評価を実施する組織の整備について
- 2 大学基準協会における第 3 期の認証評価について
- 3 新たな認証評価の内容について
- 4 大学評価ワークショップ (名寄市立大学) について
 - ワークショップの方針について
 - ワークショップのプログラムについて
 - データ分析について

第 5 回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

1 月 26 日 (火) 13 : 30 ~ 16 : 30

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 第 4 回スタッフ会議の議事概要について
- 2 大学改革支援・学位授与機構における第 3 期の認証評価について
- 3 新たな認証評価の内容について
- 4 大学評価ワークショップ (名寄市立大学) について

第 6 回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議

2 月 6 日 (火) 14 : 00 ~ 17 : 00

場所 公立大学協会事務局 会議室

- 1 第5回スタッフ会議の議事概要について
 - 2 認証評価の公立大学法人評価との連携について
 - 3 新たな認証評価の内容について
 - 4 大学評価ワークショップ（名寄市立大学）について
 - 5 その他
- 今後のスケジュールについて

第7回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議
2月16日（金）13：30～16：30

場所 スマート会議室

- 1 第6回スタッフ会議の議事概要について
 - 2 日本高等教育評価機構の認証評価について
 - 3 新たな認証評価の内容について
- 点検評価資料作成モデルについて
- 評価結果の内容について
- 認証評価の実施体制について
- 4 その他
- 大学評価ワークショップ（名寄市立大学）について
- 今後のスケジュールについて

第8回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議
2月21日（水）13：30～16：30

場所 スマート会議室

- 1 第7回スタッフ会議の議事概要（案）について
 - 2 新たな認証評価の内容について
- 直近の4回のスタッフ会議の論点整理（案）
- 3 その他
- 文部科学教育通信 連載（案）

第9回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議
3月6日（火）13：30～16：30

場所 公立大学協会事務局会議室

- 1 第8回スタッフ会議の議事概要（案）について
 - 2 新たな認証評価の内容について
 - 3 その他
- 大学評価ワークショップ（名寄市立大学）について

第10回公立大学改革支援・評価研究センタースタッフ会議
3月9日（金）13：30～16：30

場所 スマート会議室

- 1 第9回スタッフ会議の議事概要（案）について

- 2 新たな認証評価の内容について
- 3 新たな認証評価機関について
- 4 その他

〔2〕意見募集

大学機関別認証評価の「実施大綱（案）」及び「大学評価基準（案）」に関する意見募集の実施

期間 平成29年11月24日（金）～12月7日（木）

〔3〕大学運営教職員研修への講師派遣

平成29年

- ・4月14日（金）15：00～16：30

実施大学 奈良県立大学

参加者 72名

講師 浅田尚紀 センター長

- ・4月26日（水）11：00～14：30

実施大学 新見公立大学

参加者 53名

講師 中田晃 事務局長

- ・6月21日（水）13：00～14：30

実施大学 三重県立看護大学

参加者 52名

講師 中田晃 事務局長

- ・6月29日（木）14：30～16：00

実施大学 京都府立大学

参加者 80名

講師 中田晃 事務局長

- ・6月30日（金）14：40～17：00

実施大学 高知県立大学

参加者 140名

講師 中田晃 事務局長

- ・7月26日（水）10：30～12：00

実施大学 香川県立保健医療大学

参加者 60名

講師 中田晃 事務局長

- ・8月7日（月）13：00～14：30

実施大学 埼玉県立大学

参加者 135名

講師 中田晃 事務局長

- ・8月10日（木）13：30～15：30

実施大学 茨城県立医療大学

参加者 110名

講師 奥野武俊 専務理事

- ・8月31日（木）13：30～15：30

実施大学 兵庫県立大学、神戸市看護大学、神戸市外国

語大学（合同）

参加者 48 名

講師 中田晃 事務局長

・ 9 月 1 日（金）13:30～15:00

実施大学 富山県立大学

参加者 135 名

講師 中田晃 事務局長

・ 9 月 11 日（月）13:30～16:45

実施大学 長野大学

参加者 70 名

講師 中田晃 事務局長

・ 9 月 13 日（水）17:00～18:30

実施大学 新潟県立看護大学

参加者 59 名

講師 中田晃 事務局長

・ 9 月 14 日（木）13:00～

実施大学 長崎県立大学

参加者 45 名

講師 中田晃 事務局長

・ 9 月 25 日（月）13:00～15:00

実施大学 新潟県立大学

参加者 67 名

講師 中田晃 事務局長

・ 9 月 27 日（水）14:40～16:10

実施大学 山形県立米沢栄養大学

参加者 45 名

講師 中田晃 事務局長

・ 10 月 5 日（木）14:30～16:30

実施大学 国際教養大学、秋田県立大学、秋田公立美術
大学、秋田大学（合同）

参加者 119 名

講師 中田晃 事務局長

・ 10 月 18 日（水）10:00～11:30

実施大学 福山市立大学

参加者 90 名

講師 中田晃 事務局長

・ 10 月 19 日（木）10:00～12:00

実施大学 前橋工科大学

参加者 50 名

講師 中田晃 事務局長

・ 10 月 25 日（水）16:30～18:00

実施大学 名寄市立大学

参加者 60 名

講師 中田晃 事務局長

・ 10 月 26 日（木）17:30～19:00

実施大学 奈良県立医科大学

参加者 60 名

講師 浅田尚紀 センター長

・ 10 月 31 日（火）13:30～15:30

実施大学 札幌医科大学

参加者 57 名

講師 中田晃 事務局長

・ 11 月 14 日（火）13:00～14:30、14:40～16:10

実施大学 県立広島大学

参加者 370 名

講師 中田晃 事務局長

・ 11 月 27 日（月）14:00～14:30

実施大学 静岡文化芸術大学、高知工科大学、名桜大学、
公立鳥取環境大学、長岡造形大学、福知山公立大学、山
陽小野田市立山口東京理科大学、長野大学（合同）

参加者 62 名

講師 中田晃 事務局長

・ 12 月 1 日（金）13:30～17:00

実施大学 沖縄県立芸術大学

参加者 40 名

講師 中田晃 事務局長

・ 12 月 18 日（月）14:40～16:10

実施大学 埼玉県立大学

参加者 140 名

講師 奥野武俊 専務理事

・ 12 月 20 日（水）15:10～16:40

実施大学 敦賀市立看護大学

参加者 34 名

講師 中田晃 事務局長

・ 12 月 21 日（木）13:30～17:15

実施大学 神戸市外国語大学

参加者 9 名

講師 中田晃事務局長

・ 12 月 27 日（水）13:00～14:30

実施大学 神奈川県立保健福祉大学

参加者 77 名

講師 柴田洋三郎 副会長

平成 30 年

・ 1 月 17 日（水）15:00～17:00

実施大学 沖縄県立看護大学

参加者 65 名

講師 浅田尚紀 センター長

・ 2 月 15 日（木）14:00～15:45

実施大学 名古屋市立大学

参加者 87 名

講師 浅田尚紀 センター長

・ 3 月 6 日（火）

実施大学 香川県立保健医療大学

参加者 42 名

講師 郡健二郎 会長

〔4〕大学評価ワークショップの実施

平成 30 年 3 月 2 日（金）10：00～17：00

実施大学 名寄市立大学

プログラム

1 自己点検・評価責任者とのワークショップ

概要説明（名寄市立大学）

意見交換

2 全体ワークショップ

学長挨拶

センター長挨拶

センタープレゼンテーション

ー内部質保証の意義、大学の現況分析

大学プレゼンテーション

① 内部質保証

② 教育課程・学修成果

③ 大学運営・財務

ディスカッション

ワークショップの振り返り

評価チーム主査挨拶

〔5〕公立大学改革支援・評価研究センターメールマガジンの配信

平成 29 年

・メールマガジン No.22

4 月 19 日（水）

・メールマガジン No.23

5 月 22 日（月）

・メールマガジン No.24

6 月 16 日（金）

・メールマガジン No.25

8 月 1 日（火）

・メールマガジン No.26

8 月 25 日（金）

・メールマガジン No.27

10 月 2 日（月）

・メールマガジン No.28

10 月 24 日（火）

・メールマガジン No.29

11 月 29 日（水）

・メールマガジン No.30

12 月 20 日（水）

平成 30 年

・メールマガジン No.31

2 月 2 日（金）

9 各種調査・照会

〔1〕協会から発信した照会

（調査結果はホームページに一部掲載）

運営費交付金の措置における授業料減免分への考慮に関する照会

発出 平成 29 年 4 月 11 日（月）

締切 平成 29 年 4 月 14 日（金）

1. 運営費交付金措置における授業料減免分への考慮状況
2. 授業料減免申請状況に照らした運営費交付金の措置状況

—————

自治体が措置する運営費交付金等の状況等に関する照会

発出 平成 29 年 4 月 11 日（月）

締切 平成 29 年 4 月 14 日（金）

1. 中期目標期間における運営費交付金の算定方法
2. 運営費交付金の実際の状況と「一般財源都道府県市負担額（経常費）」推移グラフの妥当性
3. 「一般財源都道府県市負担額（経常費）」推移グラフに関する留意点・参考情報等

—————

公立大学の将来構想に向けた検討課題に関する照会

発出 平成 29 年 7 月 13 日（木）

締切 平成 29 年 8 月 3 日（木）

1. 学長からのご意見
 - （1）公立大学の財源に関する課題
 - （2）「時代を LEAD する公立大学」に関するご意見
2. 設置自治体との連携方策
 - （1）資料のご提供
 - （2）事例の分析

—————

改正地方独立行政法人法（業務方法書の変更）への対応について（照会）

発出 平成 30 年 2 月 1 日（木）

締切 平成 30 年 2 月 6 日（火）

- ・改正地方独立行政法人法（業務方法書の変更）への対応

〔2〕メーリングリストを活用した照会

平成 29 年

- ・4 月 7 日 神戸市外国語大学
接遇費の基準について（照会）
- ・4 月 13 日 熊本県立大学
大学院の入学試験における教育職員の入試手当の取り扱いについて（照会）

いについて（照会）

- ・4 月 19 日 岡山県立大学
競争的資金に係る間接経費の研究者への配分状況に関する調査について（依頼）
- ・4 月 20 日 大阪府立大学
学生による授業評価の公表について（照会）
- ・5 月 10 日 札幌市立大学
大学が保有する文書の管理に関する調査について（依頼）
- ・5 月 23 日 山梨県立大学
理事長選考に係る手続きについて
- ・5 月 26 日 石川県立看護大学
【照会】教員評価に関する調査について
- ・6 月 6 日 大阪府立大学
【依頼】学生対応窓口の業務時間について
- ・6 月 9 日 福山市立大学
学部から大学院への学内進学に係る支援策等について（照会）
- ・6 月 14 日 前橋工科大学
財務会計システムによる予算執行状況の管理について（照会）
- ・6 月 20 日 北九州市立大学
【照会】大学院生の後援会加入について
- ・6 月 21 日 愛知県公立大学法人
入試業務に係る手当について
- ・6 月 26 日 京都府立大学
H29 年度「推薦入試」における「小論文」及び「総合問題」の実施状況について（照会）
- ・6 月 27 日 広島市立大学
【ご依頼】科研費の申請に関する調査について
- ・7 月 3 日 北九州市立大学
【照会】危機管理体制について
- ・7 月 3 日 山口県立大学
就職状況に関する調査について（照会）
- ・7 月 4 日 京都府立大学
大学体育館に関する新築、改修等の実施状況について（照会）
- ・7 月 6 日 高知県立大学
研究費・教育費及び図書情報費等について
- ・7 月 7 日 岩手県立大学
【照会】法人採用職員の期末・勤勉手当に関する調査について
- ・7 月 14 日 広島市立大学
（照会）化学物質リスクアセスメントの取組状況について
- ・7 月 14 日 北九州市立大学
【照会】平成 28 年度授業料減免実績について
- ・7 月 19 日 釧路公立大学
【照会】障害者差別解消法に係る教職員対応要領の策定状況について
- ・7 月 25 日 札幌市立大学
理事長選考時の意向調査の実施について（ご依頼）

- ・ 7 月 26 日 福知山公立大学
議会との連携について（照会）
 - ・ 7 月 28 日 青森公立大学
学長の任期及び学長選考等に関する調査について（照会）
 - ・ 8 月 8 日 宮崎公立大学
職員の資格取得等に係る研修・費用助成について（照会）
 - ・ 8 月 9 日 山口県立大学
施設及び備品の外部貸出について（照会）
 - ・ 8 月 21 日 広島市立大学
【照会】同窓会の活性化について
 - ・ 8 月 23 日 広島市立大学
外部委託先の個人情報管理状況の検査について（照会）
 - ・ 8 月 28 日 福井県立大学
【照会】プロパー職員の採用状況について
 - ・ 9 月 8 日 青森公立大学
インフラ長寿命化計画（行動計画）の策定について
 - ・ 9 月 13 日 情報科学芸術大学院大学
産学連携に関する取り組みについて（照会）
 - ・ 9 月 14 日 神戸市外国語大学
【調査依頼】学外からの成績入力・成績閲覧について
 - ・ 9 月 21 日 広島市立大学
図書の管理に関する調査について（照会）
 - ・ 9 月 27 日 埼玉県立大学
事務組織の人員配置状況について（照会）
 - ・ 10 月 3 日 下関市立大学
ハラスメントの防止、対策及び苦情に関する相談員への手当の支給状況等について（照会）
 - ・ 10 月 4 日 富山県立大学
授業料減免制度について（照会）
 - ・ 10 月 5 日 長崎県立大学
学生部長職に関する調査について（依頼）
 - ・ 10 月 10 日 静岡県立大学
客員教授等の称号付与の対象等について（照会）
 - ・ 10 月 12 日 札幌市立大学
北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る J アラート作動時の対応について（依頼）
 - ・ 10 月 12 日 長崎県立大学
年俸制の導入に関する調査について（依頼）
 - ・ 10 月 30 日 熊本県立大学
キャリアセンター、保健センターに関する調査について
 - ・ 10 月 31 日 群馬県立女子大学
大学院における少人数の授業改善方法について（照会）
 - ・ 11 月 1 日 福井県立大学
大学ガバナンスに関する調査について（照会）
 - ・ 11 月 8 日 下関市立大学
バスの運行に関する調査について（照会）
 - ・ 11 月 9 日 名古屋市立大学
寄附講座の設置状況について
 - ・ 11 月 28 日 新潟県立大学
【照会】退職（予定）者の履歴事項照会について
 - ・ 12 月 1 日 福山市立大学
学生団体における課外活動の連盟登録料や旅費等について（照会）
 - ・ 12 月 6 日 北九州市立大学
【照会】懲戒処分者等に係る名誉教授の称号授与について
 - ・ 12 月 8 日 札幌市立大学
【照会】非常勤講師の無期転換への対応に関する調査について
 - ・ 12 月 15 日 宮城大学
（依頼）学内施設整備状況の情報提供について
- 平成 30 年
- ・ 1 月 9 日 新潟県立大学
国旗掲揚塔の設置状況等について（照会）
 - ・ 1 月 16 日 名寄市立大学
【照会】大学図書館の館長・副館長の配置状況について
 - ・ 1 月 22 日 茨城県立医療大学
保健師教育の現状について（照会）
 - ・ 1 月 26 日 山梨県立大学
（照会）後援会の貸付制度について
 - ・ 1 月 29 日 下関市立大学
海外旅行保険料等の取扱いについて（照会）
 - ・ 1 月 31 日 山陽小野田市立山口東京理科大学
出張旅費等の取扱いについて（照会）
 - ・ 2 月 14 日 青森県立保健大学
教員評価及び研究者総覧に係るシステムの導入状況について（照会）
 - ・ 2 月 22 日 岡山県立大学
学内基盤的研究費及び学内競争的研究費の評価に関する調査について（依頼）
 - ・ 3 月 12 日 下関市立大学
教授会運営に関する状況等について（照会）

| | |---| | 4 | |---| 意見表明・要望活動等

平成 29 年 6 月 14 日

高大接続改革の進捗状況に関する意見

一般社団法人 公立大学協会

文部科学省から 5 月 16 日に公表された高大接続改革の進捗状況については、困難な課題に対しての関係者の調整の結果として重く受け止めたい。

今回大学入学者選抜改革については、「大学入学共通テスト（仮称）の実施方針（案）」とともに、個別大学の入学者選抜の改革についても「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告（案）」が取りまとめられた。これらについて、以下に意見を述べる。

1. 「大学入学共通テスト（仮称）」実施方針（案）について

- 大学入学共通テスト（仮称）における記述式問題の作問、出題、採点については、大学入試センターで行う実施方針が示された。このことは、大学の負担への配慮として評価する。
- しかし、共通テストの成績提供時期が、従来の大学入試センター試験と比べて 1 週間程度遅れることが示された。共通テストを課す A0 入試及び推薦入試を実施する場合、現状の日程では実施が困難であることが懸念される。
- 本協会では実施要項の変更も念頭に置きながら確実な大学入学者選抜の実施に向けて今後の対応を検討する必要があることから、成績の提供方法及び共通テストの成績活用の方法の案を早急に示していただきたい。
- 共通テストの英語試験の取扱については、A 案（平成 32 年度以降は共通テストを実施せず、認定試験を活用する）及び B 案（平成 35 年度までは共通テストを実施し各大学の判断で共通テストと認定試験のいずれか、または双方を選択利用できる）が示されている。
- 現時点において具体的な成績提供の方法等が示されておらず、一挙に A 案を採用することに対して不安の声が多く聞かれている。高等学校及び大学において混乱が生じないように配慮いただきたい。

2. 平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告（案）について

- このたび、大学入学者選抜にかかる新たなルールの設定に伴い、従前の A0 入試、推薦入試、一般入試の区分の見直しが行われた。ルール設定の趣旨に述べられている、学力の 3 要素を多面的・総合的に評価することの重要性は、

すでに関係者に十分な理解を得ているが、評価の指標及び手法については、未だ具体的なものが示されておらず、各大学は新たな評価への対応に苦慮しているところである。

- 評価の指標及び手法等については、大学入学者選抜改革推進委託事業等により今後検討が進むものと思われるが、その検討結果について積極的な情報公開に努めていただきたい。
- このたびの予告（案）には、調査書や提出書類等の改善についても示されているが、とりわけ調査書の電子化は大学にとっても期待が高いものであることから、早急に検討を進めていただきたい。

大学入学者選抜改革は社会的な関心度が高い事柄であり、その影響は大きい。各大学においては新たな入試システムの構築を早急に検討することが求められる。現在未確定の部分についても、速やかに結論を出していただくことを要望する。

以上

平成 29 年 6 月 14 日

高大接続改革に関する進捗状況についての会員校からの意見

一般社団法人公立大学協会

「平成 33 年度実施要項の見直しに係る予告（案）」について、以下のとおり会員校から指摘があった。再検討をお願いしたい。

P4（2）実施面の【対応案】の項目立て等に不明確な箇所が見られる。

1. <出願・合格発表時期>について

- 「一般選抜」に関する記載が無く、次項で、一般選抜と<教科・科目に係るテストの実施時期>の混同がみられ、一般選抜の出願時期が明示されていない。「教科・科目に係るテスト」すなわち「一般選抜」ではないことに留意する必要がある。

2. <教科・科目に係るテストの実施時期>について

- 「合格発表時期については、学年暦との関係も踏まえ、「3 月 31 日まで」とする」との記載があるが、これが①3 区分全般を指すものか、②<教科科目に係るテストの実施時期>のみに関連するものか、③一般選抜をさすものか、曖昧である。
- これに関連して、「*学校推薦型選抜については一般選抜の試験期日の 10 日前までとする」とあるが、
 - ・②であれば、「推薦において教科・科目に係るテスト」を実施する大学では、一般選抜は最も早くて 2 月 5 日以降しか実施できなくなる。
 - ・①であれば、推薦入試に共通テストを利用する選抜を行う大学では、成績提供の後ろ倒しもあって、一般選抜は、2 月 17 日以降に実施せざるを得なくなる。
- いずれにしても、この推薦合格発表一般選抜 10 日前ルールは、現行の国公立大学等の選抜スケジュールにご配慮いただいたものかもしれないが、今回の改革の改善ポイントでもある推薦入試等への共通テストの利用を含めた学力把握の必須化に大幅な制約を課すことになりかねない。

以上、項目立ての整理を含めて、再検討をお願いしたい。

中央教育審議会 大学分科会 将来構想部会(第3回)
平成29年7月28日(金)10:00～12:00 @文部科学省13F 1～3会議室

公立大学の諸課題と その将来構想に向けての議論

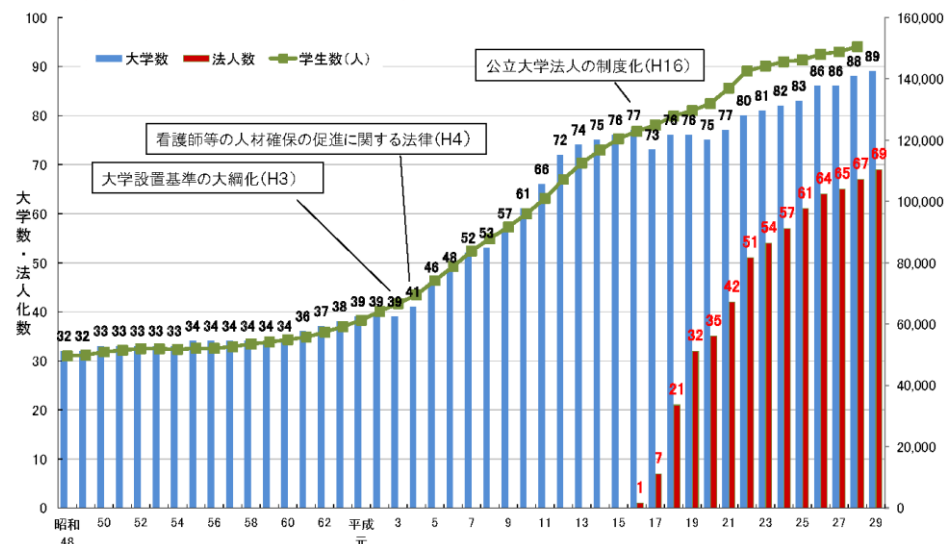
一般社団法人 公立大学協会
専務理事 奥野武俊

1

1 公立大学の設置動向

平成期に入り急増した公立大学。平成29年度、89大学へ。

この間、大学統合も進められて来た(16大学 → 6大学に統合)(平成16年度以降のみをカウント)



2

1 公立大学の設置動向(つづき)

国立大学・私立大学との比較

国公立大学(学校数・在学者数・教員数・事務職員数) 比較 (H28年度)

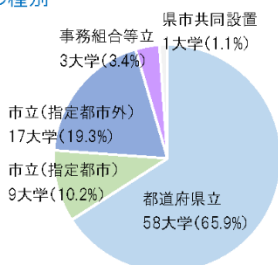
	国立	公立	私立	計
学校数	86	88	601	775
(比)	11.1%	11.4%	77.5%	
在学者数	610,266	150,477	2,112,323	2,873,066
(比)	21.2%	5.2%	73.5%	
教員数(本務者)	64,771	13,293	106,200	184,264
(比)	35.2%	7.2%	57.6%	
事務系職員数(本務者)	27,578	4,944	54,939	87,461
(比)	31.5%	5.7%	62.8%	
職員/教員	0.43	0.37	0.52	0.47

平成28年度学校基本調査(速報)より(大学数は平成28年度大学一覧より)

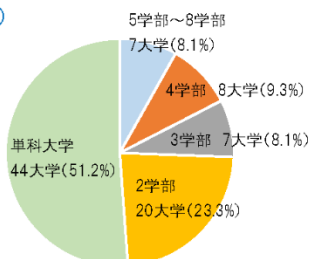
3

公立大学の特徴(H28年度)

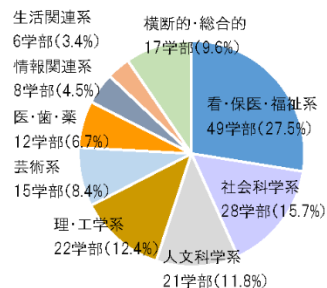
■設置団体の種別



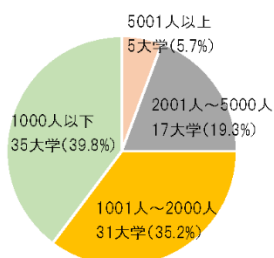
■設置している学部数 (大学院大学を除く)



■系統別学部数



■学生数別大学数



4

平成期の公立大学設置の背景

平成期の公立大学設置に関する主要な背景(例示)

- 1 地域産業の育成や地域への進学者の受入など、地域の活性化戦略として、多様な大学・学部が地域の要請に応じて設置された。
- 2 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」(平成4年)を受けて地域の医療を守る看護医療福祉系の大学・学部が設置された。
- 3 公立の短期大学が四年制大学に改組された。昭和63年度に53校あった短大は平成29年度には15校に減少。
- 4 地域の高等教育機会を安定的に継続させるために、公設民営方式等による大学設置を公立大学法人を設立しての設置に改めた。

5

設置自治体と規模別の公立大学

青字:医学部、歯学部を有する大学

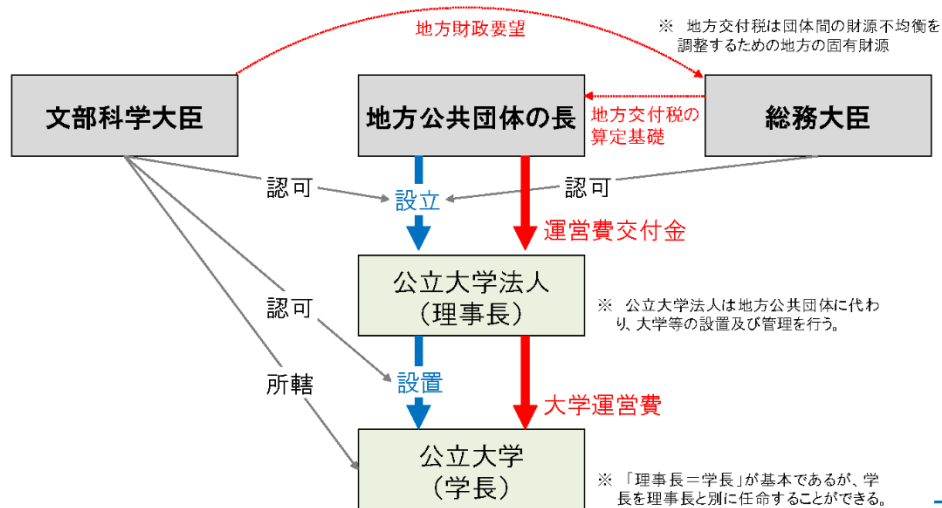
	都道府県	政令市	中核市 施行時特例市	一般市
総合大学 5学部以上かそれに相当する規模の大学	首都大学東京 大阪府立 兵庫県立	横浜市立 名古屋市立 大阪市立 北九州市立		
複合大学 異なる分野系統の複数学部を持つ大学	岩手県立、秋田県立、宮城、新潟県立、山梨県立、福井県立、静岡県立、静岡文化芸術、愛知県立、滋賀県立、京都府立、島根県立、岡山県立、県立広島、山口県立、高知県立、高知工科、福岡女子、長崎県立、熊本県立(計19大学)	札幌市立 広島市立	福山市立	長野 尾道市立 名桜(組合立)
単科大学 複数学部を有するが同一系統の学部である大学を含む	札幌医科 国際教養 山形県立米沢栄養 福島県立医科 会津 群馬県立女子 産業技術大学院 富山県立 石川県立 情報科学芸術大学院 愛知県立芸術 京都府立医科 奈良県立医科 奈良県立 和歌山県立医科 九州歯科 沖縄県立芸術	(看護系18大学) 青森県立保健、山形県立保健医療、茨城県立医療、群馬県立県民健康科学、埼玉県立、千葉県立保健福祉、神奈川県立保健福祉、新潟県立看護、長野県看護、石川県立看護、岐阜県立看護、三重県立看護、香川県立保健医療、愛媛県立医療技術、福岡県立、大分県立看護科学、宮崎県立看護、沖縄県立看護	京都市立芸術 神戸市外国語 神戸市看護 青森公立 秋田公立美術 高崎経済 前橋工科 長岡造形 金沢美術工芸 岐阜薬科 公立鳥取環境 (県・市共同設置) 宮崎公立 下関市立	釧路公立(組合立) 公立はこだて未来(組合立) 名寄市立 都留文科 敦賀市立看護 福知山公立 新見公立 山陽小野田市立山口東京理科

6

2 公立大学行政の構造

公立大学行政の構造は複雑になっている

※ 図は公立大学法人(都道府県または政令指定都市の設立)が設置する公立大学の場合



7

公立大学法人化は設置自治体の選択により推進

地方独立行政法人法により法人化が可能（総務省、文科省の共同認可）

法人化するかどうかは設置団体の任意（地方自治の原則）

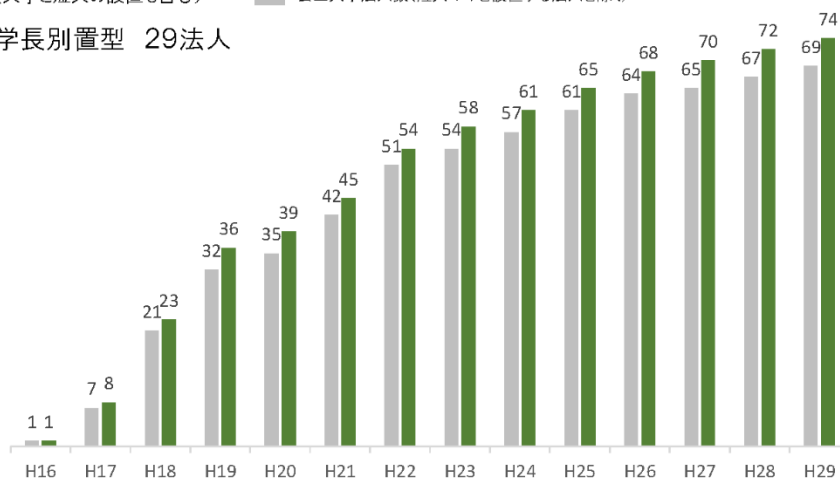
現在89の公立大学のうち74大学が公立大学法人(69法人)による設置

複数大学型 11法人

(大学と短大の設置も含む)

■ 公立大学法人が設置する大学・大学院大学の数
■ 公立大学法人数(短大のみを設置する法人を除く)

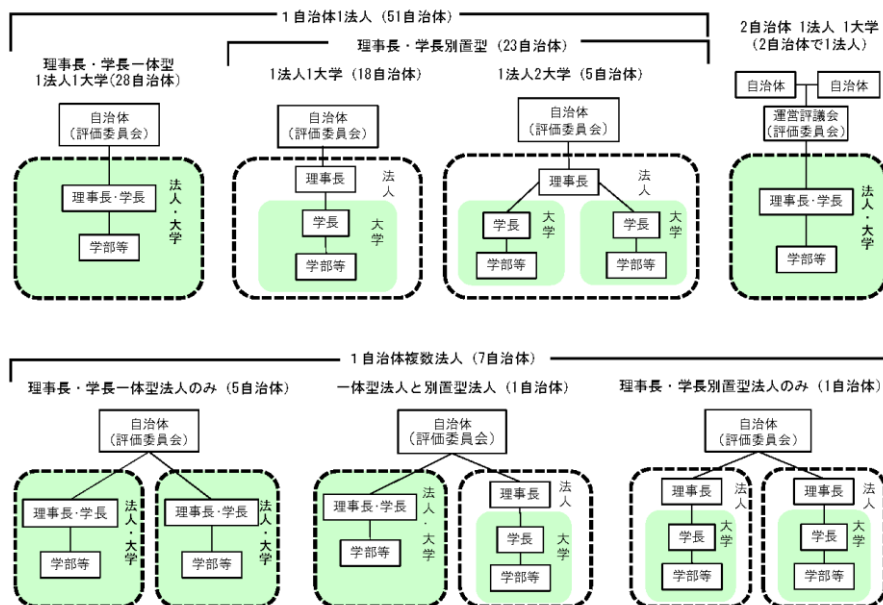
学長別置型 29法人



8

公立大学法人設立と大学運営の在り方には多様性が存在

各設立自治体が置く公立大学法人と大学の構成(平成28年度)



9

公立大学の法人化を活かして学長のリーダーシップを確立

浅田尚紀(2015)「公立大学の法人化と学長のリーダーシップ」『IDE現代の高等教育』No.567より作成

法人化のプロセスを通じての確立

- 公立大学は地方独立行政法人法に基づいて、法人設立の判断や、理事長・学長の一体型・別置型の選択などは自治体に委ねられているため、**法人化の時期もプロセスも大学ごとに異なり、結果として多様な形態が生まれることとなった。**
- 公立大学法人には標準モデルがなく、大学の法人化に際しては**自治体も大学も、自らの責任で法人設計を行わなければならなかった…。**
- 標準モデルもない中で、自治体との協議と並行して学内の合意形成を図ることは容易なことではないが、法人化は、**学長がリーダーシップを発揮して大学組織や運営体制を再設計できる絶好の機会であった…。**

法人化後の運営を通じての確立

- (理事長・学長一体型であっても)**理事長と学長の職務を可能な限り区別し、名称を使い分け…職務権限も全面的に見直した。**
理事長決済 → 人事、財務、管理等 学長決済 → 教学関係
- 理事長名を使うことで、法人の長としての権限で命令・執行していることが明確になり、**教員はもちろん職員の意識改革には大きな効果があった…。**

10

3 公立大学への財源措置

公立大学は増えているものの、**学生一人あたりの財源措置は減少**している。
設置自治体による**基盤的経費の安定的な措置**が求められる。

公立大学数及び学生数、設置自治体が措置する財源

指標	平成17年度	平成27年度	増減
公立大学 大学数	73大学	86大学	+17.8%
公立大学 学生数	120,992人	145,566人	+20.3%
■設置自治体が措置する基盤的経費			
公立大学全体（百万円）決算	157,927	167,047	+5.8%
学生1人あたり（千円）	1,305	1,148	△12.0%

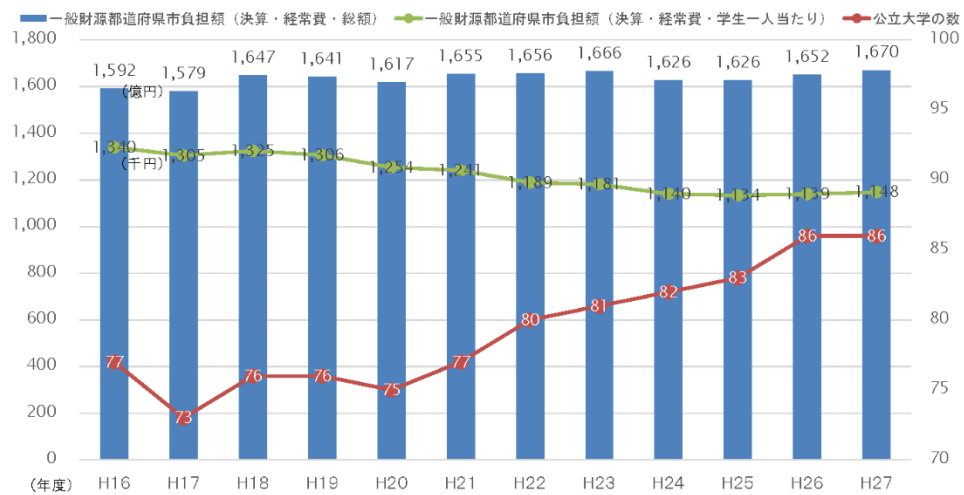
※ 公立大学実態調査（公立大学協会） ※データ未記入等がある大学については当初予算値を充て推計した

11

（参考）経年推移

公立大学への基盤的財源措置の推移（平成16～平成27年度）

※ 附属病院に関するものを除く



※データ未記入等がある大学については当初予算値を充て推計した

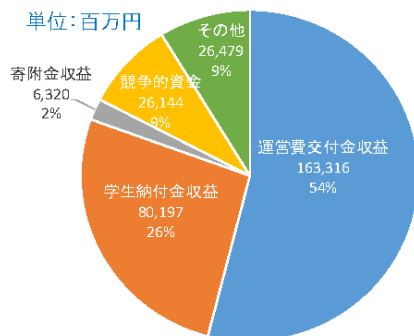
（出典）「公立大学実態調査表」より公立大学協会事務局作成

12

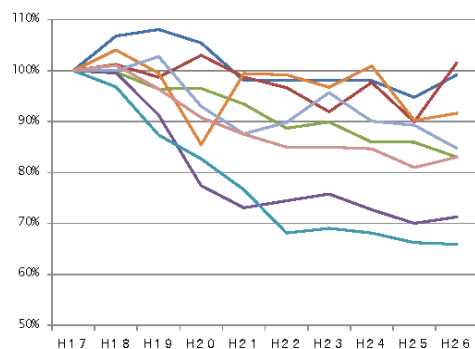
設置団体の措置する運営費交付金

公立大学全体では、収益の約半分は運営交付金となっているが、その額が大きく減少しているケースが多い。

公立大学法人全体の経常収益 平成25年度決算／附属病院を除く



運営費交付金の推移 平成17年度比 各年度予算ベース／H17年度に法人化した大学の例



※ 公立大学実態調査(公立大学協会)、公立大学法人決算資料等から作成

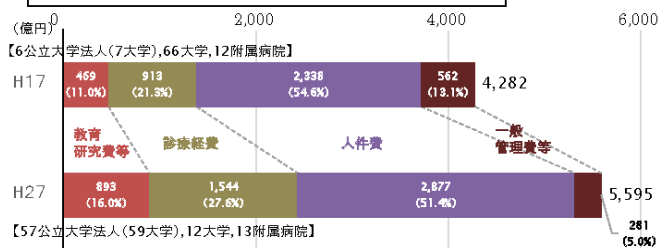
13

(参考)公立大学の経常費用及び経常収益の内訳(公立大学全体)

※平成17年度に公立大学として存在した73大学を集計

経常費用

教育研究費の割合は増加。人件費、一般管理費等の割合は減少。



※ 財務諸表(法人化大学)及び公立大学実態調査表(非法人化大学)より公立大学協会事務局作成

※ 一部公立大学法人においては同法人で設置する短期大学部(5法人6短期大学部)の値を含む

※ データに未記入等がある大学については、当初予算により推計した

【定義】
(財)財務諸表、実…公立大学実態調査表、
実附…公立大学実態調査表附属病院

※ 教育研究費等
附：教育研究費、研究経費、教育研究支援経費、委託研究費等、委託事業費等
実：教育研究費、学生経費
実附：研究経費

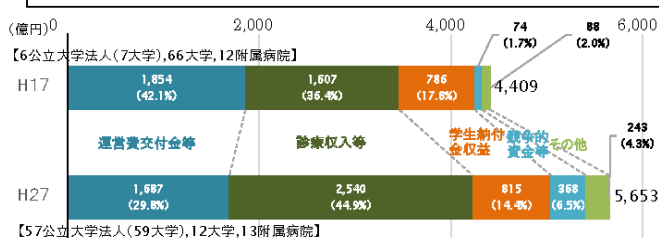
※ 診療経費
附：診療経費、実附：診療経費

※ 人件費
附：役員人件費、教員人件費、職員人件費
実：人件費、実附：人件費

※ 一般管理費等
附：一般管理費、財務費用、雑費など
実：管理経費
実附：管理経費

経常収益

運営費交付金等、学生納付金収益の割合は減少。競争的資金等の割合は自助努力により増加。



※ 運営費交付金等(設置自治体の財源措置)
附：運営費交付金収益
実：一般財源都道府県市負担額
実附：道県市費収入金

※ 診療収入等
附：附属病院収益
実附：診療収入、財産収入

※ 学生納付金収益
附：授業料収益、入学金収益、検定料収益など
実：入学検定料、入学料、授業料、その他

※ 競争的資金等
附：委託研究等収益、委託事業等収益、寄附金収益、補助金等収益
実：国、都道府県支出金、寄附金収入等、委託研究収入等

※ その他
実附：寄附金収入、国道県補助金
その他

※ 施設費収益、資産売却益、財務収益、雑益
実：公債収入、雑収入等、その他の財源
実附：その他収入、公債収入

14

4 公立大学の2つの評価制度

	公立大学法人の評価	大学の評価
根拠法令	地方独立行政法人法	学校教育法
各年度	各事業年度に係る業務の実績に関する評価	自己点検評価(適切な項目・適当な体制)
期間毎	中期目標に係る業務の実績に関する評価	認証評価(7年以内に一度)
評価方法 評価基準	中期目標(計画)の達成状況の調査・分析 業務実績全体の総合的な評定	大学設置基準に適合した評価基準 大学の特色ある教育研究の進展に資する



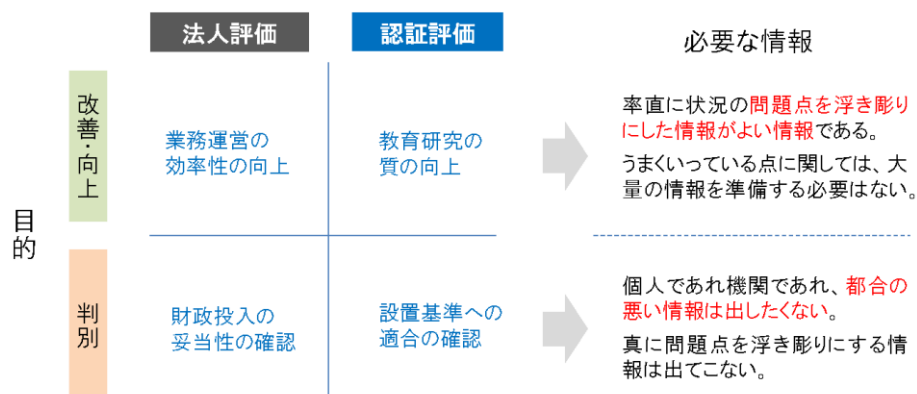
15

公立大学の評価には可能性と課題がある

評価主体に関する課題

- ① 法人評価は、設立自治体毎に置かれた評価委員会が多様な方法で行う
- ② 認証評価機関は、設置者種別毎の制度上の相違点を十分考慮していると言えない

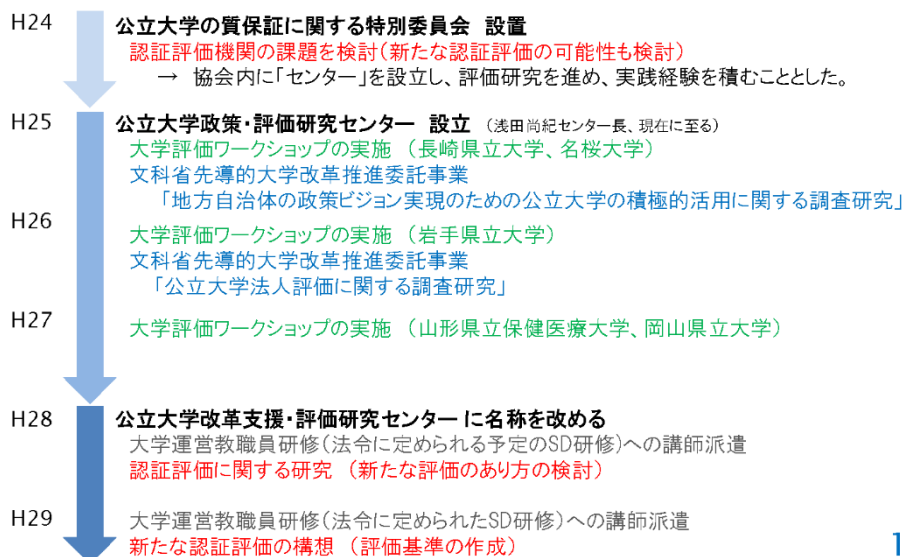
評価の目的と必要な情報の関係についての課題



大学における教育研究活動の評価に関する調査研究(研究代表者 北原和夫、2012)より作成 16

公立大学の特性を踏まえた取組みを進めてきた

「公立大学改革支援・評価研究センター」はバーチャル組織ながら、公立大学の政策や評価の課題に関し、研究と実践を積み重ねてきた



17

取組みの例：外部評価の新たな取組み「大学評価ワークショップ」

岡山県立大学での実施例

① 説明会(キックオフ) H27年12月15日(火)		13:00～13:30	センターからの説明
参加者: 幹部教職員9名(学長、認証評価部会長、事務局長等)		13:30～14:00	岡山県立大学からの課題提示、要望事項提示
評価チーム: 1名、事務局1名		14:00～15:00	意見交換
② 大学評価ワークショップ H28年2月7日(日)～2月8日(月)			
参加者: 大学教職員44名(学長、理事、研究科長、学科長、事務局長等)＋学生11名 評価チーム: 6名(うち会員校から参加した連携研究員2名)、事務局2名			
前日	大学による事前説明、評価チーム打ち合わせ		
午前	大学からのプレゼンテーション、学生からのプレゼンテーション＆ディスカッション		
昼	施設見学等		
午後	ディスカッション(大学の特色ある活動について、内部質保証システムについて) 大学評価ワークショップの振り返り		



多数の大学教職員のほか、学生も参加し、活発なディスカッションが行われた。受審大学所感では、「本学教育のあるべき姿を考える、よき研修となった」との考えも示された。

③ 認証評価結果における活用 評価機関: 大学改革支援・学位授与機構(H28年度)	
① 「主な優れた点」の一つとして示された 「公立大学政策・評価研究センターによる大学評価ワークショップを受けている。」	
② 基準9(評価結果がフィードバックされ、改善のための取組が行われているか。)の評価結果に示された 「大学評価ワークショップに教職員約60人と学生11人が出席し、課題を共有するとともに、FDに学生を参加させることの有効性についてのピアレビュー提言内容を平成28年度計画に、各部会主催のワークショップについて、一部に学生主導のプログラムを設け、各部会1回程度開催するなどの措置に反映させている。」	
③ エビデンスとして活用された このほか、3つの基準の評価結果のエビデンスとして「大学評価ワークショップのピアレビューにおいて高い評価を受けている」ことが示されている。	

18

5 公立大学の将来構想に向けての議論

- 大学を取り巻く社会環境が大きな変化する中で、公立大学政策は、地方自治体の自律性にゆだねられている。このことにより、特有の課題と優位性が存在。
- 公立大学の将来像を描くには、中央・地方・大学の間を立体的に捉えることのできる複眼的な視座が求められる。



公立大学の在り方に関する検討会議 報告書

時代をLEADする公立大学

公立大学の将来構想に向けての議論の方向性と可能性

19

公立大学の共通課題の整理分析

垂直的に3層の政策課題が存在する

国における高等教育政策の課題

- 高等教育は他の政策投資との間で競合・競争
- 高等教育の側からの攻めの姿勢での提案が必要
- 国の将来構想における公立大学の位置

設置自治体における公立大学政策の課題

- 自治体の高等教育政策が必要
- 自治体政策を巡る様々な、競合・競争が発生
- 公立大学からの先導的な政策提言が必要

公立大学におけるマネジメントの課題

- 公立大学に求められる機能が拡大し、多元化している
- 国と自治体の両政策を考えた改革が必要
- 改革を担う人材の育成が必要

公立大学の政策研究（理論的・実践的）が必要

20

分野別課題の整理

2つの軸で地域貢献機能を類型化

	サステナブル	クリエイト
地域からの要請型	地域のいのちを守る 例:看護系	地域の財産を発展させる 例:芸術系
大学からの提案型	地域の価値をつなげる 例:地域政策系	地域の可能性を開発する 例:情報系

21

類型ごとに機能を分析

類型	分野(例)	機能	学術連携	行政連携
Assure型 (いのちを守る)	医療、看護、福祉系、栄養...	健康インフラを守り、充実させる	大学の連携で、地域を守る	政策に寄り添い、リーダーシップを発揮する
Develop型 (開発する)	工学、理学、情報、国際...	新しい価値を作り、地域を開発する	世界の研究成果を取り込む	地域産業の政策に存在感を示す
Enhance型 (発展させる)	芸術、人文、農学、経済...	地域の財産・価値を発展させる	分野を超えた連携で可能性拡大	地域の伝統や産業を守る行政に寄与
Link型 (価値をつなぐ)	地域政策、環境、社会...	地域の組織、人をつなぐ	分野融合で新しい学問に	地域課題の解決に貢献



この枠組みで公立大学の地域貢献機能の分析を試みる

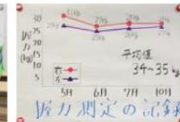
22

例示：ASSURE 地域のいのちを守る 大分県立看護科学大学 看護学部

文部科学省 地(知)の拠点 看護学生による予防的家庭訪問実習を通じた地域のまちづくり事業



旧、野津原町。高齢化率40%
面積93.75km²人口4,733人



異分野連携で
イノベーション創出

生きがいのある暮らしを創る
オープンイノベーションワークショップ



- Happiness Long Life Open-innovation Workshop (Hallow)
- 大学(工学系×看護系×芸術系)と病院
⇒超高齢化社会における暮らしの質向上を目指すものづくり。
半年間のワークショップ
- 日本文理大学 工学部
- 大分県立看護科学大学
- 大分県立芸術文化短期大学
- 社会医療法人 敬和会 大分東部病院
- 大分県工業連合会
(三次元技術研究会)
- <共催>
- 大分県医療ロボット・機器産業協議会

23

例示：DEVELOP 地域の可能性を開発する 公立はこだて未来大学 システム情報科学部

函館の地に新たな価値を創造する
世界とつながる研究&プロジェクト学習



IT技術を利用した過疎地の交通システム
Smart Access Vehicle @ FUN



- Demand-driven ride share service (taxi + bus)
- Real time optimization of vehicle assignment and route planning
- Provide mobility for the elderly in rural areas
- Proof-of-concept experimentation

miraiShare

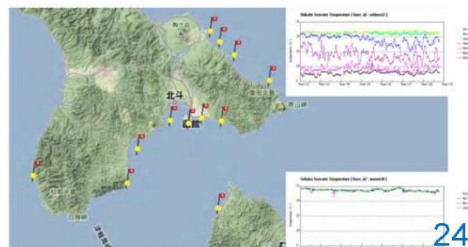
IT技術を利用した牡蠣の養殖管理

Marine IT @ FUN

- Fishing industry
 - A major industry in Hokkaido/Hokkaido
 - Fluctuation/decline of catch by climate/environmental change and over-fishing
 - Slow adoption of ICT
- Tasks
 - Fishery data collection (sensor network)
 - Visualization of fishery information
 - Improvement/optimization of fishing operations
 - Sustainable fishing



Temperature visualization for
oyster farming



24

例示： ENHANCE 地域の財産を発展させる

金沢美術工芸大学 美術工芸学部



金沢美術工芸大学は、「加賀400年の蓄積」を礎にした教育研究活動を展開。

地元集積されている伝統文化を後世に伝えるために、平成21年度には金沢市共同の「平成の百工比照」※において、全国の伝統工芸に関する資料を収集した。

一方で、近年はゲームやアニメなどサブカルチャーへもウィングを広げた卒業生の活躍が見られる。

※ 加賀藩五代藩主、前田綱紀公が全国から工芸にまつわる見本や道具、材料などの資料を収集し整理した模本集が「百工比照」。

地方公共団体と地方大学の連携による雇用創出、若者定着の取組み

ものづくりの技術・デザイン等の産業分野への応用に関すること

- 北陸先端科学技術大学院大学と連携し、現代アートの修理・修復、新たなデジタルツールの共同研究、市場調査を実施

作家・デザイナー、地元企業等とのネットワークづくりに関すること

- 問屋まちスタジオ(卒業生・修了生のための制作・展示スペース)を若手の多様な作り手と地元企業、大学をつなぐインキュベーション施設として活用

25

例示： LINK 地域の価値をつなげる

高崎経済大学 地域政策学部

地方創生、持続的な社会への課題を研究

「産業研究所」と「地域政策研究センター」を統合して
「地域科学研究所」を設置し、地域課題を実証的に研究

高崎経済大学地域科学研究所(2017)
『地方製造業の展開 高崎ものづくり再発見』
日本経済評論社



(同書所収研究の一つ)

プレス加工・金型メーカーの海外戦略と地域貢献 — サイトウティエム —
矢野修一 教授

高崎市に本社を構える中小企業において、自動車産業のサプライ・チェーンのグローバル化による環境変化にどのように対応し、ものづくり産業を発展させてきたかを明らかにする。

また、高崎経済大学附属高校(SGH)における世界的な視野を持ったモノづくり人材の育成への支援を、企業が行う地域貢献の事例として紹介。

26

おわりに

地域貢献の機能分類から **LEAD** という言葉が生まれた。

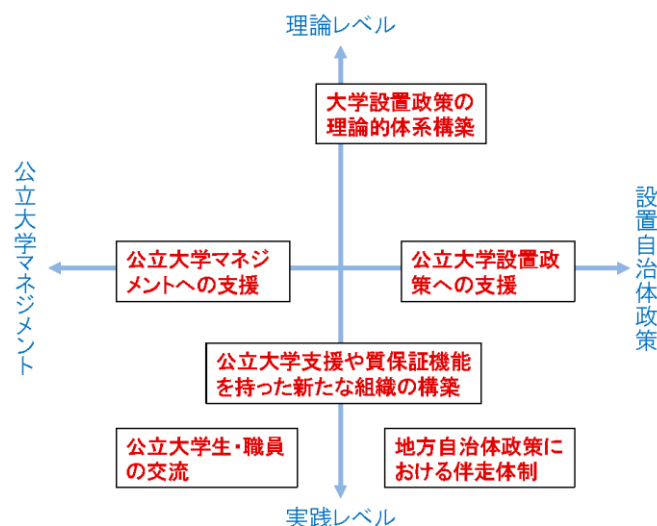
各大学の地域貢献の取組みを機能ごとに整理し、理論的・実践的に分析する。
公立大学の将来像を探り、将来構想への議論を開始。

	機能	機能の内容	公立大学の将来像(例示)
L	Link	組織(国、自治体、大学…)、人(住民、学生…)、学問分野を 連携してつなぐ働き	学生が地域に学び、 持続可能な社会をつくる 理論的研究を先導する。
E	Enhance	地域にある伝統的なポテンシャルを育て、地域の特徴を強みに変え、 発展させる働き	異分野研究や設置自治体との連携で、 地域・地方の活性化の中核 となる。
A	Assure	地域の健康インフラ整備のための人材を育て、地域住民の命、生活を まもる働き	地域の切実な地域課題の解決に向け、 国公立大学の連携・融合を先導 。
D	Develop	研究成果を地域産業に生かし、これまでに存在しなかった価値を創造し、 開発する働き	地域の国際的な競争力を高め、 産学連携によるイノベーションを実現 。

27

議論の方向性と可能性

将来構想の議論には、政策研究や質保証の活用方法を中心に理論的・実践的な取組みを進める必要がある。以下は、取組みの例示



28

参考資料

29

「我が国の高等教育の将来像(答申)」(2005)

公立大学に関する言及

第3章 新時代における高等教育機関の在り方

2 国公立大学の特徴ある発展に関する考え方

- 次に、公立大学については、各地方公共団体が高等教育に主体的に取り組み、多様かつ個性的な教育・研究を展開することは、我が国の高等教育全体の教育・研究の活性化のみならず個性ある地域づくりにもつながるものである。その際、公立大学法人制度を活用することも有力な手法の一つと考えられる。
- 公立大学は、設置者である各地方公共団体により地方財政という公的資金を基盤として設置・運営されるという性格から、設置者である地方公共団体の人材養成等各種の政策をより直接的に体现するという側面を持つものと考えられる。したがって、公立大学には、各大学の設置目的に沿って、それぞれの地域における社会・経済・文化の向上発展への貢献から国際社会への貢献まで幅広く含め、様々な教育・研究・社会貢献機能のより一層の強化が求められる。

30

「我が国の高等教育の将来像(答申)」(2005)

公立大学に関する言及

第4章 高等教育の発展を目指した社会の役割

1 高等教育の発展を目指した支援の在り方

(2) 地方公共団体の取組

- 国公立を通じた地域の大学全体との関係については、委託研究等の産学官(公)連携の推進や学校教員の養成、公開講座の実施等につき、大学の教育・研究活動と地方公共団体の施策展開の有機的な連携を図ることが期待される。その際、**地方公共団体側がその判断に基づき、受益の程度やその見通しに対応した財政的支援を行うことも有効**であると考えられる。
- 公立大学を設置し管理運営を行う場合には、例えば公立大学法人制度を活用するなどして、**大学の自律性を十分に尊重しながら、設置目的を明確化し、それぞれの地域の向上発展への貢献のため、地域社会の様々な要請等を踏まえつつ、より一層の教育・研究機能の強化に向けた改革努力を支援することが期待される。**

31

「大学のガバナンス改革の推進について(審議まとめ)」(2014)

公立大学に関する言及

(公立大学における経営組織と教学組織の関係)

- 公立大学では、設置主体としての**地方自治体(首長、議会)の意向が教学面に大きく働く**傾向がある。
- 公立大学は、当該地域のニーズに応じて設立されたという経緯があるため、学部・研究科のみならず、**大学そのものも自治体のイニシアティブの下で見直しが図られる**場合も少なくない。
しかしながら、地域の学生を教育し、地域に役立つ研究を機動的に行う組織である公立大学が、安定的に教育研究活動を行うことは重要である。
- 大学の経営側も、これまでの強みを生かそうとする教学側の考え方を十分聞きながら、**互いの理解と調和の下で**、学長がリーダーシップを取りやすいよう支えていくことが必要である。

32

「第3期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について」
に関する意見

平成 29 年 10 月 17 日
一般社団法人公立大学協会

標記の「審議経過」は、2030年以降のわが国の社会状況の変化を展望したうえで、教育政策の目標と施策に関する重要な方向性を、エビデンスとなる測定指標候補とともに示しており、公立大学協会としても、関係の施策を中心に真摯に受け止めているところです。

全国 89 の公立大学は、地方公共団体が設置する大学として、経済環境の厳しい地域における教育機会の確保、あるいは弱体化する地域コミュニティの再生のための研究など、公共性の高い教育機能を果たしています。

ここでは、計画の今後の審議に向けて、地域における持続的な高等教育システムの構築に責任を果たす立場にある公立大学として、国公私立の各機関の役割分担を踏まえながら、特に以下の4つの課題を挙げたうえで、今後の審議の方向性について意見を述べます。

1 意欲と能力のある若者への高等教育機会の確保

公立大学の多くは進学率の低い地方に立地するほか、公立大学生の家庭の経済状況については、国立大学及び私立大学と比較して所得が低い状況にあり（日本学生支援機構「平成 26 年度学生生活調査」）、すべての意欲と能力のある若者に対し、家庭の経済状況や地理的条件にかかわらず質の高い高等教育を受ける機会を提供することが、公立大学の重要な役割となっています。

そうした学生に対する支援については、設置自治体の努力による授業料減免の措置も行われておりますが、厳しい地方財政事情の下で、国立大学と比較して十分なものとは言えません。学生支援はオールジャパンで行われる必要があり、設置形態にかかわらず学生支援策を充実させる必要があります。

2 計画的な施設整備の必要性

審議経過に掲げられた「安全・安心で質の高い教育研究環境の整備」に関しては、大学施設の「計画的な老朽化対策」は公立大学にとっても重要な課題であり、国立大学法人と同様に、中長期的な計画を作成したうえで、着実に実施する必要があります。

3 大学の経営力の強化の必要性

「持続的な高等教育システムの構築」については、公立大学においては法人化等により、自主自律的な運営が可能となる環境が整備されてきました。今後は、

こうした制度の下で、予算・人事等の弾力的な運用を行い、財政基盤の確立を図りながら、民間的発想によるマネジメントによって魅力ある教育研究を展開していかなければなりません。

そのためには、特に、社会との関係強化をはかるための評価の充実と効率化、複数の評価制度の連携などを積極的に進めるとともに、公立大学の実態に即した経営支援環境の構築が求められます。

4 教員・学生の流動性の向上

経済社会の急速な変化に対応した教育を提供するため、教員、学生の流動性を高めることが求められています。公立大学は地域における学生の学びを重視し、そうした学びの経験交流の機会を積極的に作っていますが、全国的な学生の交流システムの構築も将来的な課題としています。このような動きへの積極的な支援が必要です。

こうした諸課題を念頭において、公立大学の設置自治体は、独自に教育振興に関する基本的な計画を作成し、地域の高等教育政策や公立大学政策に関し、積極的な方向性を示していかなければなりません。しかしながら、そうした政策に関しては、多くの地方公共団体でいまだ成熟への途上にあり、地域の産業界等とも連携しながら、その専門性を培っていく必要があります。

国が定める教育振興基本計画は国全体の政策の方向性を指し示すものであると同時に、地方公共団体が定めることとなる計画の参考となるものであり、地方の高等教育、とりわけその中核を担う公立大学の振興を推し進める方向が明確になるよう、さらに審議を深めていただくことを強く要請いたします。

以上

平成 29 年 12 月 5 日
一般社団法人公立大学協会

「共通テスト」の英語試験に係る認定試験等の利用の考え方

平成 33 年度入試から導入される「共通テスト」の英語試験については、資格・検定試験（以下、認定試験という）を活用し、平成 36 年度入試までは「共通テストと認定試験のいずれか、又は双方を選択利用すること」が可能とされました。

このことについて、公立大学協会では以下のとおり考え方の整理を行っております。

- 公立大学における認定試験等の利用方法については、あくまでもそれぞれの公立大学の判断に従うものである。
- その上で、国公立大学の共通枠組みである分離分割方式で入試を実施していることを踏まえ、受験生の混乱を最小限に収めるためには、国公立大学共通の対応として、共通テストと認定試験の双方を利用することが望ましい。

以上

公立大学改革
主要な論点

一般社団法人 公立大学協会

高等教育の抜本改革 主な論点(案)

1. 質の向上
- 教育成果の「見える化」・数値化など情報公開の推進

○ 大学の評価の改革

○ 成績評価の厳格化

○ 教員の教育力の確保

○ 外部人材の登用促進

○ 実践的な職業教育や生涯を通じて学び直しができる環境整備
2. 経営基盤の強化、連携・統合等の推進
- ガバナンス・経営力強化

○ 地方創生に資する大学の在り方

○ 改革が進まず学生確保ができない大学の円滑な撤退手続き

公立大学改革 主要な論点

- 1 公立大学の設置政策
- 2 公立大学の財政
- 3 公立大学のガバナンスと質保証
- 4 公立大学の将来構想

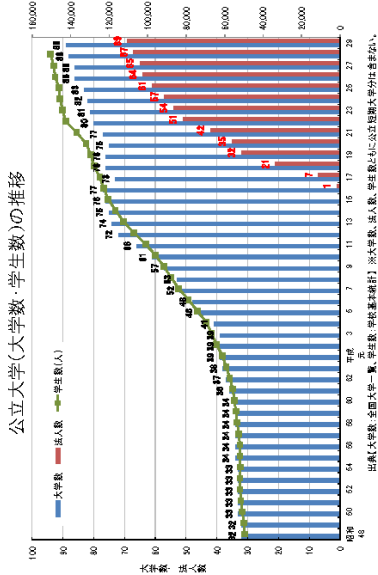
1 公立大学の設置政策

国公私立大学(学校数・在学者数・教員数・事務職員数) 比較 (H29年度)

	国立	公立	私立	計
学校数	86	89	606	781
(比)	11.0%	11.5%	77.5%	
在学者数	609,428	152,894	2,128,620	2,890,942
(比)	21.1%	5.3%	73.6%	
教員数(本務者)	64,479	13,439	107,430	185,348
(比)	34.8%	7.3%	58.0%	
事務系職員数(本務者)	27,915	5,052	55,392	88,359
(比)	31.6%	5.7%	62.7%	
職員/教員	0.43	0.38	0.52	0.48

平成29年度学校基本調査(速報)ほかを参考に作成(私立大学の学校数には募集停止中の大学が含まれる)

平成期に入り公立大学は急増



地域活性化戦略として多様な大学・学部を設置

- 地域の要請に基づいた人材を養成
- 高い研究成果で、地域課題を解決

5

公立大学設置を促した多様な政策過程

切実な問題の認識

- 地域における高等教育機関の不足
- 県外へ人材の流出
- 人材不足による地域産業の不活性

多様な政策の活用

- 社会資本の整備(国土の均衡ある発展)
- 第4次全国総合開発計画(昭和62年)
- 『大学誘致と期待・効果』(国土庁・S63) = 地域活性化の「切り札」
- 超高齢化社会への対応
- 看護師等人材確保法(平成4年)看護・医療系大学の設置が自治体の責務

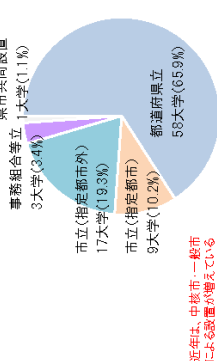
政治の果たした役割

- 景気刺激策等による財政出動
- 大学の新增設に際し起債を認め、償還に交付税措置
- 結果として、地域活性化に対して戦略性の高い知的インフラが整備

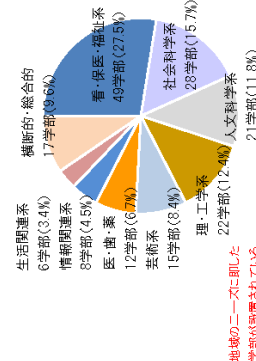
6

公立大学の特徴

設置団体の種類

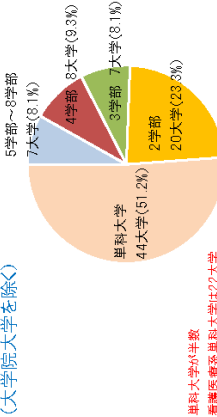


系統別学部数

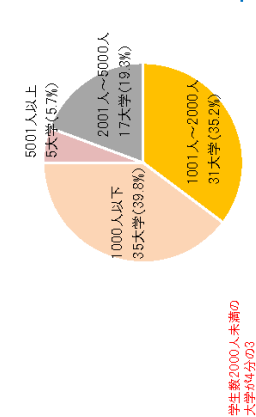


地域のニーズに即した学部が設置されている

設置している学部数(大学院大学を除く)



学生数別大学数



学生数2000人未満の大学が4分の3

7

地方自治体の新たな選択(公立大学法人制度の活用)

地方自治体が自ら設置した「公設民営型大学」等の公立大学化

設置者変更年	大学名	開学年	設置団体
2009(H21)年度	高知工科大学	1997(H9)年度開学	高知県
2010(H22)年度	静岡文化芸術大学	2000(H12)年度開学	静岡県
2010(H22)年度	名城大学	1994(H6)年度開学	北部広域市町村圏事務組合(12市町村)
2012(H24)年度	公立鳥取環境大学	2001(H13)年度、鳥取環境大学として開学、2015(H27)年度公立鳥取環境大学に改称	鳥取県・鳥取市
2014(H26)年度	長岡造形大学	1994(H6)年度開学	長岡市
2016(H28)年度	福知山公立大学	2000(H12)年度、京都府立大学として開学、2010(H22)年度改称	福知山市
2016(H28)年度	山陽小野田市立山口東京理科大学	1987(S62)東京理科大学山口短期大学、1995(H7)年度開学	山陽小野田市
2017(H29)年度	長野大学	1966(S41)年 北州大学開学、1974(S49)年長野大学に改称	上田市

公立化により他県からの志願者が大幅に増加。
結果、地域内からの進学者の新たな受け皿戦略として、定員増を行う大学も。
地元高校生にも刺激。全体として、当該地域の教育力が高まる。

→ 設置者変更は設置審査はないことから、独自の質保証システムが必要

8

設置団体の規模も大学の性格も多様

(含 移行特待都市)				
	都道府県	政令市	中核市等	一般市
	43/47	8/20	11/84	11/686
総合大学 5年制以上の 課程に相当する 規模の大学	首都大学東京 大阪府立 兵庫県立	横浜市立 名古屋市立 大阪市立 北九州市立		
複合大学 履修の分野系 横断的・学際系 の学部を持つ 大学	岩手県立、秋田県立、宮城、新潟県立、山梨県立、 福井県立、静岡県立、 神奈川文化芸術 、愛知県立、 滋賀県立、京都府立、鳥取県立、岡山県立、県立 広島、山口県立、高知県立、 高知工科大学 、福岡女子、 長崎県立、熊本県立(計20大学)	札幌市立 広島市立	福山市立	長野 尾道市立 名探(組合立)
単科大学 看護系以外	札幌医科大学、国際教養、山形県立米沢栄養、 札幌医科大学、安井、群馬県立女子、 産業技術大学院、富山県立、石川県立、 情報科学芸術大学院、愛知県立芸術、 京都府立芸術、奈良県立芸術、奈良県立、 和歌山県立芸術、公立鳥取環境(県・市共同設置)、 九州歯科、沖縄県立芸術(18大学)	京都市立芸術 神戸市外国語	青森公立、秋田公立芸術、 高崎経済、前橋工科大学、 長岡造形 、金沢美術工芸、 岐阜薬科、公立鳥取環境 (県・市共同設置)再掲 宮崎公立、下関市立 (10大学)	創設公立 公立はこだて未来 (以上組合立) 新潟文科大学 福知山公立 山形小野田市立 山口東京理科 (5大学)
同一分野の履 修学部を持つ 大学を含む				
単科大学 看護系	青森県立保健、山形県立保健医療、茨城県立医療、 群馬県立健康科学、埼玉県立、千葉県立保健 医療、神奈川県立保健福祉、新潟県立看護、長野 県看護、石川県立看護、岐阜県立看護、三重県立 看護、香川県立保健医療、愛媛県立保健技術、福 岡県立、大分県立看護科学、宮崎県立看護、沖縄 県立看護(18大学)	神戸市看護		名古屋市立 奈良市立 新宮公立

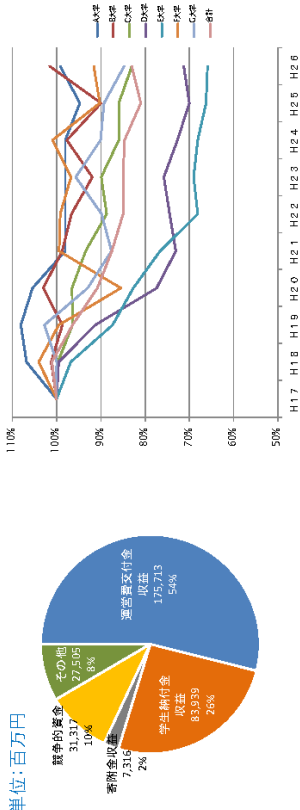
→ 多様な設置政策・大学運営を支える仕組みが必要

設置団体の措置する運営費交付金

公立大学全体では、収益の約半分は運営交付金となっているが、
その額が大きく減少しているケースが多い。

公立大学法人全体の経常収益

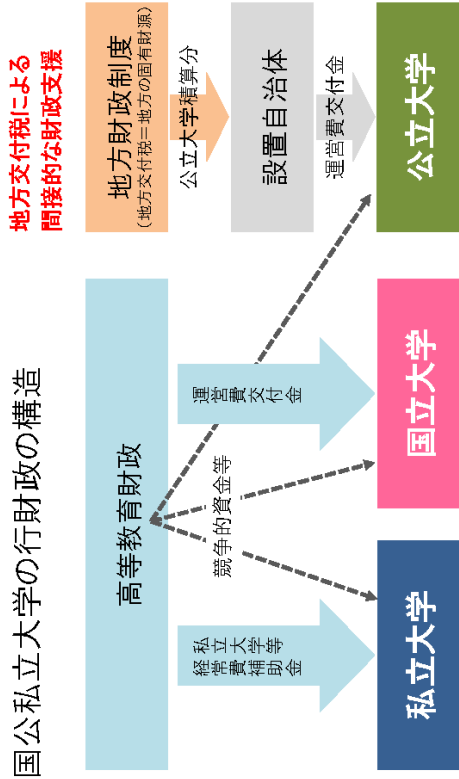
平成28年度決算／附属病院を除く



※ 公立大学実態調査(公立大学協会)、公立大学法人決算資料等から作成

2 公立大学の財政

国公立大学の行財政の構造



全体として投入される公的資金

公立大学は増えているものの、基盤的経費の措置の伸びはわずか
結果として、**学生一人あたりの財源措置は減少**

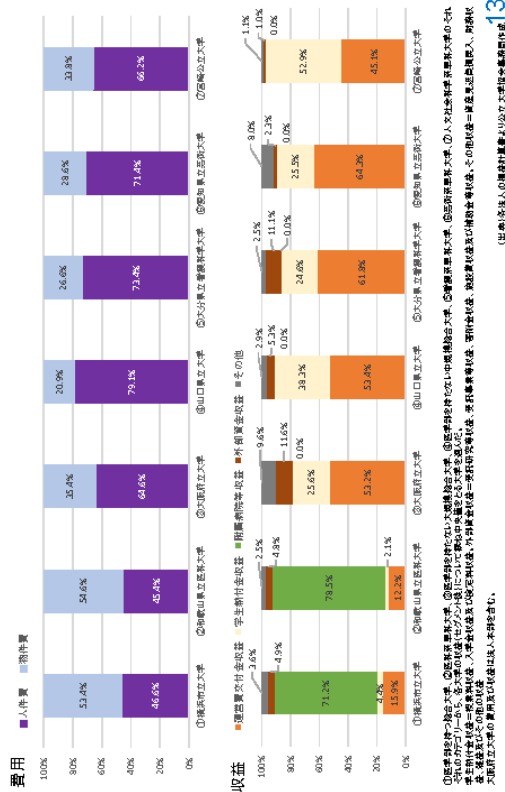
公立大学数及び学生数、設置自治体が措置する財源

	指標	平成17年度	平成27年度	増減
公立大学	大学数	73大学	86大学	+17.8%
公立大学	学生数	120,992人	145,566人	+20.3%
設置自治体が措置する基盤的経費				
公立大学全体		1579億円	1670億円	+5.8%
学生1人あたり (千円)		1,305	1,148	△12.0%

公立大学実態調査(公立大学協会)より作成。うち基盤的経費については決算調によるが、決算額が明らかでない大学については当初予算額にて代算している

(参考) 個別の大学の状況の例

費用に占める人件費の割合は概ね1割から2割近くで分野の特性に依り多様となっている。
収益の内訳は附属病院の増減で大きく異なるが、附属病院を持たない大学においても、状況は大きく異なる。



※ ① 徳島大学は、② 徳島大学は、③ 徳島大学は、④ 徳島大学は、⑤ 徳島大学は、⑥ 徳島大学は、⑦ 徳島大学は、⑧ 徳島大学は、⑨ 徳島大学は、⑩ 徳島大学は、
※ ① 徳島大学は、② 徳島大学は、③ 徳島大学は、④ 徳島大学は、⑤ 徳島大学は、⑥ 徳島大学は、⑦ 徳島大学は、⑧ 徳島大学は、⑨ 徳島大学は、⑩ 徳島大学は、
※ ① 徳島大学は、② 徳島大学は、③ 徳島大学は、④ 徳島大学は、⑤ 徳島大学は、⑥ 徳島大学は、⑦ 徳島大学は、⑧ 徳島大学は、⑨ 徳島大学は、⑩ 徳島大学は、
※ ① 徳島大学は、② 徳島大学は、③ 徳島大学は、④ 徳島大学は、⑤ 徳島大学は、⑥ 徳島大学は、⑦ 徳島大学は、⑧ 徳島大学は、⑨ 徳島大学は、⑩ 徳島大学は、

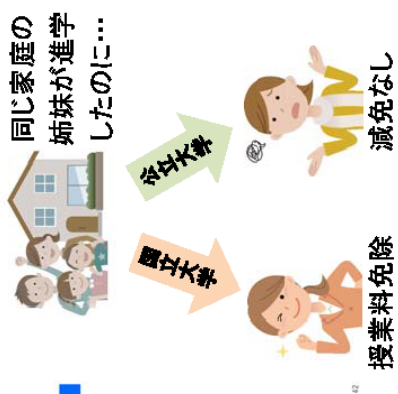
授業料減免において国立大学とは状況が異なる

授業料減免率が国立の3分の1

国立大学の授業料減免の比較

国立大学	授業料減免率 (%)	授業料減免額 (円)	授業料減免率 (%)
国立大学	7.65	34	4.4%
国立大学	7.77	34	4.4%
国立大学	3,194	373	11.6%
国立大学	3,161	386	12.2%

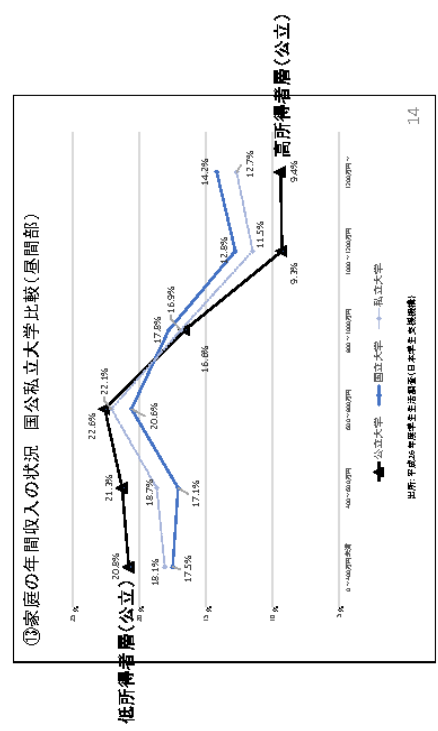
国立大学の授業料減免率は、国立大学の平均値の約3分の1である。これは、国立大学の授業料減免率が、国立大学の平均値の約3分の1であるためである。



高等教育無償化では、設置自治体の責任ある政策が求められる
国による義務付け + 自主的なソフトルール(ガイドライン)の制定

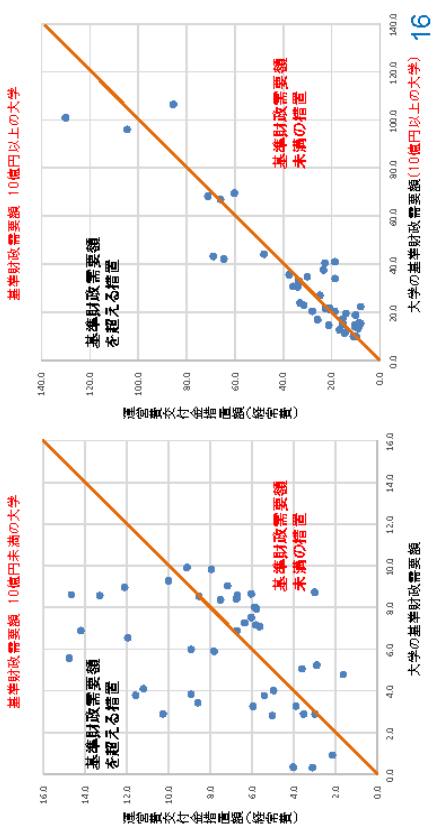
公立大学は経済的に困難な環境にある学生を教育

家庭の年間収入が国公立大学の中で最も低い



公立大学に関する地方交付税措置 単位費用と運営費交付金措置額(経常費)の状況

各大学の学生数から計算される基準財政需要額(推定)と
設置団体が措置する運営費交付金措置額(経常費)との関係(H28年度、単位:億円)



公立大学に関する地方交付税措置 学部の種類ごとの単位費用は減少

地方交付税基準財政需要額における、公立大学学生1人あたりの積算単価（経常費）都道府県
（単位：千円）

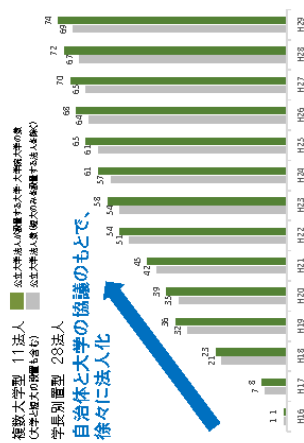
種別	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
医科系	4,586	4,499	4,306	4,156	4,110	3,996	4,092	4,057	4,028	3,941	3,889	3,848	3,839	3,839
歯科系	2,775	2,718	2,613	2,508	2,458	2,306	2,391	2,374	2,359	2,303	2,269	2,241	2,234	2,234
理科系	2,004	1,961	1,811	1,762	1,709	1,688	1,844	1,832	1,832	1,794	1,758	1,723	1,694	1,647
保健系 （H25種科系から分離）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,018	1,999	1,977	1,938	1,885
社会科学系 （H24科で文科系）	334	308	273	256	245	227	248	243	242	224	220	214	212	212
人文科学系 （H25科系から分離）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	455	450	443	441	441
家政系・芸術系	886	856	808	765	753	722	752	744	740	714	713	704	704	704

→単位費用（経常費）がカバーしない大規模修繕等の予算措置に課題

自治体とともに進める、公立大学の法人化

公立大学の法人化の進展と 学長のリーダーシップ

○ 公立大学は地方独立行政法人法に基づいて、法人設立の判断や、理事長・学長の一体型・別置型の選択などは自治体に委ねられているため、法人化の時期もプロセスも大学ごとに異なり、結果として多様な形態が生まれることとなった。



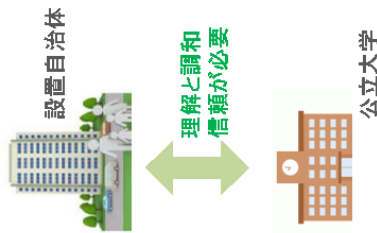
○ 公立大学法人には標準モデルがなく、大学の法人化に際しては自治体も大学も、自らの責任で法人設計を行わなければならない
○ 標準モデルもない中で、自治体との協議と並行して学内の合意形成を図ることは容易なことではないが、法人化は、学長がリーダーシップを発揮して大学組織や運営体制を再設計できる絶好の機会であった

渡田尚紀「国公立大学の法人化と学長のリーダーシップ」『DIE現代の高等教育』No.567(2015.)

3 公立大学のガバナンスと質保証の充実

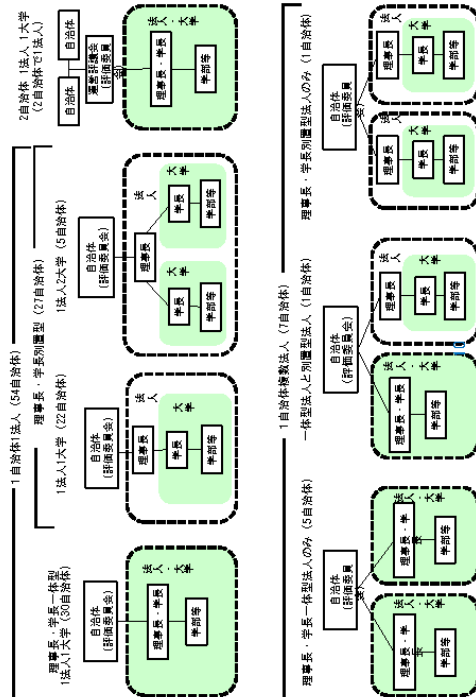
公立大学における経営組織と教学組織の関係

- 公立大学では、設置主体としての地方自治体（首長、議会）の意向が教学面に大きく働く傾向がある。
- 公立大学は、当該地域のニーズに応じて設立されたという経緯があるため、学部・研究科のみならず、大学そのものも自治体のインシアティブの下で見直しが図られる場合も少なくない。
- しかしながら、地域の学生を教育し、地域に役立つ研究を機動的に行う組織である公立大学が、安定的に教育研究活動を行うことは重要である。
- 大学の経営側も、これまでの強みを生かそうとする教学側の考え方を十分聞きながら、互いの理解と調和の下で、学長がリーダーシップを取りやすいよう支えていくことが必要である。



中央教育審議会大学分科会「大学のガバナンス改革の推進について（審議まとめ）」（平成26年）

公立大学法人のガバナンス体制



法人制度の比較

	国立大学法人	公立大学法人
根拠法令	国立大学法人法	地方独立行政法人法
法人の設立	法人の設置を法で規定	第7章 公立大学法人に関する特例
法人の長	学長	議会の議決を経て、国等が認可理事長(学長となるが別に任命も可)
業務	国立大学の設置、運営	大学(大学 & 高専)の設置、管理
設置する大学	1 法人1大学を法で規定	1 法人複数大学の設置も可
大学の認証評価	大学改革支援・学位授与機構(それぞれが選択)	3つの評価機関に分散(それぞれが選択)
評価機関	国立大学法人評価委員会	設立団体毎に置かれる 地方独立行政法人評価委員会
法人評価	教育研究 評価 メタ評価	大学改革支援・学位授与機構に評価を要請し、その結果を尊重する 国立行政法人評価制度委員会 (総務省・行政評価局)
		なし

国立大学と比較して、自治体の裁量性を含めた多様性を有する

21

公立大学のガバナンスと質保証の体制整備

- 1 公立大学が89大学へ増加
 - 多様化が進み、質保証の重要性が増す
 - 設置自治体の責任ある高等教育政策を促す
- 2 公立大学が対応する課題が多様化・複雑化
 - 地方創生への対応
 - 機能の多様化(イノベーション創出、リカレント教育)への対応
- 3 評価の実質化で公立大学特有の課題に対応
 - 公立大学の特色を伸展させる評価
 - 公立大学法人評価への支援



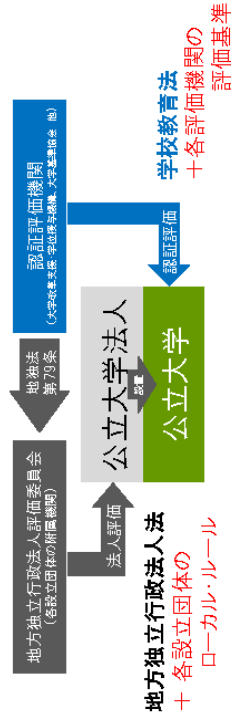
公立大学の質保証のためのプラットフォームが必要

23

公立大学の2つの質保証システム

	公立大学法人の評価	大学の評価
根拠法令	地方独立行政法人法	学校教育法
各年度	各事業年度に係る業務の実績に関する評価	自己点検評価(適切な項目・適当な体制)
期間毎	中期目標に係る業務の実績に関する評価	認証評価(7年以内(一度))
評価方法	中期目標(計画)の達成状況の調査・分析	大学設置基準に適合した評価基準
評価基準	業務実績全体の総合的な評価	大学の特色ある教育研究の進捗に資する評価基準

公立大学の教育・研究に関する理解が不足 公立大学の運営に関する理解が不足



2つの評価が連携して質保証を行う必要がある

22

新たな認証評価機関

「高等教育質保証センター」の設立

社会からの信頼を獲得し、改革を支援する評価を！

- ① 情報公表を徹底する評価
 - 情報公表を徹底する大学を評価の対象とする。
- ② 見える化された評価
 - 大学の全体像が見渡せる簡明な資料を用いる。
- ③ 共有化された評価
 - ワークショップ型の評価により多くのステークホルダーが共有。
- ④ 改革支援型の評価
 - 地域に軸足を置き改革を進める大学と設置自治体の双方を支援する。



関係者の参加と共有



支援とコミュニケーション

24

シンプルな大学評価基準

基準1 基盤評価：法令適合性の保証

—法令の要請に応える観点—

- 大学自身が法令適合性を点検・評価・公表し、センターはその活動を支援

基準2 水準評価：教育研究の水準の向上

—社会の要請に応える観点—

- 大学はIRにより自身の社会水準を点検・評価し、センターがIR機能の強化を支援（データの提供・分析・助言）

基準3 特色評価：特色ある教育研究の進展

—ステークホルダーの要請に応える観点—

- 大学は使命・目的を達成するための特色ある教育研究について点検・評価し、センターはその推進を支援（助言）

課題：評価を安定的に実施する財政的な基盤の強化

25

研究：公立大学の地域貢献機能の分析

2つの軸で地域貢献機能を整理

（例は学部の種類ではなく、その強みを持つ学部の例示）

	サステイナブル	クリエイティブ
地域からの要請型	Assure 地域のいのちを守る 例：看護系学部	Enhance 地域の財産を発展させる 例：芸術系学部
大学からの提案型	Link 地域の価値をつなげる 例：地域政策系学部	Develop 地域の可能性を開発する 例：情報系学部



一つの大学、一つの学部の取組みを分析する中で、複数の地域貢献機能を見出していく。

27

4 公立大学の将来構想

一律の政策ではなく、多様性を踏まえた政策が必要
公立大学を多角的に分析し、研究を深める必要性がある

時代を LEADする 公立大学

公立大学の将来構想に向けての議論の方向性と可能性

2017年5月



26

公立大学の機能を再確認し、アピール

時代をLEADする公立大学の多様な機能

	機能	得意分野の例	機能の内容
L	LINK 地域の価値をつなげる	地域政策系 環境系 社会科学系	地域内、地域間にある価値・知恵をつなぎ、持続可能な社会をつくる
E	ENHANCE 地域の財産を発展させる	芸術系 人文系 農学系	それぞれの地域が有する財産や価値を育て、さらに発展させる
A	ASSURE 地域のいのちを守る	医療薬系 看護医療系 福祉系、栄養系	地域の命を守るためのsafety netをつかりと確保する
D	DEVELOP 地域の可能性を開発する	情報系 理工学系 国際系	これまで地域に存在しなかった新たな価値を創造し、地域を開発する

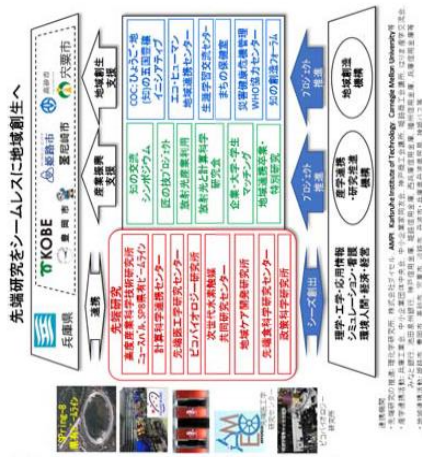
今後、高等教育全体の将来構想の議論が進められる
公立大学は、ニッチを構成して最適化という視点も欠かせない
共通の枠組みで分析、特徴を明らかにしていく。

28

兵庫県立大学

先端研究をシームレスに地域創生につなげる取組み

I-LEAD IDの分析枠組みによる事例分析	
Link 地域の課題を つなげる	理学、工学、医療・看護、社会 科学の先端研究を地域創生に つなげる。
Enhance 地域の財産を 発展させる	兵庫県 兵 星 県 の SPRING-8、 NEWS@ARU、京コンピュータ 等の先端設備で新技術を開発 する。
Assure 地域のいのちを 守る	阪神・淡路大震災を教訓とした 防災研究と、看護研究による地 域ケアで地域の安全と健康を促 求する。
Develop 地域の可能性を 創出する	播磨、養津、但馬、丹波、淡路 の特質を通して、地域の課題 (ニーズ)と大学の資源(シーズ) のマッチングにより、地域課題の 解決に取り組む



29

滋賀県立大学 地域ひと・モノ・未来情報研究センター

I-LEAD IDの分析枠組みによる事例分析	
Link 地域の課題を つなげる	地域の課題を際し出し、ICTにより解決策を提示する。
Enhance 地域の財産を 発展させる	ICTにより、持続可能な農業に関する教育研究を推進する。
Assure 地域のいのちを 守る	ICTを用いた地域看護について研究し、地域健康・福祉システムを実現する。
Develop 地域の可能性を 創出する	ICTを用いて、地域の観光について研究し、情報価値型の観光システムを実現する。



30

山陽小野田市立山口東京理科大学 地域連携センター

I-LEAD IDの分析枠組みによる事例分析	
Link 地域の課題を つなげる	設置団体である山陽小野田市 との包括的連携協定の下、各種 地域連携事業を自治体と共同 で実施することにより、大学の取 組や成果を市民へ共有している。
Enhance 地域の財産を 発展させる	工学系大学、研究機関として、 地域企業との共同研究や技術 相談により地域産業の発展や企 業の抱える課題解決に貢献して いる。
Assure 地域のいのちを 守る	平成30年度先端開講により 薬学人材の育成を通じて、地域 の健康寿命延伸に寄与する。
Develop 地域の可能性を 創出する	「かがく博覧会」や「ほんものの 科学体験講座」を通じて、地域 の子供たちに科学技術の面白さ や深さを体験させることにより、そ の人的資質を発展、開花するこ とで、人材育成の一助となっている。



31

公立大学の 学生交流を通じた 地域貢献

全国公立大学 学生大会 LINKtopos※

※ LINKという漢語に「topos」というギリシャ語による漢語、公立大学の学生達が、「つながり」による力を
発展で結ぶ場を作ろうという願いが込められている。



公立大学では、2011年の東日本
大震災に対する復興活動にボラン
ティアとして参加した学生達がネット
ワークを組織し、「LINKtopos」と呼ば
れる学生大会を実施してきました。

全国学生大会は、10月に行われ
る公立大学の学長会議と並行開催
され、学生と学長の交流の場となっ
ています。



32

平成 30 年 2 月 8 日

内閣総理大臣

安倍 晋三 様

一般社団法人公立大学協会

会長 郡 健二郎（名古屋市立大学長）

高等教育無償化に関する要望

このたび、新しい経済政策パッケージに盛り込まれた「高等教育の無償化」は、これまで経済的事情により進学を断念しなければならなかった子どもたちに対し、授業料を減免し、生活費を支援することで高等教育を受ける機会を大きく広げるものであり、特に、地方において、低所得者等を含め、多様な学生に進学機会を提供してきた公立大学の立場から高く評価したい。

公立大学については、国立大学及び私立大学と異なり、公立大学を設置する設置自治体を通じその支援が行われることとなることから、高等教育の無償化制度の趣旨に基づき、公立大学生に対しても支援が確実に行われる制度を設計していただくよう、強く要望いたします。

以上

平成 30 年 2 月 8 日

文部科学大臣

林 芳正 様

一般社団法人公立大学協会

会長 郡 健二郎（名古屋市立大学長）

高等教育無償化に関する要望

このたび、新しい経済政策パッケージに盛り込まれた「高等教育の無償化」は、これまで経済的事情により進学を断念しなければならなかった子どもたちに対し、授業料を減免し、生活費を支援することで高等教育を受ける機会を大きく広げるものであり、特に、地方において、低所得者等を含め、多様な学生に進学機会を提供してきた公立大学の立場から高く評価したい。

公立大学については、国立大学及び私立大学と異なり、公立大学を設置する設置自治体を通じその支援が行われることとなることから、高等教育の無償化制度の趣旨に基づき、公立大学生に対しても支援が確実に行われる制度を設計していただくよう、強く要望いたします。

以上

5 名簿等

1 平成 29 年度公立大学一覧

		大学名	〒	所在地	電話	学長
北海道・東北地区	[1]	札幌医科大学	060-8556	北海道札幌市中央区南 1 条西 17 丁目	011-611-2111	塚本 泰司
	(2)	釧路公立大学	085-8585	北海道釧路市芦野 4 丁目 1 番 1 号	0154-37-3211	高野 敏行
	(3)	公立はこだて未来大学	041-8655	北海道函館市亀田中野町 116 番地 2	0138-34-6448	片桐 恭弘
	<4>	名寄市立大学	096-8641	北海道名寄市西 4 条北 8 丁目 1	01654-2-4194	佐古 和廣
	<5>	札幌市立大学	005-0864	北海道札幌市南区芸術の森 1 丁目	011-592-2300	蓮見 孝
	[6]	青森県立保健大学	030-8505	青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1	017-765-2000	上泉 和子
	<7>	青森公立大学	030-0196	青森県青森市合子沢字山崎 153 番地 4	017-764-1555	香取 薫
	[8]	岩手県立大学	020-0693	岩手県滝沢市巣子 152-52	019-694-2000	鈴木 厚人
	[9]	宮城大学	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1	022-377-8205	川上 伸昭
	[10]	秋田県立大学	010-0195	秋田県秋田市下新城中野字街道端西 241-438	018-872-1500	小林 淳一
	[11]	国際教養大学	010-1292	秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱	018-886-5900	鈴木 典比古
	<12>	秋田公立美術大学	010-1632	秋田市新屋大川町 12 番 3 号	018-888-8100	霜鳥 秋則
	[13]	山形県立保健医療大学	990-2212	山形県山形市上柳 260 番地	023-686-6611	前田 邦彦
	[14]	山形県立米沢栄養大学	992-0025	山形県米沢市通町六丁目 15 番 1 号	0238-22-7330	鈴木 道子
	[15]	福島県立医科大学	960-1295	福島県福島市光が丘 1 番地	024-547-1111	竹之下 誠一
	[16]	会津大学	965-8580	福島県会津若松市一箕町鶴賀字上居合 90	0242-37-2500	岡 隆一
関東・甲信越地区	[17]	茨城県立医療大学	300-0394	茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2	029-888-4000	永田 博司
	[18]	群馬県立女子大学	370-1193	群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1	0270-65-8511	濱口 富士雄
	[19]	群馬県立県民健康科学大学	371-0052	群馬県前橋市上沖町 323-1	027-235-1211	高田 邦昭
	<20>	高崎経済大学	370-0801	群馬県高崎市上並榎町 1300	027-343-5417	村山 元展
	<21>	前橋工科大学	371-0816	群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	027-265-0111	星 和彦
	[22]	埼玉県立大学	343-8540	埼玉県越谷市三野宮 820 番地	048-971-0500	萱場 一則
	[23]	千葉県立保健医療大学	261-0014	千葉県千葉市美浜区若葉 2 丁目 10 番地 1 号	043-296-2000	田邊 政裕
	[24]	首都大学東京	192-0397	東京都八王子市南大沢 1 丁目 1 番	042-677-1111	上野 淳
	[25]	産業技術大学院大学	140-0011	東京都品川区東大井 1-10-40	03-3472-7831	川田 誠一
	[26]	神奈川県立保健福祉大学	238-8522	神奈川県横須賀市平成町 1-10-1	046-828-2500	中村 丁次
	<27>	横浜市立大学	236-0027	神奈川県横浜市金沢区瀬戸 22-2	045-787-2311	窪田 吉信
	[28]	新潟県立看護大学	943-0147	新潟県上越市新南町 240 番地	025-526-2811	小泉 美佐子
	[29]	新潟県立大学	950-8680	新潟県新潟市東区海老ヶ瀬 471	025-270-1300	若杉 隆平
	<30>	長岡造形大学	940-2088	新潟県長岡市千秋 4 丁目 197 番地	0258-21-3311	和田 裕
	[31]	山梨県立大学	400-0035	山梨県甲府市飯田 5 丁目 11 番 1 号	055-224-5261	清水 一彦
	<32>	都留文科大学	402-8555	山梨県都留市田原 3 丁目 8 番 1 号	0554-43-4341	福田 誠治
	[33]	長野県看護大学	399-4117	長野県駒ヶ根市赤穂 1694 番地	0265-81-5100	清水 嘉子
	<34>	長野大学	386-1298	長野県上田市下之郷 658-1	0268-39-0001	中村 英三
東海・北陸地区	[35]	富山県立大学	939-0398	富山県射水市黒河 5180 番地	0766-56-7500	石塚 勝
	[36]	石川県立看護大学	929-1210	石川県かほく市学園台 1 丁目 1 番地	076-281-8300	石垣 和子
	[37]	石川県立大学	921-8836	石川県野々市市末松 1 丁目 308 番地	076-227-7220	熊谷 英彦
	<38>	金沢美術工芸大学	920-8656	石川県金沢市小立野 5 丁目 11 番 1 号	076-262-3531	前田 昌彦
	[39]	福井県立大学	910-1195	福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1	0776-61-6000	進士 五十八
	<40>	敦賀市立看護大学	914-0814	福井県敦賀市木崎 78 号 2 番地の 1	0770-20-5500	交野 好子
	[41]	岐阜県立看護大学	501-6295	岐阜県羽島市江吉良町 3047-1	058-397-2300	黒江 ゆり子
	[42]	情報科学芸術大学院大学	503-0006	岐阜県大垣市加賀野 4 丁目 1 番地 7	0584-75-6600	三輪 眞弘
	<43>	岐阜薬科大学	501-1196	岐阜県岐阜市大学西 1 丁目 25 番地 4	058-230-8100	稲垣 隆司
	[44]	静岡県立大学	422-8526	静岡県静岡市駿河区谷田 52 番 1 号	054-264-5102	鬼頭 宏
	[45]	静岡文化芸術大学	430-8533	静岡県浜松市中区中央 2 丁目 1 番 1 号	053-457-6111	横山 俊夫

	[46]	愛知県立大学	480-1198	愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3	0561-76-8811	高島 忠義
	[47]	愛知県立芸術大学	480-1194	愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114	0561-76-2492	松村 公嗣
	<48>	名古屋市立大学	467-8601	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1	052-853-8005	郡 健二郎
	[49]	三重県立看護大学	514-0116	三重県津市夢が丘 1 丁目 1 番地 1	059-233-5600	菱沼 典子
近畿地区	[50]	滋賀県立大学	522-8533	滋賀県彦根市八坂町 2500	0749-28-8200	廣川 能嗣
	[51]	京都府立大学	606-8522	京都府京都市左京区下鴨半木町 1-5	075-703-5101	築山 崇
	[52]	京都府立医科大学	602-8566	京都府京都市上京区河原町通広小路の梶井町 465	075-251-5111	竹中 洋
	<53>	京都市立芸術大学	610-1197	京都府京都市西京区大枝杵掛町 13-6	075-334-2200	鷲田 清一
	<54>	福知山公立大学	620-0886	京都府福知山市字堀 3370	0773-24-7100	井口 和起
	[55]	大阪府立大学	599-8531	大阪府堺市中区学園町 1 番 1 号	072-252-1161	辻 洋
	<56>	大阪市立大学	558-8585	大阪府大阪市住吉区杉本 3-3-138	06-6605-2011	荒川 哲男
	[57]	兵庫県立大学	651-2197	兵庫県神戸市西区学園西町 8 丁目 2-1	078-794-6580	太田 勲
	<58>	神戸市外国語大学	651-2187	兵庫県神戸市西区学園東町 9 丁目 1	078-794-8121	指 昭博
	<59>	神戸市看護大学	651-2103	兵庫県神戸市西区学園西町 3 丁目 4 番地	078-794-8080	鈴木 志津枝
	[60]	奈良県立医科大学	634-8521	奈良県橿原市四条町 840 番地	0744-22-3051	細井 裕司
	[61]	奈良県立大学	630-8258	奈良県奈良市船橋町 10 番地	0742-22-4978	伊藤 忠通
	[62]	和歌山県立医科大学	641-8509	和歌山県和歌山市紀三井寺 811 番地 1	073-447-2300	岡村 吉隆
中国・四国地区	[63]	公立鳥取環境大学	689-1111	鳥取県鳥取市若葉台北一丁目 1 番 1 号	0857-38-6700	高橋 一
	[64]	島根県立大学	697-0016	島根県浜田市野原町 2433-2	0855-24-2200	清原 正義
	[65]	岡山県立大学	719-1197	岡山県総社市窪木 111	0866-94-2111	辻 英明
	<66>	新見公立大学	718-8585	岡山県新見市西方 1263 番地 2	0867-72-0634	公文 裕巳
	[67]	県立広島大学	734-8558	広島県広島市南区字品東 1 丁目 1 番 71 号	082-251-5178	中村 健一
	<68>	広島市立大学	731-3194	広島県広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号	082-830-1500	青木 信之
	<69>	尾道市立大学	722-8506	広島県尾道市久山田町 1600 番地 2	0848-22-8311	中谷 武
	<70>	福山市立大学	721-0964	広島県福山市港町二丁目 19 番 1 号	084-999-1111	田丸 敏高
	[71]	山口県立大学	753-8502	山口県山口市桜島 3 丁目 2-1	083-928-0211	長坂 祐二
	<72>	下関市立大学	751-8510	山口県下関市大学町 2 丁目 1 番 1 号	083-252-0288	川波 洋一
	<73>	山陽小野田市立山口東京理科大学	756-0884	山口県山陽小野田市大学通 1-1-1	0836-88-3500	森田 廣
	[74]	香川県立保健医療大学	761-0123	香川県高松市牟礼町原 281 番地 1	087-870-1212	佐藤 功
	[75]	愛媛県立医療技術大学	791-2101	愛媛県伊予郡砥部町高尾田 543 番地	089-958-2111	橋本 公二
	[76]	高知県立大学	781-8515	高知県高知市池 2751 番地 1	088-847-8700	野嶋 佐由美
	[77]	高知工科大学	782-8502	高知県香美市土佐山田町宮ノ口 185 番地	0887-53-1111	磯部 雅彦
九州・沖縄地区	[78]	九州歯科大学	803-8580	福岡県北九州市小倉北区真鶴 2 丁目 6 番 1 号	093-582-1131	西原 達次
	[79]	福岡女子大学	813-8529	福岡県福岡市東区香住ヶ丘 1 丁目 1 番 1 号	092-661-2411	梶山 千里
	[80]	福岡県立大学	825-8585	福岡県田川市伊田 4395 番地	0947-42-2118	柴田 洋三郎
	<81>	北九州市立大学	802-8577	福岡県北九州市小倉南区北方 4 丁目 2-1	093-964-4004	松尾 太加志
	[82]	長崎県立大学	858-8580	長崎県佐世保市川下町 123	0956-47-2191	太田 博道
	[83]	熊本県立大学	862-8502	熊本県熊本市東区月出 3 丁目 1 番 100 号	096-383-2929	半藤 英明
	[84]	大分県立看護科学大学	870-1201	大分県大分市廻栖野 2944-9	097-586-4300	村嶋 幸代
	[85]	宮崎県立看護大学	880-0929	宮崎県宮崎市まなび野 3 丁目 5 番地 1	0985-59-7700	瀬口 チホ
	<86>	宮崎公立大学	880-8520	宮崎県宮崎市船塚 1 丁目 1 番地 2	0985-20-2000	有馬 晋作
	[87]	沖縄県立芸術大学	903-8602	沖縄県那覇市首里当蔵町 1 丁目 4 番地	098-882-5000	比嘉 康春
	[88]	沖縄県立看護大学	902-8513	沖縄県那覇市与儀 1 丁目 24 番 1 号	098-833-8800	嘉手苺 英子
	[89]	名桜大学	905-8585	沖縄県名護市字為又 1220 番地の 1	0980-51-1100	山里 勝己

No. [X]都道府県立 <X>市立 (X)事務組合立及び複数地方公共団体による設立等

2 平成 29 年度役員

役職名	所属・職名	氏 名
会 長	名古屋市立大学長	郡 健二郎
副会長	福岡県立大学長	柴田 洋三郎
〃	大阪市立大学長	荒川 哲男
〃	静岡県立大学長	鬼頭 宏
専務理事	前大阪府立大学長	奥野 武俊
地区選出理事		
(北海道・東北)	札幌医科大学長	塚本 泰司
(関東・甲信越)	首都大学東京学長	上野 淳
(東海・北陸)	岐阜薬科大学長	稲垣 隆司
(近畿)	滋賀県立大学長	廣川 能嗣
(中国・四国)	下関市立大学長	川波 洋一
(九州・沖縄)	熊本県立大学長	半藤 英明
指名理事	山梨県立大学長	清水 一彦
〃	大阪府立大学長	辻 洋
〃	大分県立看護科学大学長	村嶋 幸代
監 事	公立はこだて未来大学長	片桐 恭弘
〃	青森県立保健大学長	上泉 和子
公立大学改革支援・ 評価研究センター長	兵庫県立大学副学長	浅田 尚紀
事務局長	公立大学協会	中田 晃

3 第 1 委員会

	所属・職名	氏 名
委員長	大阪市立大学長	荒川 哲男
副委員長	岐阜薬科大学長	稲垣 隆司
委 員	札幌医科大学長	塚本 泰司
〃	高崎経済大学長	村山 元展
〃	首都大学東京学長	上野 淳
〃	滋賀県立大学長	廣川 能嗣
〃	下関市立大学長	川波 洋一
〃	熊本県立大学長	半藤 英明

4 第 2 委員会

	所属・職名	氏 名
委員長	福岡県立大学長	柴田 洋三郎
副委員長	山梨県立大学長	清水 一彦
委 員	青森県立保健大学長	上泉 和子
〃	群馬県立県民健康科学大学長	高田 邦昭
〃	富山県立大学長	石塚 勝
〃	新見公立大学長	公文 裕巳
〃	大分県立看護科学大学長	村嶋 幸代
〃	沖縄県立看護大学長	嘉手苺 英子

5 第 3 委員会

	所属・職名	氏 名
委員長	静岡県立大学長	鬼頭 宏
副委員長	大阪府立大学長	辻 洋
委 員	公立はこだて未来大学長	片桐 恭弘
〃	横浜市立大学長	窪田 吉信

〃	金沢美術工芸大学長	前田 昌彦
〃	岡山県立大学長	辻 英明
〃	広島市立大学長	青木 信之
〃	北九州市立大学長	松尾 太加志
〃	名桜大学長	山里 勝己
専門委員	公立大学協会専務理事	奥野 武俊
〃	公立大学協会事務局長	中田 晃

6 公立大学の学生交流に関するワーキンググループ

	所属・職名	氏 名
主 査	高知県立大学学長特別補佐 地域教育研究センター長	清原 泰治
副主査	名古屋市立大学副学長	伊藤 恭彦
委 員	札幌医科大学 医療人育成センター長	相馬 仁
〃	首都大学東京 学長補佐 (学生担当)	永井 徹
〃	岐阜薬科大学副学長	足立 哲夫
〃	滋賀県立大学地域連携担当理事 COC+推進室長	田端 克行
〃	下関市立大学経済学部学部長	高橋 和幸
〃	熊本県立大学総合管理学部教授	吉村 信明
〃	大阪市立大学学長補佐 地域連携センター所長	宮野 道雄
〃	公立大学協会専務理事	奥野 武俊
〃	公立大学協会事務局長	中田 晃

7 公立大学改革支援・評価研究センター 研究スタッフ

	所属・職名	氏 名
代表理事	公立大学協会専務理事	奥野 武俊
専門委員	兵庫県立大学副学長	浅田 尚紀
〃	山口県立大学副学長	岩野 雅子
〃	北九州市立大学学長特別顧問	近藤 倫明
〃	岩手県立大学名誉教授	佐々木 民夫
〃	福岡県立大学長	柴田 洋三郎
〃	山梨県立大学長	清水 一彦
〃	大阪府立大学副学長	高橋 哲也
〃	茨城県立医療大学 教育・学修センター副センター長	富田 美加
〃	公立大学協会事務局長	中田 晃
〃	元愛知県立大学長	森 正夫
〃	公立大学法人首都大学東京理事	吉武 博通

※検討体制が整理できるまでの間、認証評価の検討に関わるメンバーを暫定的に専門委員としている。

8 公立大学職員研修協議会企画支援者

大学名	所属・職名	氏 名
岩手県立大学	研究・地域連携室主事	小野寺 智江
宮城大学	企画財務課出納グループ 主任主査	佐藤 雅紀
埼玉県立大学	教務・入試主任	芦沢 達也
首都大学東京	管理部教務課主事	高橋 寛

新潟県立大学	教務学生支援部企画課主任	沼田 渉
長野大学	キャリアサポート課主事	茨木 はすみ
名古屋市立大学	山の畑事務室事務第二係主事	上利 正樹
大阪府立大学	教育推進課副主査	西田 悠輔
高知県立大学	財務施設部財務施設課主幹	中平 麻依
高知県立大学	学生支援部入試課主査	小笠原 碧

9 公立大学職員基礎知識ガイドブック（第1版）編集チーム

	所属・職名	氏 名
編集リーダー	首都大学東京 日野キャンパス管理部庶務係長	宮林 常崇
編集メンバー	岩手県立大学 宮古短期大学部事務局主事	藤根 卓也
〃	横浜市立大学 広報室広報担当係長	上村 一太郎
〃	大阪府立大学 教育推進課課長補佐	森本 雅裕
〃	高知県立大学 教務課長	荻 林太郎

10 部会構成大学一覧

(H29.4.1 現在)

● 医科歯科部会

No	大 学 名
1	札幌医科大学
2	福島県立医科大学
3	横浜市立大学
4	名古屋市立大学
5	京都府立医科大学
6	大阪市立大学
7	奈良県立医科大学
8	和歌山県立医科大学
9	九州歯科大学

● 薬学部会

No	大 学 名
1	岐阜薬科大学
2	静岡県立大学
3	名古屋市立大学

● 看護・保健医療部会

No	大 学 名
1	札幌医科大学
2	名寄市立大学
3	札幌市立大学
4	青森県立保健大学
5	岩手県立大学
6	宮城大学
7	山形県立保健医療大学
8	福島県立医科大学
9	茨城県立医療大学
10	群馬県立県民健康科学大学
11	埼玉県立大学
12	千葉県立保健医療大学
13	首都大学東京
14	神奈川県立保健福祉大学
15	横浜市立大学
16	新潟県立看護大学
17	石川県立看護大学
18	福井県立大学
19	敦賀市立看護大学
20	山梨県立大学
21	長野県看護大学
22	岐阜県立看護大学
23	静岡県立大学
24	愛知県立大学
25	名古屋市立大学
26	三重県立看護大学
27	滋賀県立大学
28	京都府立医科大学

29	大阪府立大学
30	大阪市立大学
31	兵庫県立大学
32	神戸市看護大学
33	奈良県立医科大学
34	和歌山県立医科大学
35	島根県立大学
36	岡山県立大学
37	新見公立大学
38	県立広島大学
39	山口県立大学
40	香川県立保健医療大学
41	愛媛県立医療技術大学
42	高知県立大学
43	福岡県立大学
44	大分県立看護科学大学
45	長崎県立大学
46	宮崎県立看護大学
47	沖縄県立看護大学
48	名 桜 大 学

● 人文系部会

No	大 学 名
1	群馬県立女子大学
2	首都大学東京
3	横浜市立大学
4	都留文科大学
5	愛知県立大学
6	名古屋市立大学
7	滋賀県立大学
8	京都府立大学
9	大阪市立大学
10	大阪府立大学
11	県立広島大学
12	広島市立大学
13	山口県立大学
14	高知県立大学
15	北九州市立大学
16	福岡女子大学
17	熊本県立大学
18	宮崎公立大学
19	秋田県立大学

● 商・経・経営学部会

No	大 学 名
1	釧路公立大学
2	青森公立大学
3	岩手県立大学
4	宮城大学
5	高崎経済大学
6	首都大学東京
7	横浜市立大学
8	福井県立大学
9	静岡県立大学
10	名古屋市立大学
11	大阪府立大学
12	大阪市立大学
13	兵庫県立大学
14	奈良県立大学
15	県立広島大学
16	尾道市立大学
17	福山市立大学
18	下関市立大学
19	北九州市立大学
20	長崎県立大学

● 社会福祉学部系部会

No	大 学 名
1	名寄市立大学
2	青森県立保健大学
3	岩手県立大学
4	埼玉県立大学
5	山梨県立大学
6	神奈川県立保健福祉大学
7	福井県立大学
8	愛知県立大学
9	京都府立大学
10	大阪市立大学
11	大阪府立大学
12	岡山県立大学
13	山口県立大学
14	高知県立大学
15	福岡県立大学

太字部会長校

● 理学部会

No	大 学 名
1	首 都 大 学 東 京
2	横 浜 市 立 大 学
3	大 阪 府 立 大 学
4	大 阪 市 立 大 学
5	兵 庫 県 立 大 学
6	滋 賀 県 立 大 学
7	会 津 大 学

● 工学部会

No	大 学 名
1	公立はこだて未来大学
2	秋 田 県 立 大 学
3	会 津 大 学
4	前 橋 工 科 大 学
5	首 都 大 学 東 京
6	産 業 技 術 大 学 院 大 学
7	富 山 県 立 大 学
8	名 古 屋 市 立 大 学
9	滋 賀 県 立 大 学
10	大 阪 市 立 大 学
11	大 阪 府 立 大 学
12	兵 庫 県 立 大 学
13	岡 山 県 立 大 学
14	広 島 市 立 大 学
15	高 知 工 科 大 学
16	北 九 州 市 立 大 学

● 農学部会

No	大 学 名
1	宮 城 大 学
2	秋 田 県 立 大 学
3	石 川 県 立 大 学
4	福 井 県 立 大 学
5	滋 賀 県 立 大 学
6	京 都 府 立 大 学
7	大 阪 府 立 大 学
8	県 立 広 島 大 学

● 芸術部会

No	大 学 名
1	札 幌 市 立 大 学
2	公立はこだて未来大学
3	秋 田 公 立 美 術 大 学
4	長 岡 造 形 大 学
5	金 沢 美 術 工 芸 大 学
6	情報科学芸術大学院大学
7	静 岡 文 化 芸 術 大 学
8	愛 知 県 立 芸 術 大 学
9	名 古 屋 市 立 大 学
10	京 都 市 立 芸 術 大 学
11	岡 山 県 立 大 学
12	広 島 市 立 大 学
13	尾 道 市 立 大 学
14	山 口 県 立 大 学
15	沖 縄 県 立 芸 術 大 学

● 情報部会

No	大 学 名
1	釧 路 公 立 大 学
2	公立はこだて未来大学
3	岩 手 県 立 大 学
4	宮 城 大 学
5	秋 田 県 立 大 学
6	会 津 大 学
7	前 橋 工 科 大 学
8	首 都 大 学 東 京
9	横 浜 市 立 大 学
10	福 井 県 立 大 学
11	都 留 文 科 大 学
12	情報科学芸術大学院大学
13	静 岡 県 立 大 学
14	愛 知 県 立 大 学
15	名 古 屋 市 立 大 学
16	滋 賀 県 立 大 学
17	京 都 府 立 大 学
18	大 阪 府 立 大 学
19	大 阪 市 立 大 学
20	岡 山 県 立 大 学
21	県 立 広 島 大 学
22	広 島 市 立 大 学
23	山 口 県 立 大 学
24	高 知 県 立 大 学
25	九 州 歯 科 大 学
26	福 岡 県 立 大 学
27	長 崎 県 立 大 学
28	熊 本 県 立 大 学
29	宮 崎 公 立 大 学

● 生活科学・環境学系部会

No	大 学 名
1	名 寄 市 立 大 学
2	青 森 県 立 保 健 大 学
3	山 形 県 立 米 沢 栄 養 大 学
4	新 潟 県 立 大 学
5	神 奈 川 県 立 保 健 福 祉 大 学
6	静 岡 県 立 大 学
7	滋 賀 県 立 大 学
8	京 都 府 立 大 学
9	大 阪 市 立 大 学
10	兵 庫 県 立 大 学
11	岡 山 県 立 大 学
12	県 立 広 島 大 学
13	山 口 県 立 大 学
14	高 知 県 立 大 学
15	福 岡 女 子 大 学
16	長 崎 県 立 大 学
17	熊 本 県 立 大 学

● 外国語学・国際関係系部会

No	大 学 名
1	国 際 教 養 大 学
2	群 馬 県 立 女 子 大 学
3	山 梨 県 立 大 学
4	静 岡 県 立 大 学
5	愛 知 県 立 大 学
6	神 戸 市 外 国 語 大 学
7	山 口 県 立 大 学
8	北 九 州 市 立 大 学
9	長 崎 県 立 大 学

太字部会長校

11 政府審議会等への参画

平成 29 年度中に就任した委員（事務局調）

文部科学省

○中央教育審議会大学分科会臨時委員

鈴木典比古（国際教養大学長）

○中央教育審議会大学分科会将来構想部会臨時委員

鈴木典比古（国際教養大学長）

○中央教育審議会大学分科会法科大学院等特別委員会専門委員

木村光江（首都大学東京教授）

○中央教育審議会大学分科会制度・教育改革ワーキンググループ臨時委員

鈴木典比古（国際教養大学長）

美馬のゆり（公立はこだて未来大学教授）

○国立大学法人評価委員会委員

奥野武俊（前大阪府立大学長）

○国立大学法人評価委員会臨時委員

柴田洋三郎（福岡県立大学長）

○国立大学法人評価委員会国立大学法人分科会長

奥野武俊（前大阪府立大学長）

○国立大学法人評価委員会国立大学法人分科会長代理

柴田洋三郎（福岡県立大学長）

○中央教育審議会生涯学習分科会委員

山野則子（大阪府立大学教授）

○中央教育審議会教育振興基本計画部会臨時委員

阿部彩（首都大学東京教授）

○教科用図書検定調査審議会臨時委員

片岡美喜（高崎経済大学准教授）

河原加代子（首都大学東京教授）

前田研一（首都大学東京名誉教授）

宮崎猛（京都府立大学名誉教授）

○教科用図書検定調査審議会専門委員

北川太一（福井県立大学教授）

田中芳文（島根県立大学教授）

宮崎孔志（京都府立大学准教授）

○大学設置・学校法人審議会大学設置分科会正委員

浅田尚紀（兵庫県立大学副学長）

時野谷茂（会津大学理事）

○大学設置・学校法人審議会大学設置分科会特別委員

石井邦子（千葉県立保健医療大学教授）

嘉手苺英子（沖縄県立看護大学長）

上泉和子（青森県立保健大学長）

郡健二郎（名古屋市立大学長）

近藤倫明（北九州市立大学学長特別顧問）

○大学設置・学校法人審議会大学設置分科会運営委員会委員

浅田尚紀（兵庫県立大学副学長）

嘉手苺英子（沖縄県立看護大学長）

近藤倫明（北九州市立大学学長特別顧問）

○大学設置・学校法人審議会大学設置分科会設置計画履行状況等調査委員会委員

浅田尚紀（兵庫県立大学副学長）

石井良和（首都大学東京教授）

北山三津子（岐阜県立看護大学教授）

田中京子（大阪府立大学教授）

二宮啓子（神戸市看護大学副学長）

柳澤理子（愛知県立大学教授）

○科学技術・学術審議会資源調査分科会委員

渡邊智子（千葉県立保健医療大学教授）

○科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会環境エネルギー科学技術委員会専門委員

奥真美（首都大学東京教授）

○科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会専門委員

龍有ニ（北九州市立大学教授）

○科学技術・学術審議会学術分科会学術情報委員会専門委員

美馬のゆり（公立はこだて未来大学教授）

○理工系人材育成に関する産学官円卓会議委員

上野淳（首都大学東京学長）

○大学における工学系教育の在り方に関する検討委員会

川田誠一（産業技術大学院大学長）

○大学入学者選抜方法の改善に関する協議の協力者

柴田洋三郎（福岡県立大学長）

清水一彦（山梨県立大学長）

○「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」検討・準備グループ

川上浩良（首都大学東京学長補佐）

○英語力評価及び入学者選抜における英語の資格・検定試験の活用促進に関する連絡協議会委員

柴田洋三郎（福岡県立大学長）

○就職問題懇談会

伊藤恭彦（名古屋市立大学副学長）

永井徹（首都大学東京学長補佐）

○大学スポーツの振興に関する検討会議

池田孝博（福岡県立大学教授）

内閣府

○防災推進国民会議議員

郡健二郎（名古屋市立大学長）

○男女共同参画推進連携会議議員

矢部千尋（京都府立医科大学教授）

犬塚協太（静岡県立大学教授）

村山伸子（新潟県立大学教授）

大学入試センター

○運営審議会委員

郡健二郎（名古屋市立大学長）

柴田洋三郎（福岡県立大学長）

○試験協議会構成員

郡健二郎（名古屋市立大学長）

柴田洋三郎（福岡県立大学長）

○得点調整判定委員

郡健二郎（名古屋市立大学長）

柴田洋三郎（福岡県立大学長）

○実施方法委員会委員

浅田尚紀（兵庫県立大学副学長）

○試験企画委員会委員

草間晴幸（名古屋市立大学教授）

○「全国大学入学者選抜研究協議会」企画委員会委員

光永雅明（神戸市外国語大学教授）

榊原勝己（岡山県立大学教授）

中島範行（富山県立大学教授）

大久保敦（大阪市立大学教授）

○新テスト実施企画委員会委員

川上浩良（首都大学東京学長補佐）

大学改革支援・学位授与機構

○大学機関別認証評価委員会委員

稲垣卓（福山市立大学名誉教授）

近藤倫明（北九州市立大学学長特別顧問）

○国立大学教育研究評価委員会委員

浅田尚紀（兵庫県立大学副学長）

○法科大学院認証評価委員会委員

木村光江（首都大学東京教授）

○運営委員会委員

高橋哲也（大阪府立大学副学長）

○大学ポートレート運営会議

鈴木典比古（国際教養大学長）

奥野武俊（前大阪府立大学長）

大学基準協会

○常務理事

鈴木典比古（国際教養大学長）

○理事

鬼頭宏（静岡県立大学長）

郡健二郎（名古屋市立大学長）

塚本泰司（札幌市立大学長）

松尾太加志（北九州市立大学長）

○評議員

青木信之（広島市立大学長）

香取薫（青森公立大学長）

鈴木厚人（岩手県立大学長）

高野敏行（釧路公立大学長）

○評議員選定委員会委員

香取薫（青森公立大学長）

○基準委員会委員

宇野文二（岐阜薬科大学）

黒田俊郎（新潟県立大学教授）

鈴木孝夫（青森県立保健大学副学長）

山田紀代美（名古屋市立大学教授）

○大学評価委員会委員

今川正良（名古屋市立大学特任教授）

香取薫（青森公立大学長）

高野敏行（釧路公立大学長）

津曲隆（熊本県立大学副学長）

當瀬規嗣（札幌医科大学医学部長）

○法科大学院認証評価委員会委員

富井幸雄（首都大学東京教授）

○経営系専門職大学院認証評価委員会委員

鳥取部真己（北九州市立大学教授）

○公共政策系専門職大学院認証評価委員会委員

窪田好男（京都府立大学教授）

○獣医学教育評価委員会委員

山手丈至（大阪府立大学教授）

○大学評価企画立案委員会委員

浅田尚紀（兵庫県立大学副学長）

佐々木民夫（岩手県立大学特任教授）

清水一彦（山梨県立大学長）

鈴木典比古（国際教養大学長）

○『大学評価研究』編集委員会委員

鬼頭宏（静岡県立大学長）

○広報委員会委員

林祐司（首都大学東京准教授）

○高等教育のあり方研究会座長

鈴木典比古（国際教養大学長）

日本学生支援機構

○運営評議会委員

郡健二郎（名古屋市立大学長）

○グローバル人材育成コミュニティ協議会委員

郡健二郎（名古屋市立大学長）

○日本留学試験実施委員会委員

小林浩明（北九州市立大学准教授）

その他

○UMAP 国内委員会委員

鈴木典比古（国際教養大学長）

清水一彦（山梨県立大学長）

岡田公夫（横浜市立大学副学長）

○UMAP 国内委員会専門委員

広瀬恵子（愛知県立大学教授）

山崎勇治（北九州市立大学特任教授）

○国公立大学団体国際交流担当委員長協議会（JACUIE）

清水一彦（山梨県立大学長）

村嶋幸代（大分県立看護科学大学長）

○東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議顧問

郡健二郎（名古屋市立大学長）

※（ ）内は委嘱当時の役職